

磯子区区民意識調査

報告書

平成17年12月

横浜市磯子区役所

磯子区民意識調査

目 次

調査概要	2
Ⅰ. 回答者の属性	3
Ⅱ. 集計分析結果	7
1. 磯子区区政運営方針について	7
2. 磯子区の独自サービス・事業について	8
3. 土曜開庁(一部窓口オープン)について	31
4. 施策の重要度について	44
5. 磯子区の取り組みへの満足度について	50
6. 調査全体のまとめ	60
資料編	66
自由記述の内容(問6)	67
調査票	89

磯子区民意識調査

調査概要

◆調査対象

調査対象数 20歳以上の男女 3,500人
(平成17年7月19日現在の住民基本台帳より無作為抽出)
回収数 1,728件
回収率 49.4%

◆調査方法

郵送による発送、郵送による回収

◆調査期間

平成17年7月28日～8月10日

◆調査実施機関

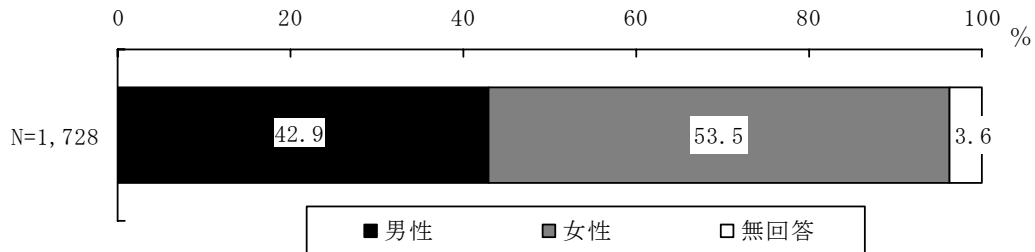
株式会社 地域環境計画

I. 回答者の属性

F1 性別（問7-1）

- ・ 「男性」が42.9%、「女性」が53.5%で女性が過半数を占めている。

図表1 性別



〈参考〉図表2 統計データとの比較／男女別構成比（20歳以上）

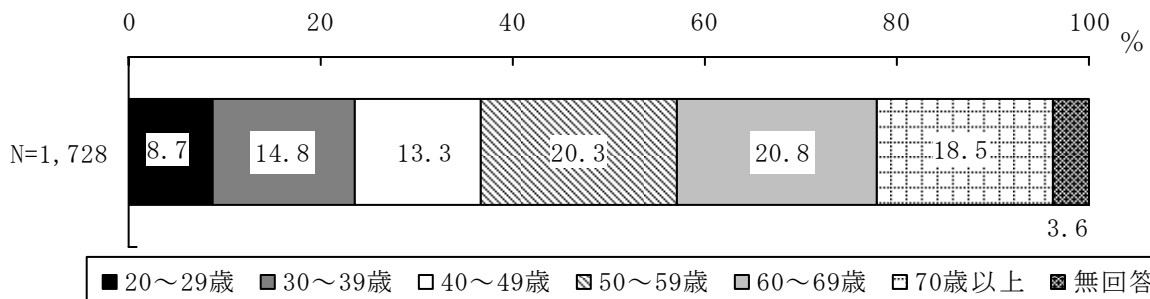
男性	48.9%
女性	51.1%
合計／人	134,559

資料）年齢別男女別人口（平成17年1月1日現在推計人口）

F2 年齢（問7-2）

- ・ 「60～69歳」が20.8%、「50～59歳」が20.3%、「70歳以上」が18.5%であり、50歳以上が全体の約6割を占めている。

図表3 年齢



〈参考〉図表4 統計データとの比較／年齢別構成比（20歳以上）

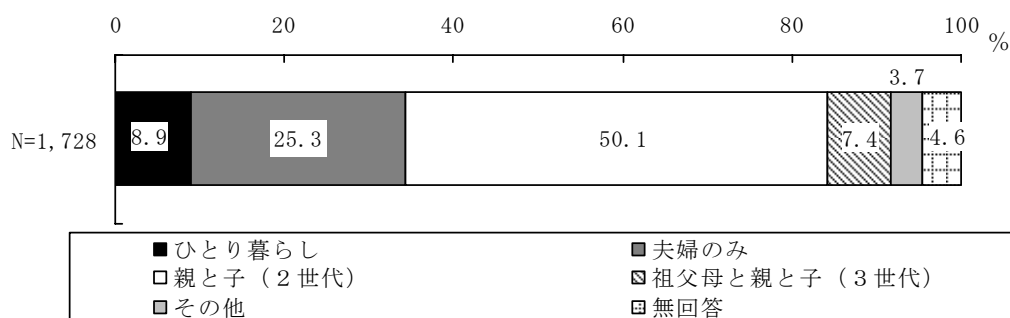
20～29歳	15.7%
30～39歳	19.5%
40～49歳	15.2%
50～59歳	18.2%
60～69歳	16.0%
70歳～	15.5%
合計／人	134,559

資料）年齢別男女別人口（平成17年1月1日現在推計人口）

F3 家族構成 (問7-3)

- 最も多いのは「親と子(2世代)」の50.1%で全体の半数を占めている。次いで「夫婦のみ」(25.3%)、「ひとり暮らし」(8.9%)、「祖父母と親と子(3世代)」(7.4%)の順である。

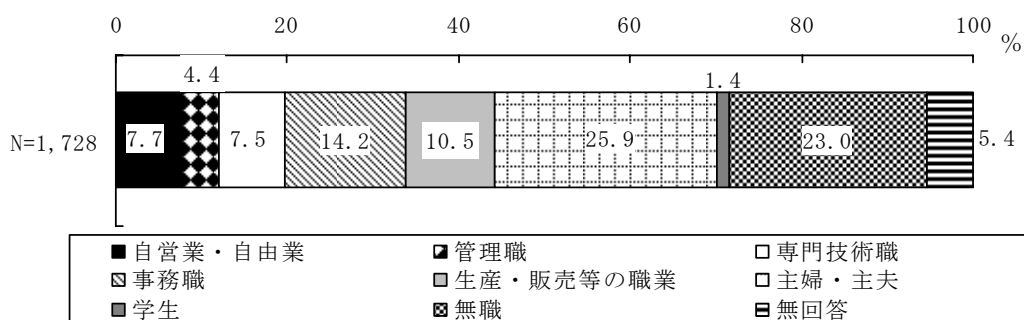
図表5 家族構成



F4 職業 (問7-4)

- 最も多いのは「主婦・主夫」で25.9%である。次いで「無職」(23.0%)、「事務職」(14.2%)、「生産・販売等の職業」(10.5%)の順である。

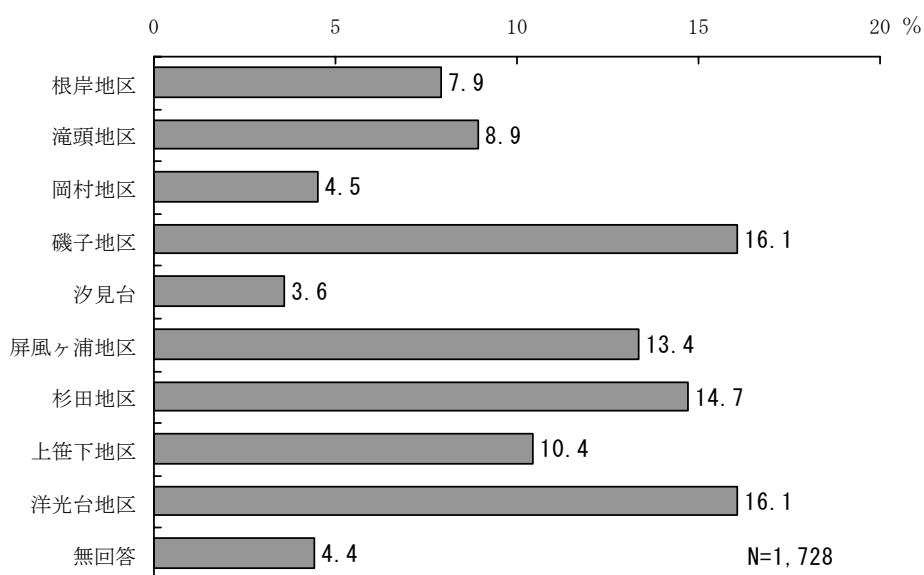
図表6 職業



F5 居住地区 (問7-5)

- 最も多いのは「磯子地区」と「洋光台地区」でともに16.1%である。次いで「杉田地区」(14.7%)、「屏風ヶ浦地区」(13.4%)、「上笹下地区」(10.4%)の順である。

図表7 居住地区



〈参考〉 図表 8 統計データとの比較／居住地区別構成比（20歳以上）

根岸	6.6%
滝頭	11.5%
岡村	5.1%
磯子	13.8%
汐見台	4.3%
屏風ヶ浦	17.3%
杉田	14.8%
上笹下	10.7%
洋光台	16.0%
合計／人	165,685

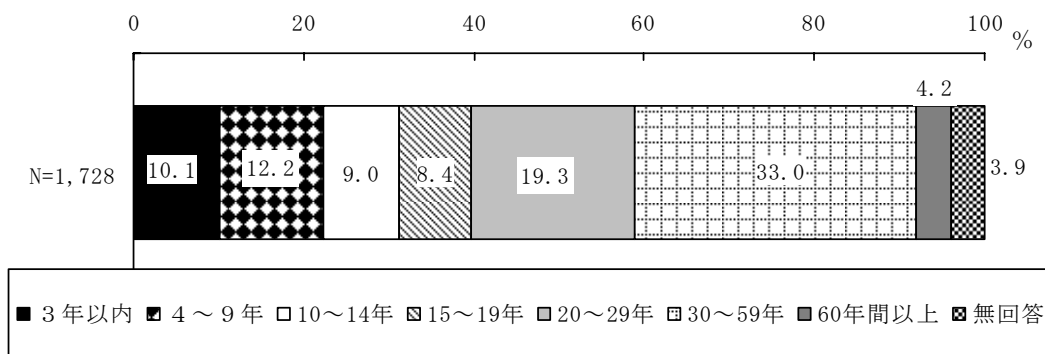
資料) 磯子区町別世帯と人口(平成16年12月31日現在)

※「住民基本台帳・外国人登録原票」に記載された世帯数・人口を町・丁(字にあたる丁)別に集計

F6 居住期間 (問7-6)

- 最も多いのは「30～59年」で33.0%、次いで「20～29年」(19.3%)である。一方「3年以内」は10.1%である。

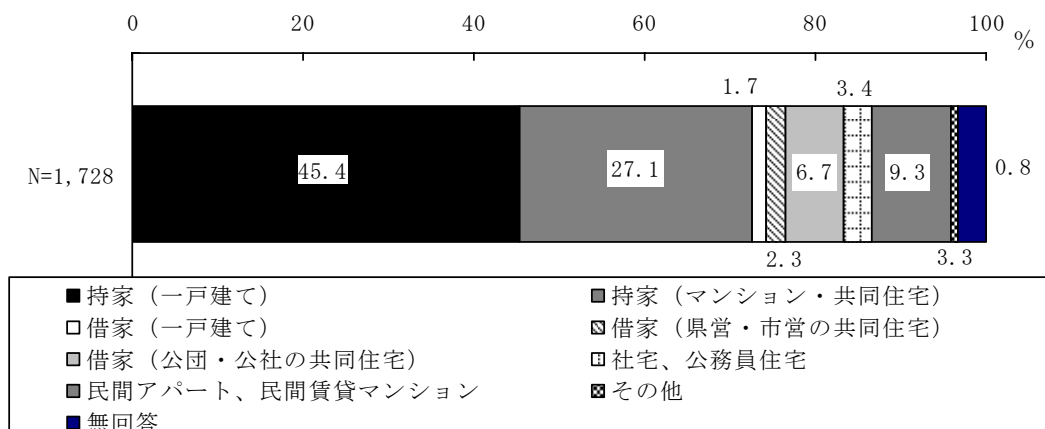
図表 9 居住期間



F7 居住形態 (問7-7)

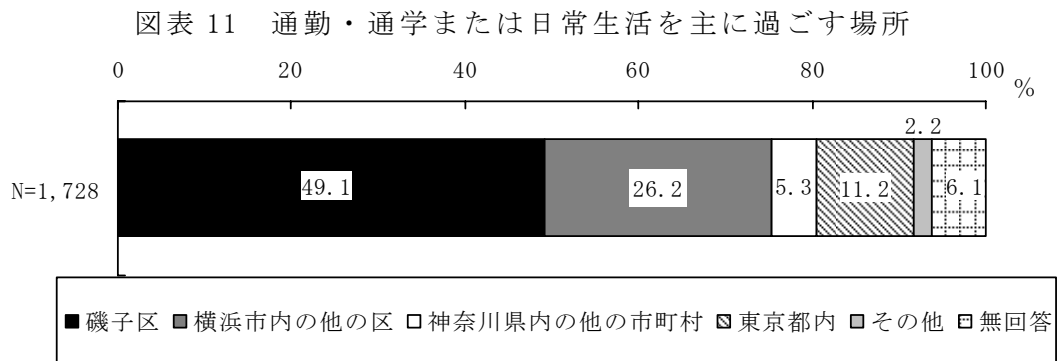
- 最も多いのは「持ち家(一戸建て)」で45.4%である。次いで「持ち家(マンション・共同住宅)」(27.1%)、「民間アパート、民間賃貸マンション」(9.3%)、「借家(公団・公社の共同住宅)」(6.7%)の順である。

図表 10 居住形態



F8 通勤・通学または日常生活を主に過ごす場所（問7-8）

- 最も多いのは「磯子区」（49.1%）で約半数を占めている。次いで「横浜市内の他の区」（26.2%）、「東京都」（11.2%）となっている。



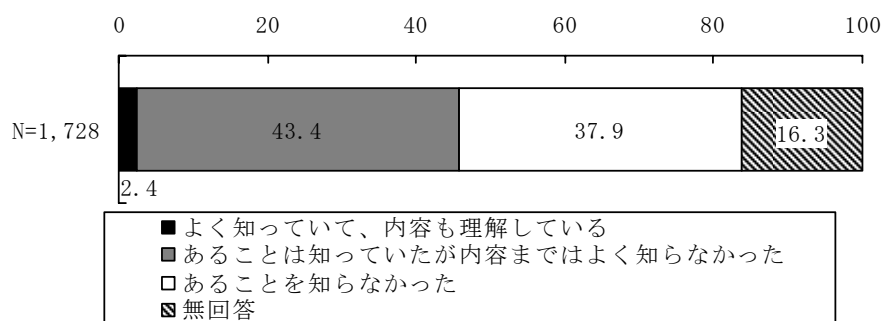
Ⅱ. 集計分析結果

1. 磯子区区政運営方針について

問1 あなたは、区政運営方針をご存知でしたか。（○は1つだけ）

- 「あることは知っていたが内容まではよく知らなかった」が43.4%で最も多い。次いで「あることを知らなかった」が37.9%である。「よく知っていて、内容も理解している」は2.4%である。

図表 12 磯子区区政運営方針について



■ 年齢別 年齢別 磯子区区政運営方針について

- どの年齢層でも「あることは知っていたが内容まではよく知らなかった」が最も多い。最も割合の高いのは「60～69歳」で54.6%である。
- 若い年齢層ほど「あることを知らなかった」の割合が高くなっており、「20～29歳」では63.3%、「30～39歳」では50.8%と過半数を占めている。

図表 13 年齢別 磯子区区政運営方針について

		全体	よく知って いて、内容 も理解して いる	あることは 知っていた が内容まで はよく知ら なかった	あることを 知らなかつ た	無回答
全 体		1,728 100.0	41 2.4	750 43.4	655 37.9	282 16.3
問7-2 年齢	20～29歳	150	0.7	23.3	63.3	12.7
	30～39歳	256	1.2	34.8	50.8	13.3
	40～49歳	229	0.4	41.5	45.0	13.1
	50～59歳	351	2.0	43.0	37.6	17.4
	60～69歳	359	3.3	54.6	26.2	15.9
	70歳以上	320	5.3	49.7	23.4	21.6
	無回答	63	0.0	39.7	41.3	19.0

2. 磯子区の独自サービス・事業について

問2 磯子区の17年度「自主企画事業費」について、それぞれの重要度と、サービスや事業の担い手のあり方についてのあなたのお考えをお聞かせください。(〇は重要度と担い手について1つずつ)

1)重要度

【「重要」と回答した人の割合】

- ・ 51のサービス・事業の中で「重要」と回答した人の割合が最も高いのは、「防災資機材の保守点検、防災訓練を実施し、あわせて震災時避難場所等を掲載した防災マップを作成・配布」(45.1%)である。次いで、「G30推進団体の活動(リサイクル実践教室等)支援や分別の啓発を通じ、ごみの削減・資源化を推進」(34.6%)、「子どもたちがさまざまな暴力から自分を守る知識や技能を身につけるためのプログラムを、区内全小学校で実施」(34.3%)、「ひとり暮らし高齢者等への見守り体制強化のため地域支えあい活動団体を支援し、あわせて医療救護隊へ研修を実施」(33.2%)、「高齢者と家族が必要なサービスを適確に選択できるよう、福祉保健に関するサービスをまとめた冊子を発行」(33.0%)、「犯罪発生を抑制するため、地域の防犯活動拠点の整備やパトロール車の塗装補助などを実施」(31.1%)と続いている。
- ・ 「重要施策6」の7つの事業・サービスのうち「食中毒などの事故を未然に防ぐため、出前講習会・簡易検査・パネル展や、アシナガバチ駆除機材の貸出を実施」を除く6つのサービス・事業が、上位10位内に入っている。
- ・ 「防災資機材の保守点検、防災訓練を実施し、あわせて震災時避難場所等を掲載した防災マップを作成・配布」について「重要」または「どちらかという重要」と回答した人の割合は81.1%であり、2位の「G30推進団体の活動(リサイクル実践教室等)支援や分別の啓発を通じ、ごみの削減・資源化を推進」(74.8%)を大きく上回っている。
- ・ 割合が低いサービス・事業は、「区民の健康づくりのための「健康プランニングセミナー」と、健康づくりを支援するための「健康サポーター育成研修」等を実施」(4.5%)、「区民のスポーツへの参加機会を促進するため、磯子区体育協会の各部門へ助成」(5.3%)、「地域の芸術文化の普及・振興のため磯子区文化協会へ助成し、あわせて区民ギャラリー展示会・区民コンサートを実施」(6.0%)、「堀割川の魅力づくりのための構想検討と、堀割川に関心をもってもらうためのイベントを実施」(6.2%)である。

図表 14 磯子区の独自サービス・事業について（重要度）

		重要	どちらか といえば 重要	どちらと もいえな い	どちらか といえば 重要でない	重要でない	無回答	全体
重要施策1・365日いつでもゆったりサービス								
1 区役所3階窓口統合	N=1,728	15.1	40.6	25.8	9.0	5.7	3.8	100.0
2 区役所出張窓口	N=1,728	21.3	37.8	21.4	9.7	6.1	3.7	100.0
3 福祉保健センターの待合スペース改善	N=1,728	16.2	35.7	28.5	9.2	5.7	4.7	100.0
重要施策2・目に見える改革と情報提供の推進								
4 区民アンケート・外部評価委員会等	N=1,728	18.2	36.7	27.0	8.4	5.0	4.6	100.0
5 区役所白書	N=1,728	14.2	32.6	29.5	11.9	7.3	4.5	100.0
6 「広報よこはま磯子区版」	N=1,728	11.9	31.4	30.6	12.5	8.6	5.1	100.0
7 チラシ類の電子化	N=1,728	9.9	26.0	36.3	14.2	9.1	4.5	100.0
8 区民生活マップ	N=1,728	23.8	39.6	17.9	9.4	5.5	3.8	100.0
9 子育て情報メールマガジン	N=1,728	10.3	31.1	35.4	10.9	7.6	4.6	100.0
10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供	N=1,728	33.0	41.0	14.0	4.5	3.6	3.8	100.0
11 福祉と保健のおたすけ電話帳	N=1,728	23.6	37.6	22.3	7.9	4.9	3.8	100.0
12 来庁者のプライバシー保護	N=1,728	18.1	24.6	27.3	14.5	12.0	3.5	100.0
重要施策3・健康・福祉・子育てを支える基盤づくり								
13 地域福祉保健計画	N=1,728	13.1	32.4	33.7	8.6	4.7	7.5	100.0
14 民生・児童委員の講演会・研修会	N=1,728	12.2	32.3	31.9	11.3	6.0	6.3	100.0
15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化	N=1,728	33.2	39.9	15.5	3.3	1.7	6.4	100.0
16 介護予防・介護支援	N=1,728	21.3	45.1	21.1	4.4	2.0	6.0	100.0
17 高齢者の生きがい支援	N=1,728	10.7	33.6	33.8	10.1	6.2	5.6	100.0
18 精神障害者生活支援センター	N=1,728	17.4	39.9	29.1	4.6	2.4	6.6	100.0
19 30代女性健診	N=1,728	18.8	35.9	28.6	6.9	3.4	6.4	100.0
20 子育てひろば	N=1,728	17.9	37.7	26.9	7.4	3.6	6.5	100.0
21 育児・健康についての講座	N=1,728	11.3	30.9	34.3	11.8	5.7	6.0	100.0
22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ	N=1,728	10.1	25.0	36.3	13.1	8.3	7.1	100.0
23 子ども会活動への支援等	N=1,728	14.5	36.3	28.5	9.3	4.8	6.7	100.0
24 区青少年指導員協議会支援	N=1,728	18.4	37.4	27.0	6.5	4.0	6.8	100.0
25 福祉体験講座	N=1,728	16.0	38.5	28.0	6.5	4.0	7.0	100.0
26 区体育指導委員連絡協議会支援	N=1,728	6.5	26.2	38.2	13.7	8.3	7.1	100.0
27 磯子区体育協会支援	N=1,728	5.3	23.1	38.9	15.8	10.4	6.6	100.0
28 健康プランニングセミナー・健康サポーター育成研修	N=1,728	4.5	20.9	40.5	16.1	10.2	7.8	100.0
29 磯子区猫の飼育ガイドライン	N=1,728	9.6	21.1	32.0	17.0	13.8	6.5	100.0
30 経済・金融に関する講座	N=1,728	9.6	22.6	35.6	14.9	11.1	6.3	100.0
重要施策4・区民が手を携えて元気にいきいきと活動できる仕組みづくり								
31 パソコン・インターネットふれあい亭	N=1,728	7.6	21.2	36.9	15.7	12.0	6.5	100.0
32 地域での様々な区民活動支援	N=1,728	7.9	24.0	39.7	11.7	9.3	7.3	100.0
33 「磯子まつり」と「地区まつり健民祭」	N=1,728	9.9	28.5	35.3	11.0	8.7	6.6	100.0
34 地域の芸術文化の普及・振興	N=1,728	6.0	23.5	40.9	13.0	9.7	6.9	100.0
35 様々な課題を学ぶことができる講座	N=1,728	7.1	26.9	36.7	14.1	8.3	7.0	100.0
36 国際理解教室等	N=1,728	7.3	27.3	37.5	12.9	8.4	6.6	100.0
重要施策5・人に優しいまちづくりと魅力アップ								
37 杉田五丁目臨海部	N=1,728	10.9	29.6	36.8	9.7	6.3	6.7	100.0
38 堀割川の魅力づくり	N=1,728	6.2	18.8	42.1	16.0	9.6	7.2	100.0
39 「磯子・海の見える公園（仮称）」	N=1,728	11.6	31.8	37.2	7.9	4.3	7.2	100.0
40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり	N=1,728	26.1	46.1	16.6	3.0	1.5	6.7	100.0
41 魅力あるふるさとづくり	N=1,728	7.2	20.9	39.5	14.6	11.1	6.8	100.0
42 花壇づくり	N=1,728	9.3	35.4	34.8	9.2	4.9	6.4	100.0
43 区内一斉清掃等	N=1,728	19.6	41.6	23.5	5.6	3.1	6.7	100.0
44 G30・ごみの削減・資源化の推進	N=1,728	34.6	40.2	14.5	2.5	2.0	6.1	100.0
重要施策6・犯罪と災害に強く安全な地域づくり								
45 自主的な防犯活動団体支援	N=1,728	24.9	39.1	20.6	3.7	3.5	8.2	100.0
46 防犯対策強化	N=1,728	31.1	39.6	16.6	3.4	1.7	7.6	100.0
47 子どもたちを暴力から守るためのプログラムの実施	N=1,728	34.3	36.7	16.9	2.2	2.1	7.8	100.0
48 防災対策の推進	N=1,728	45.1	36.0	9.1	1.4	0.9	7.5	100.0
49 子どもや高齢者の交通事故の防止	N=1,728	25.5	41.0	19.7	3.4	2.4	8.0	100.0
50 食中毒防止	N=1,728	11.2	33.0	34.7	8.6	4.6	7.9	100.0
51 弁護士による無料法律相談の実施	N=1,728	30.8	35.4	20.6	3.6	2.0	7.6	100.0

図表 15 磯子区の独自サービス・事業について（「重要」と回答した人の割合）

順位	サービス・事業	(%)
1位	48 防災対策の推進	45.1
2位	44 G30・ごみの削減・資源化の推進	34.6
3位	47 子どもたちを暴力から守るためのプログラムの実施	34.3
4位	15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化	33.2
5位	10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供	33.0
6位	46 防犯対策強化	31.1
7位	51 弁護士による無料法律相談の実施	30.8
8位	40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり	26.1
9位	49 子どもや高齢者の交通事故の防止	25.5
10位	45 自主的な防犯活動団体支援	24.9
11位	8 区民生活マップ	23.8
12位	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	23.6
13位	2 区役所出張窓口	21.3
14位	16 介護予防・介護支援	21.3
15位	43 区内一斉清掃等	19.6
16位	19 30代女性健診	18.8
17位	24 区青少年指導員協議会支援	18.4
18位	4 区民アンケート・外部評価委員会等	18.2
19位	12 来庁者のプライバシー保護	18.1
20位	20 子育てひろば	17.9
21位	18 精神障害者生活支援センター	17.4
22位	3 福祉保健センターの待合スペース改善	16.2
23位	25 福祉体験講座	16.0
24位	1 区役所3階窓口統合	15.1
25位	23 子ども会活動への支援等	14.5
26位	5 区役所白書	14.2
27位	13 地域福祉保健計画	13.1
28位	14 民生・児童委員の講演会・研修会	12.2
29位	6 「広報よこはま磯子区版」	11.9
30位	39 「磯子・海の見える公園（仮称）」	11.6
31位	21 育児・健康についての講座	11.3
32位	50 食中毒防止	11.2
33位	37 杉田五丁目臨海部	10.9
34位	17 高齢者の生きがい支援	10.7
35位	9 子育て情報メールマガジン	10.3
36位	22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ	10.1
37位	7 チラシ類の電子化	9.9
38位	33 「磯子まつり」と「地区まつり健民祭」	9.9
39位	29 磯子区猫の飼育ガイドライン	9.6
40位	30 経済・金融に関する講座	9.6
41位	42 花壇づくり	9.3
42位	32 地域での様々な区民活動支援	7.9
43位	31 パソコン・インターネットふれあい亭	7.6
44位	36 国際理解教室等	7.3
45位	41 魅力あるふるさとづくり	7.2
46位	35 様々な課題を学ぶことができる講座	7.1
47位	26 区体育指導委員連絡協議会支援	6.5
48位	38 堀割川の魅力づくり	6.2
49位	34 地域の芸術文化の普及・振興	6.0
50位	27 磯子区体育協会支援	5.3
51位	28 健康プランニングセミナー・健康サポーター育成研修	4.5

■ 年齢別 磯子区の独自サービス・事業の重要度

- ・ 年齢別に「重要」と回答した人の割合をみると、どの年齢層でも「防災資機材の保守点検、防災訓練を実施し、あわせて震災時避難場所等を掲載した防災マップを作成・配布」が第1位となっており、特に「20～29歳」では半数を超えている。
- ・ 全ての年齢層で上位10位に入っている項目は、「G30推進団体の活動（リサイクル実践教室等）支援や分別の啓発を通じ、ごみの削減・資源化を推進」、「子どもたちがさまざまな暴力から自分を守る知識や技能を身につけるためのプログラムを、区内全小学校で実施」、「ひとり暮らし高齢者等への見守り体制強化のため地域支えあい活動団体を支援し、あわせて医療救護隊へ研修を実施」、「区役所において、弁護士による無料法律相談を毎週実施」、「犯罪発生を抑制するため、地域の防犯活動拠点の整備やパトロール車の塗装補助などを実施」である。
- ・ 40代以下の若い年齢層では、「区内の公共施設やバス路線、連絡先などを記載した「区民生活マップ」を発行」の重要度が高い。
- ・ 40代以上では「高齢者と家族が必要なサービスを適確に選択できるよう、福祉保健に関するサービスをまとめた冊子を発行」、「福祉保健センターの事業内容や制度についてわかりやすく説明した「福祉と保健のおたすけ電話帳」を発行・配布」の2項目の重要度が高く、保健・福祉に関する情報提供へのニーズが高いことがうかがえる。

図表 16 年齢別 磯子区の独自サービス・事業について
 (「重要」と回答した人の割合・上位10位)

	20～29歳		30～39歳	
	サービス・事業	(%)	サービス・事業	(%)
第1位	48 防災	50.7	48 防災	46.5
第2位	44 G30	48.0	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	38.3
第3位	40 高齢者・障害者等外出支援	42.0	51 無料法律相談	37.9
第4位	8 区民生活マップ	35.3	44 G30	37.1
第5位	51 無料法律相談	33.3	46 防犯活動拠点整備等	36.3
第6位	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	32.7	15 ひとり暮らし高齢者	35.2
第7位	15 ひとり暮らし高齢者	32.0	40 高齢者・障害者等外出支援	32.0
第8位	3 福祉保健センターの待合スペース改善	30.0	19 30代女性健診	31.6
第9位	46 防犯活動拠点整備等	28.0	49 交通安全	30.1
第10位	20 子育てひろば	27.3	8 区民生活マップ	29.7

	40～49歳		50～59歳	
	サービス・事業	(%)	サービス・事業	(%)
第1位	48 防災	45.4	48 防災	46.7
第2位	44 G30	35.8	10 福祉保健に関するサービス冊子	37.3
第3位	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	34.5	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	32.8
第4位	10 福祉保健に関するサービス冊子	32.3	15 ひとり暮らし高齢者	32.2
第5位	15 ひとり暮らし高齢者	32.3	44 G30	30.2
第6位	51 無料法律相談	30.1	46 防犯活動拠点整備等	28.2
第7位	46 防犯活動拠点整備等	28.4	2 区役所出張窓口	27.1
第8位	8 区民生活マップ	25.3	51 無料法律相談	25.9
第9位	40 高齢者・障害者等外出支援	24.9	45 自主的な防犯活動団体支援	23.4
第10位	49 交通安全	23.6	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	23.1

	60～69歳		70歳以上	
	サービス・事業	(%)	サービス・事業	(%)
第1位	48 防災	44.6	48 防災	40.6
第2位	10 福祉保健に関するサービス冊子	34.3	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	37.5
第3位	15 ひとり暮らし高齢者	33.7	10 福祉保健に関するサービス冊子	35.0
第4位	44 G30	32.6	44 G30	34.4
第5位	46 防犯活動拠点整備等	31.8	46 防犯活動拠点整備等	33.1
第6位	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	31.2	15 ひとり暮らし高齢者	32.8
第7位	51 無料法律相談	30.6	49 交通安全	29.7
第8位	45 自主的な防犯活動団体支援	26.7	51 無料法律相談	28.1
第9位	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	24.0	45 自主的な防犯活動団体支援	27.2
第10位	49 交通安全	23.4	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	26.9

■ 居住地区別 磯子区の独自サービス・事業の重要度

- ・ 居住地区別に「重要」と回答した人の割合をみると、どの年齢層でも「防災資機材の保守点検、防災訓練を実施し、あわせて震災時避難場所等を掲載した防災マップを作成・配布」が第1位となっており、特に「滝頭」、「汐見台」、「上笹下」の各地区では、半数を超えている。年齢、居住地区に関係なく、多くの区民が重要と考えている項目であることがわかる。
- ・ 「岡村地区」では、防災資機材の保守点検、防災訓練を実施し、あわせて震災時避難場所等を掲載した防災マップを作成・配布」と並んで「高齢者と家族が必要なサービスを適確に選択できるよう、福祉保健に関するサービスをまとめた冊子を発行」が第1位になっている。
- ・ 全ての居住地区で上位10位に入っている項目は、「G30推進団体の活動（リサイクル実践教室等）支援や分別の啓発を通じ、ごみの削減・資源化を推進」、「子どもたちがさまざまな暴力から自分を守る知識や技能を身につけるためのプログラムを、区内全小学校で実施」、「ひとり暮らし高齢者等への見守り体制強化のため地域支えあい活動団体を支援し、あわせて医療救護隊へ研修を実施」、「区役所において、弁護士による無料法律相談を毎週実施」、「犯罪発生を抑制するため、地域の防犯活動拠点の整備やパトロール車の塗装補助などを実施」である。
- ・ 「根岸」、「滝頭」、「上笹下」の各地区では、「ひとり暮らし高齢者等への見守り体制強化のため地域支えあい活動団体を支援し、あわせて医療救護隊へ研修を実施」が上位3位以内に入っている。
- ・ 「汐見台」では「老人保健法による基本健康診査の対象外である30代の女性に対し、一時託児をもうけた健診を実施」や「子育て中の親子を対象に、交流・相談・情報交換ができる「子育てひろば」を開催」など主に子育て層を対象にした事業が上位に入っている。

図表 17 居住地区別 磯子区の独自サービス・事業について
 (「重要」と回答した人の割合)

	根岸地区		滝頭地区	
	事業・サービス	(%)	事業・サービス	(%)
第1位	48 防災	46.0	48 防災	51.9
第2位	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	34.3	44 G30	40.9
第3位	15 ひとり暮らし高齢者	34.3	15 ひとり暮らし高齢者	39.6
第4位	10 福祉保健に関するサービス冊子	34.3	10 福祉保健に関するサービス冊子	38.3
第5位	44 G30	29.2	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	36.4
第6位	51 無料法律相談	27.0	51 無料法律相談	34.4
第7位	45 自主的な防犯活動団体支援	27.0	49 交通安全	31.2
第8位	46 防犯活動拠点整備等	26.3	46 防犯活動拠点整備等	30.5
第9位	49 交通安全	23.4	40 高齢者・障害者等外出支援	28.6
第10位	16 介護予防・介護支援	22.6	45 自主的な防犯活動団体支援	28.6

	岡村地区		磯子地区	
	事業・サービス	(%)	事業・サービス	(%)
第1位	10 福祉保健に関するサービス冊子	35.9	48 防災	45.7
第2位	48 防災	35.9	44 G30	36.0
第3位	46 防犯活動拠点整備等	33.3	10 福祉保健に関するサービス冊子	33.8
第4位	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	33.3	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	32.7
第5位	51 無料法律相談	30.8	15 ひとり暮らし高齢者	32.4
第6位	45 自主的な防犯活動団体支援	29.5	46 防犯活動拠点整備等	30.2
第7位	15 ひとり暮らし高齢者	28.2	51 無料法律相談	27.0
第8位	44 G30	25.6	49 交通安全	25.5
第9位	19 30代女性健診	23.1	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	24.8
第10位	49 交通安全	23.1	8 区民生活マップ	24.1

図表 17 居住地区別 磯子区の独自サービス・事業について
 (「重要」と回答した人の割合) / 続き

	汐見台		屏風ヶ浦地区	
	事業・サービス	(%)	事業・サービス	(%)
第1位	48 防災	54.8	48 防災	41.1
第2位	46 防犯活動拠点整備等	48.4	10 福祉保健に関するサービス冊子	35.1
第3位	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	45.2	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	35.1
第4位	51 無料法律相談	41.9	44 G30	34.2
第5位	40 高齢者・障害者等外出支援	35.5	15 ひとり暮らし高齢者	32.5
第6位	44 G30	33.9	51 無料法律相談	32.5
第7位	19 30代女性健診	32.3	46 防犯活動拠点整備等	31.6
第8位	10 福祉保健に関するサービス冊子	30.6	40 高齢者・障害者等外出支援	29.9
第9位	15 ひとり暮らし高齢者	29.0	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	26.0
第10位	20 子育てひろば	29.0	49 交通安全	24.2

	杉田地区		上笹下地区	
	事業・サービス	(%)	事業・サービス	(%)
第1位	48 防災	40.9	48 防災	51.1
第2位	44 G30	35.0	15 ひとり暮らし高齢者	37.8
第3位	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	33.5	44 G30	37.8
第4位	46 防犯活動拠点整備等	33.1	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	35.6
第5位	15 ひとり暮らし高齢者	31.9	10 福祉保健に関するサービス冊子	33.9
第6位	10 福祉保健に関するサービス冊子	31.1	51 無料法律相談	31.7
第7位	40 高齢者・障害者等外出支援	31.1	40 高齢者・障害者等外出支援	30.6
第8位	51 無料法律相談	28.7	46 防犯活動拠点整備等	30.0
第9位	49 交通安全	26.4	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	29.4
第10位	45 自主的な防犯活動団体支援	25.2	8 区民生活マップ	27.2

	洋光台地区	
	事業・サービス	(%)
第1位	48 防災	45.3
第2位	44 G30	35.6
第3位	47 子供が暴力から自分を守るプログラム	33.1
第4位	15 ひとり暮らし高齢者	30.9
第5位	51 無料法律相談	30.2
第6位	10 福祉保健に関するサービス冊子	29.9
第7位	46 防犯活動拠点整備等	29.1
第8位	45 自主的な防犯活動団体支援	25.9
第9位	49 交通安全	25.5
第10位	8 区民生活マップ	24.8

【「重要ではない」と回答した人の割合】

- ・ 「重要でない」と回答した人の割合では、「猫に関するトラブルを減らすため、「磯子区猫の飼育ガイドライン」の普及啓発を実施」が 13.8%で最も多く、「来庁者のプライバシー保護のため、区役所保険年金課窓口カウンターについたてを設置」(12.0%)、「区民同士が教えあう「パソコン・インターネットふれあい亭」を開設し、地域での IT 化を推進し、区民の交流を促進」(12.0%)、「区民が経済・金融に関する知識を身につけ、自らの財産を守れるようにするため、講座を開催」(11.1%)、「区の木「梅」の苗木作りや商店街と連携した「杉田梅」ブランド品作りなど、魅力あるふるさとづくりを推進」(11.1%)と続いている。

図表 18 磯子区の独自サービス・事業について（「重要でない」と回答した人の割合）

順位	サービス・事業	(%)
1位	29 磯子区猫の飼育ガイドライン	13.8
2位	12 来庁者のプライバシー保護	12.0
3位	31 パソコン・インターネットふれあい亭	12.0
4位	30 経済・金融に関する講座	11.1
5位	41 魅力あるふるさとづくり	11.1
6位	27 磯子区体育協会支援	10.4
7位	28 健康プランニングセミナー・健康サポーター育成研修	10.2
8位	34 地域の芸術文化の普及・振興	9.7
9位	38 堀割川の魅力づくり	9.6
10位	32 地域での様々な区民活動支援	9.3
11位	7 チラシ類の電子化	9.1
12位	33 「磯子まつり」と「地区まつり健民祭」	8.7
13位	6 「広報よこはま磯子区版」	8.6
14位	36 国際理解教室等	8.4
15位	26 区体育指導委員連絡協議会支援	8.3
16位	22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ	8.3
17位	35 様々な課題を学ぶことができる講座	8.3
18位	9 子育て情報メールマガジン	7.6
19位	5 区役所白書	7.3
20位	37 杉田五丁目臨海部	6.3
21位	17 高齢者の生きがい支援	6.2
22位	2 区役所出張窓口	6.1
23位	14 民生・児童委員の講演会・研修会	6.0
24位	3 福祉保健センターの待合スペース改善	5.7
25位	21 育児・健康についての講座	5.7
26位	1 区役所3階窓口統合	5.7
27位	8 区民生活マップ	5.5
28位	4 区民アンケート・外部評価委員会等	5.0
29位	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	4.9
30位	42 花壇づくり	4.9
31位	23 子ども会活動への支援等	4.8
32位	13 地域福祉保健計画	4.7
33位	50 食中毒防止	4.6
34位	39 「磯子・海の見える公園（仮称）」	4.3
35位	24 区青少年指導員協議会支援	4.0
36位	25 福祉体験講座	4.0
37位	10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供	3.6
38位	20 子育てひろば	3.6
39位	45 自主的な防犯活動団体支援	3.5
40位	19 30代女性健診	3.4
41位	43 区内一斉清掃等	3.1
42位	49 子どもや高齢者の交通事故の防止	2.4
43位	18 精神障害者生活支援センター	2.4
44位	47 子どもたちを暴力から守るためのプログラムの実施	2.1
45位	16 介護予防・介護支援	2.0
46位	44 G30・ごみの削減・資源化の推進	2.0
47位	51 弁護士による無料法律相談の実施	2.0
48位	46 防犯対策強化	1.7
49位	15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化	1.7
50位	40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり	1.5
51位	48 防災対策の推進	0.9

【評価の得点化】

- 回答結果について、「重要」に2点、「どちらかといえば重要」に1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかといえば重要でない」に-1点、「重要でない」に-2点を与え、それぞれの施策の評価の回答率（その評価の回答者数÷その事業の回答者数×100）にかけてその総和を得点とした。ここでの得点は便宜上点数を与えたもので、得点そのものに意味があるのではなく、施策間の相対的な評価をみたものである。
- 順位は「重要」の割合とほぼ同じ傾向を示しており（図表15を参照）、「防災資機材の保守点検、防災訓練を実施し、あわせて震災時避難場所等を掲載した防災マップを作成・配布」が最も高く、第2位の「G30推進団体の活動（リサイクル実践教室等）支援や分別の啓発を通じ、ごみの削減・資源化を推進」を大きく上回っている。
- 評価の点数が低い事業の中には、「どちらともいえない」の割合が高いものがあり（図表14を参照）、「堀割川の魅力づくりのための構想検討と、堀割川に関心をもってもらうためのイベントの実施」（42.1%）、「地域の芸術文化の普及・振興のため磯子区文化協会へ助成し、あわせて区民ギャラリー展示会・区民コンサートを実施」（40.9%）、「区民の健康づくりのための健康プランニングセミナーと、健康づくりを支援するための健康サポーター育成研修等を実施」（40.5%）など4割を超えているものもある。これらの事業については、事業内容や事業の目的が周知されていないことも考えられる。

図表 19 磯子区の独自サービス・事業について（得点化したもの）

順位	サービス・事業の内容	得点
1位	48 防災対策の推進	132.92
2位	44 G30・ごみの削減・資源化の推進	109.49
3位	47 子どもたちを暴力から守るためのプログラムの実施	107.09
4位	15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化	106.49
5位	46 防犯対策強化	102.69
6位	10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供	98.98
7位	40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり	98.88
8位	51 弁護士による無料法律相談の実施	96.56
9位	49 子どもや高齢者の交通事故の防止	91.13
10位	45 自主的な防犯活動団体支援	85.25
11位	16 介護予防・介護支援	84.36
12位	43 区内一斉清掃等	74.09
13位	18 精神障害者生活支援センター	69.95
14位	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	69.63
15位	8 区民生活マップ	69.39
16位	24 区青少年指導員協議会支援	64.06
17位	19 30代女性健診	63.91
18位	20 子育てひろば	62.81
19位	2 区役所出張窓口	60.82
20位	25 福祉体験講座	60.36
21位	4 区民アンケート・外部評価委員会等	57.43
22位	1 区役所3階窓口統合	52.41
23位	3 福祉保健センターの待合スペース改善	49.79
24位	23 子ども会活動への支援等	49.69
25位	13 地域福祉保健計画	44.03
26位	39 「磯子・海の見える公園（仮称）」	41.65
27位	50 食中毒防止	40.77
28位	42 花壇づくり	37.29
29位	5 区役所白書	36.30
30位	14 民生・児童委員の講演会・研修会	35.58
31位	17 高齢者の生きがい支援	34.40
32位	21 育児・健康についての講座	32.12
33位	37 杉田五丁目臨海部	31.31
34位	9 子育て情報メールマガジン	26.74
35位	6 「広報よこはま磯子区版」	26.71
36位	12 来庁者のプライバシー保護	22.92
37位	33 「磯子まつり」と「地区まつり健民祭」	21.19
38位	22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ	16.76
39位	7 チラシ類の電子化	13.87
40位	36 国際理解教室等	13.14
41位	35 様々な課題を学ぶことができる講座	11.08
42位	32 地域での様々な区民活動支援	10.24
43位	26 区体育指導委員連絡協議会支援	9.53
44位	30 経済・金融に関する講座	5.12
45位	34 地域の芸術文化の普及・振興	3.17
46位	41 魅力あるふるさとづくり	-1.55
47位	27 磯子区体育協会支援	-3.10
48位	31 パソコン・インターネットふれあい亭	-3.53
49位	38 堀割川の魅力づくり	-4.37
50位	29 磯子区猫の飼育ガイドライン	-4.58
51位	28 健康プランニングセミナー・健康サポーター育成研修	-7.16

【平成 16 年度調査との比較】

- 平成 16 年度区民意識調査では、区の自主企画事業について重要度を聞いた。
- 平成 16 年度と 17 年度では事業内容が異なっているものもあるが、全体的にみると、防犯やごみ対策、高齢者関係の事業の重要度が高く、文化やスポーツ分野の事業の重要度が低くなっており、今回の調査結果と大きくは変わっていない。
- 平成 16 年度調査になかった「防犯対策」が 17 年度調査で上位に位置づけられていること、ごみ対策と子どもへの暴力防止プログラムの順位が高くなっていることが特徴としてあげられる。
- また、平成 16 年度調査では、「どちらともいえない」の割合が全体として高く、40%以上の事業が 18 事業あったが、今回は 3 事業にとどまっている。「どちらともいえない」の回答が多い要因として、事業の内容や本来の目的が区民に正しく伝わっていないことが考えられるが、今回「どちらともいえない」の割合が減ったことで、各事業の情報が区民に浸透してきているのではないかと予想される。

2) サービスや事業の担い手のあり方

【「区が中心となって進めるべき」と回答した人の割合】

- ・ 「来庁者の利便性向上を図るため、市民税・固定資産税・納税の3カ所に分かれていた区役所3階の税証明窓口を統合する改修を実施」(71.1%)、「来庁者のプライバシー保護のため、区役所保険年金課窓口カウンターについたてを設置」(70.0%)の区役所内の窓口に関する2項目が特に高くなっている。次いで「区役所において、弁護士による無料法律相談を毎週実施」(60.5%)、「区役所配布のチラシ類を電子化してホームページに掲載し、あわせて区役所1階に資料閲覧コーナーを整備」(53.9%)、「区民が身近なところで気軽に年金・国保などの相談ができるよう、地区センターに月1回区役所出張窓口を開設」(49.2%)、「福祉保健センターの事業内容や制度についてわかりやすく説明した「福祉と保健のおたすけ電話帳」を発行・配布」(49.0%)、「老人保健法による基本健康診査の対象外である30代の女性に対し、一時託児をもうけた健診を実施」(同)となっている。区が実施している相談事業や情報提供事業に関する項目が高くなっている。
- ・ 一方、割合が低い項目は「区内主要駅や公共施設の花壇での花の育成や、地域ボランティアの協力による花壇づくり」(20.5%)、「区の木「梅」の苗木作りや商店街と連携した「杉田梅」ブランド品作りなど、魅力あるふるさとづくりを推進」(21.8%)、「自治会・町内会や地域の協力により、区内一斉清掃や路上違反広告物追放キャンペーンを実施」(23.5%)、「活動助成金の交付や必要な物品の配布などにより、自治会・町内会など自主的に防犯活動を行う団体を支援」(23.8%)、「青少年の企画立案・プレゼンテーション能力を養うため、中学生を対象に起業活動疑似体験のワークショップを開催」(24.0%)等の項目である。

図表 20 サービス・事業の担い手のあり方
 (「区が中心となって進めるべき」と回答した人の割合)

順位	サービス・事業	(%)
1位	1 区役所3階窓口統合	70.1
2位	12 来庁者のプライバシー保護	70.0
3位	51 弁護士による無料法律相談の実施	60.5
4位	7 チラシ類の電子化	53.9
5位	2 区役所出張窓口	49.2
6位	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	49.0
7位	19 30代女性健診	49.0
8位	5 区役所白書	46.8
9位	48 防災対策の推進	46.8
10位	40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり	45.7
11位	8 区民生活マップ	45.3
12位	10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供	44.6
13位	4 区民アンケート・外部評価委員会等	39.6
14位	44 G30・ごみの削減・資源化の推進	39.0
15位	50 食中毒防止	38.8
16位	3 福祉保健センターの待合スペース改善	38.4
17位	6 「広報よこはま磯子区版」	38.4
18位	39 「磯子・海の見える公園(仮称)」	36.5
19位	49 子どもや高齢者の交通事故の防止	35.8
20位	9 子育て情報メールマガジン	35.4
21位	30 経済・金融に関する講座	35.0
22位	35 様々な課題を学ぶことができる講座	34.1
23位	16 介護予防・介護支援	33.2
24位	37 杉田五丁目臨海部	33.0
25位	47 子どもたちを暴力から守るためのプログラムの実施	32.2
26位	14 民生・児童委員の講演会・研修会	32.1
27位	29 磯子区猫の飼育ガイドライン	31.6
28位	25 福祉体験講座	31.4
29位	21 育児・健康についての講座	30.8
30位	36 国際理解教室等	30.5
31位	20 子育てひろば	30.3
32位	32 地域での様々な区民活動支援	30.2
33位	27 磯子区体育協会支援	29.8
34位	28 健康プランニングセミナー・健康サポーター育成研修	28.9
35位	18 精神障害者生活支援センター	28.7
36位	34 地域の芸術文化の普及・振興	28.3
37位	15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化	28.0
38位	38 堀割川の魅力づくり	28.0
39位	46 防犯対策強化	28.0
40位	13 地域福祉保健計画	27.4
41位	24 区青少年指導員協議会支援	26.8
42位	23 子ども会活動への支援等	26.3
43位	33 「磯子まつり」と「地区まつり健民祭」	26.0
44位	17 高齢者の生きがい支援	25.5
45位	26 区体育指導委員連絡協議会支援	25.5
46位	31 パソコン・インターネットふれあい亭	25.1
47位	22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ	24.0
48位	45 自主的な防犯活動団体支援	23.8
49位	43 区内一斉清掃等	23.5
50位	41 魅力あるふるさとづくり	21.8
51位	42 花壇づくり	20.5

【「地域と行政との協働により進めるべき」と回答した人の割合】

- ・ 「自治会・町内会や地域の協力により、区内一斉清掃や路上違反広告物追放キャンペーンを実施」(55.3%)が最も高く、「活動助成金の交付や必要な物品の配布などにより、自治会・町内会など自主的に防犯活動を行う団体を支援」(54.5%)、「犯罪発生を抑制するため、地域の防犯活動拠点の整備やパトロール車の塗装補助などを実施」(50.1%)となっており、地域の美化や防犯活動に関する項目が高くなっている。上位3項目については、それぞれ過半数の人が「地域と行政との協働により進めるべき」としている。
- ・ 地域でのお祭りや青少年育成、高齢者の見守りなどの事業も割合が高くなっている。
- ・ 割合が低い項目は、「来庁者のプライバシー保護のため、区役所保健窓口カウンターについたてを設置」(11.4%)や「区役所において、弁護士による無料法律相談を毎週実施」(15.3%)、「来庁者の利便性向上を図るため、市民税・固定資産税・納税の3カ所に分かれていた区役所3階の税証明窓口を統合する改修を実施」(17.9%)など、区役所内の窓口や相談業務に関する項目であり、いずれも2割に満たない。

図表 21 サービス・事業の担い手のあり方
 (「地域と行政との協働により進めるべき」と回答した人の割合)

順位	サービス・事業	(%)
1位	43 区内一斉清掃等	55.3
2位	45 自主的な防犯活動団体支援	54.5
3位	46 防犯対策強化	50.1
4位	13 地域福祉保健計画	49.9
5位	33 「磯子まつり」と「地区まつり健民祭」	48.7
6位	24 区青少年指導員協議会支援	48.2
7位	42 花壇づくり	46.5
8位	47 子どもたちを暴力から守るためのプログラムの実施	45.3
9位	15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化	45.0
10位	38 堀割川の魅力づくり	42.6
11位	23 子ども会活動への支援等	41.8
12位	49 子どもや高齢者の交通事故の防止	41.5
13位	14 民生・児童委員の講演会・研修会	41.1
14位	41 魅力あるふるさとづくり	41.0
15位	44 G30・ごみの削減・資源化の推進	41.0
16位	37 杉田五丁目臨海部	40.4
17位	32 地域での様々な区民活動支援	40.0
18位	34 地域の芸術文化の普及・振興	39.8
19位	25 福祉体験講座	39.6
20位	20 子育てひろば	39.5
21位	17 高齢者の生きがい支援	38.7
22位	4 区民アンケート・外部評価委員会等	38.6
23位	26 区体育指導委員連絡協議会支援	38.4
24位	18 精神障害者生活支援センター	38.3
25位	39 「磯子・海の見える公園(仮称)」	37.9
26位	16 介護予防・介護支援	37.8
27位	6 「広報よこはま磯子区版」	36.9
28位	3 福祉保健センターの待合スペース改善	36.4
29位	2 区役所出張窓口	34.7
30位	48 防災対策の推進	34.4
31位	27 磯子区体育協会支援	34.0
32位	9 子育て情報メールマガジン	33.8
33位	21 育児・健康についての講座	33.7
34位	29 磯子区猫の飼育ガイドライン	33.5
35位	40 高齢者・障害者等外出ししやすいまちづくり	33.3
36位	35 様々な課題を学ぶことができる講座	33.1
37位	10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供	32.8
38位	22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ	31.8
39位	28 健康プランニングセミナー・健康サポーター育成研修	31.1
40位	5 区役所白書	31.0
41位	31 パソコン・インターネットふれあい亭	29.7
42位	36 国際理解教室等	28.8
43位	8 区民生活マップ	28.2
44位	50 食中毒防止	28.1
45位	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	27.7
46位	19 30代女性健診	27.0
47位	30 経済・金融に関する講座	23.5
48位	7 チラシ類の電子化	22.2
49位	1 区役所3階窓口統合	17.9
50位	51 弁護士による無料法律相談の実施	15.3
51位	12 来庁者のプライバシー保護	11.4

【「NPOや民間企業の事業として進めるべき」と回答した人の割合】

- ・ 「NPOや民間企業の事業として進めるべき」の回答割合をみると、「区が中心となって進めるべき」、「地域と行政との協働で進めるべき」と比較して全体的に低くなっている。過半数の人が「NPOや民間企業の事業として進めるべき」と回答したサービス・事業はなく、最も高い「区民同士が教えあう「パソコン・インターネットふれあい亭」を開設し、地域でのIT化を推進し、区民の交流を促進」(28.8%)でも3割に満たない。
- ・ 上位の項目をみると第2位の「青少年の企画立案・プレゼンテーション能力を養うため、中学生を対象に起業活動疑似体験のワークショップを開催」(26.9%)、「区民と在住外国人との交流・理解を深めるため、国際理解教室、フェスティバルや日本語講師養成講座を開催」(24.5%)、「区民が経済・金融に関する知識を身につけ、自らの財産を守れるようにするため、講座を開催」(24.1%)、「区民の健康づくりのための「健康プランニングセミナー」と、健康づくりを支援するための「健康サポーター育成研修」等を実施」(22.5%)など、「重要施策3」や「重要施策4」の講座やイベントに関する項目が目立っている。
- ・ 一方、割合の低い項目は、「来庁者の利便性向上を図るため、市民税・固定資産税・納税の3カ所に分かれていた区役所3階の税証明窓口を統合する改修を実施」(1.3%)などの区役所窓口に関する項目や、防犯・防災に関する項目が多くなっている。

図表 22 サービス・事業の担い手のあり方
 (「NPOや民間企業の事業として進めるべき」と回答した人の割合)

順位	サービス・事業	(%)
1位	31 パソコン・インターネットふれあい亭	28.8
2位	22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ	26.9
3位	36 国際理解教室等	24.5
4位	30 経済・金融に関する講座	24.1
5位	28 健康プランニングセミナー・健康サポーター育成研修	22.5
6位	17 高齢者の生きがい支援	21.0
7位	41 魅力あるふるさとづくり	20.8
8位	26 区体育指導委員連絡協議会支援	19.2
9位	21 育児・健康についての講座	18.9
10位	27 磯子区体育協会支援	18.8
11位	29 磯子区猫の飼育ガイドライン	18.5
12位	42 花壇づくり	18.2
13位	18 精神障害者生活支援センター	17.4
14位	23 子ども会活動への支援等	16.6
15位	35 様々な課題を学ぶことができる講座	16.4
16位	9 子育て情報メールマガジン	16.3
17位	34 地域の芸術文化の普及・振興	15.7
18位	20 子育てひろば	14.8
19位	50 食中毒防止	14.7
20位	8 区民生活マップ	14.1
21位	16 介護予防・介護支援	14.1
22位	25 福祉体験講座	13.2
23位	15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化	12.9
24位	3 福祉保健センターの待合スペース改善	12.6
25位	32 地域での様々な区民活動支援	12.6
26位	38 堀割川の魅力づくり	12.4
27位	37 杉田五丁目臨海部	11.2
28位	10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供	10.9
29位	6 「広報よこはま磯子区版」	10.8
30位	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	10.8
31位	14 民生・児童委員の講演会・研修会	10.4
32位	33 「磯子まつり」と「地区まつり健民祭」	10.1
33位	39 「磯子・海の見える公園（仮称）」	10.1
34位	24 区青少年指導員協議会支援	9.6
35位	4 区民アンケート・外部評価委員会等	9.5
36位	19 30代女性健診	8.9
37位	5 区役所白書	8.9
38位	7 チラシ類の電子化	8.5
39位	51 弁護士による無料法律相談の実施	7.7
40位	43 区内一斉清掃等	7.6
41位	13 地域福祉保健計画	6.5
42位	44 G30・ごみの削減・資源化の推進	6.5
43位	40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり	6.4
44位	47 子どもたちを暴力から守るためのプログラムの実施	6.1
45位	46 防犯対策強化	5.9
46位	49 子どもや高齢者の交通事故の防止	5.9
47位	45 自主的な防犯活動団体支援	5.6
48位	2 区役所出張窓口	3.8
49位	12 来庁者のプライバシー保護	3.5
50位	48 防災対策の推進	3.3
51位	1 区役所3階窓口統合	1.3

3) サービスや事業の重要度と担い手のあり方の関係

- ・ ここでは、「サービス・事業の重要度」の得点化の結果と、「サービスや事業の担い手のあり方」の得点化の結果の関係をみる。
- ・ 次頁の表は、「サービス・事業の重要度」の得点順に「サービスや事業の担い手のあり方」の結果をみたものである。

図表 23 サービス・事業の重要度順担い手のあり方の割合（無回答を含む）

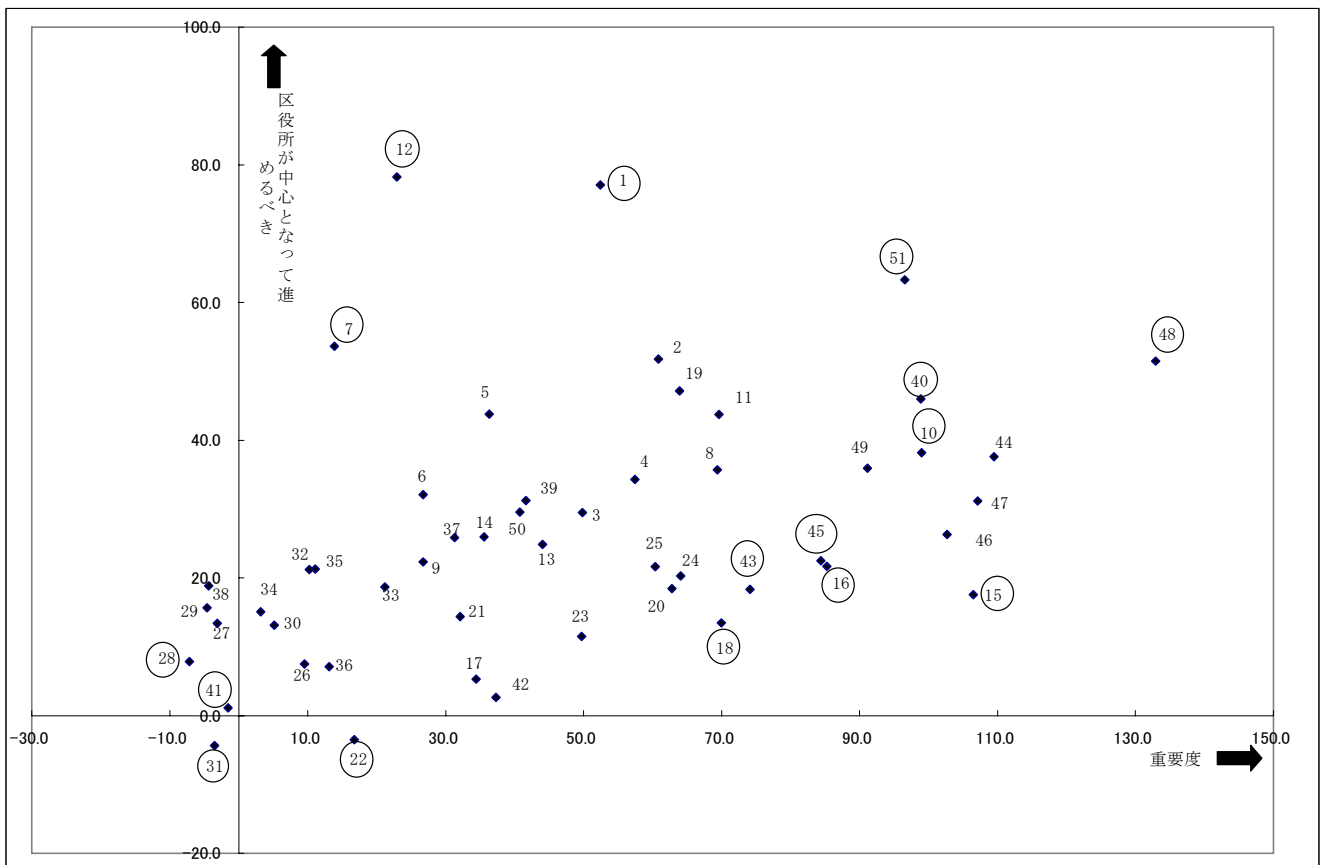
順位	サービス・事業の内容	担い手のあり方 (%)		
		区が中心となつて進めるべき	地域と行政との協働により進めるべき	NPOや民間企業の事業として進めるべき
1位	48 防災対策の推進	46.8	34.4	3.3
2位	44 G30・ごみの削減・資源化の推進	39.0	41.0	6.5
3位	47 子どもたちを暴力から守るためのプログラムの実施	32.2	45.3	6.1
4位	15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化	28.0	45.0	12.9
5位	46 防犯対策強化	28.0	50.1	5.9
6位	10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供	44.6	32.8	10.9
7位	40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり	45.7	33.3	6.4
8位	51 弁護士による無料法律相談の実施	60.5	15.3	7.7
9位	49 子どもや高齢者の交通事故の防止	35.8	41.5	5.9
10位	45 自主的な防犯活動団体支援	23.8	54.5	5.6
11位	16 介護予防・介護支援	33.2	37.8	14.1
12位	43 区内一斉清掃等	23.5	55.3	7.6
13位	18 精神障害者生活支援センター	28.7	38.3	17.4
14位	11 福祉と保健のおたすけ電話帳	49.0	27.7	10.8
15位	8 区民生活マップ	45.3	28.2	14.1
16位	24 区青少年指導員協議会支援	26.8	48.2	9.6
17位	19 30代女性健診	49.0	27.0	8.9
18位	20 子育てひろば	30.3	39.5	14.8
19位	2 区役所出張窓口	49.2	34.7	3.8
20位	25 福祉体験講座	31.4	39.6	13.2
21位	4 区民アンケート・外部評価委員会等	39.6	38.6	9.5
22位	1 区役所3階窓口統合	70.1	17.9	1.3
23位	3 福祉保健センターの待合スペース改善	38.4	36.4	12.6
24位	23 子ども会活動への支援等	26.3	41.8	16.6
25位	13 地域福祉保健計画	27.4	49.9	6.5
26位	39 「磯子・海の見える公園（仮称）」	36.5	37.9	10.1
27位	50 食中毒防止	38.8	28.1	14.7
28位	42 花壇づくり	20.5	46.5	18.2
29位	5 区役所白書	46.8	31.0	8.9
30位	14 民生・児童委員の講演会・研修会	32.1	41.1	10.4
31位	17 高齢者の生きがい支援	25.5	38.7	21.0
32位	21 育児・健康についての講座	30.8	33.7	18.9
33位	37 杉田五丁目臨海部	33.0	40.4	11.2
34位	9 子育て情報メールマガジン	35.4	33.8	16.3
35位	6 「広報よこはま磯子区版」	38.4	36.9	10.8
36位	12 来庁者のプライバシー保護	70.0	11.4	3.5
37位	33 「磯子まつり」と「地区まつり健民祭」	26.0	48.7	10.1
38位	22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ	24.0	31.8	26.9
39位	7 チラシ類の電子化	53.9	22.2	8.5
40位	36 国際理解教室等	30.5	28.8	24.5
41位	35 様々な課題を学ぶことができる講座	34.1	33.1	16.4
42位	32 地域での様々な区民活動支援	30.2	40.0	12.6
43位	26 区体育指導委員連絡協議会支援	25.5	38.4	19.2
44位	30 経済・金融に関する講座	35.0	23.5	24.1
45位	34 地域の芸術文化の普及・振興	28.3	39.8	15.7
46位	41 魅力あるふるさとづくり	21.8	41.0	20.8
47位	27 磯子区体育協会支援	29.8	34.0	18.8
48位	31 パソコン・インターネットふれあい亭	25.1	29.7	28.8
49位	38 堀割川の魅力づくり	28.0	42.6	12.4
50位	29 磯子区猫の飼育ガイドライン	31.6	33.5	18.5
51位	28 健康プランニングセミナー・健康サポーター育成研修	28.9	31.1	22.5

- 「サービスや事業の担い手のあり方」については、回答結果について、「区が中心となって進めるべき」に1点、「地域と行政との協働により進めるべき」に0点、「NPOや民間企業の事業として進めるべき」に-1点を与え、それぞれの施策の評価の回答率（その評価の回答者数÷その事業の回答者数×100）にかけてその総和を得点とした。ここでの得点は便宜上点数を与えたもので、得点そのものに意味があるのではなく、施策間の相対的な評価をみたものである。得点が高い方がより「区役所主導で進めるべき事業である」と考えられているサービス・事業であるといえる。（「サービス・事業の重要度」の得点化については、17ページを参照のこと。）

図表 24 サービス・事業の重要度と担い手のあり方の関わり／主なサービス・事業

区民にとって重要度はあまり高くないが、区役所主導で進めるべきと考えているサービス・事業	重要度	区役所主導度	区民にとって重要度が高く、区役所主導で進めるべきと考えているサービス・事業	重要度	区役所主導度
12 来庁者のプライバシー保護	22.92	78.25	51 弁護士による無料法律相談の実施	96.56	63.27
1 区役所3階窓口統合	52.41	77.06	48 防災対策の推進	132.92	51.47
7 チラシ類の電子化	13.87	53.66	40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり	98.88	45.97
			10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供	98.98	38.16
区民にとって重要度はあまり高くないが、民間や地域と協働、または民間主導で進めるべきと考えているサービス・事業	重要度	区役所主導度	区民にとって重要度は高いが、民間や地域と協働、または民間主導で進めるべきと考えているサービス・事業	重要度	区役所主導度
28 健康プランニングセミナー・健康サポーター育成研修	-7.16	7.86	16 介護予防・介護支援	84.36	22.52
41 魅力あるふるさとづくり	-1.55	1.11	45 自主的な防犯活動団体支援	85.25	21.66
22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ	16.76	-3.50	43 区内一斉清掃等	74.09	18.34
31 パソコン・インターネットふれあい亭	-3.53	-4.36	15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化	106.49	17.58
			18 精神障害者生活支援センター	69.95	13.45

図表 25 サービス・事業の重要度と担い手のあり方の関わりについて



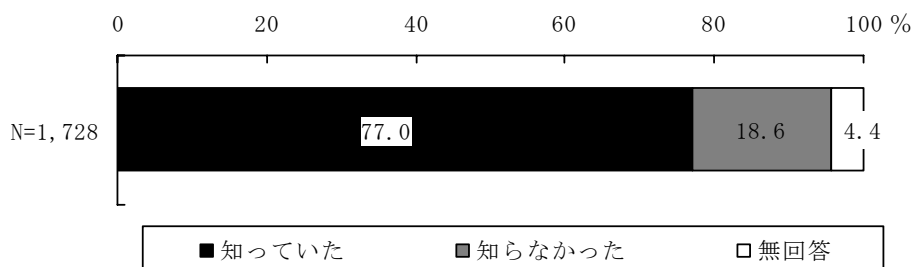
- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1 区役所3階窓口統合 | 27 磯子区体育協会支援 |
| 2 区役所出張窓口 | 28 健康プランニングセミナー・健康サポーター育成研修 |
| 3 福祉保健センターの待合スペース改善 | 29 磯子区猫の飼育ガイドライン |
| 4 区民アンケート・外部評価委員会等 | 30 経済・金融に関する講座 |
| 5 区役所白書 | 31 パソコン・インターネットふれあい亭 |
| 6 「広報よこはま磯子区版」 | 32 地域での様々な区民活動支援 |
| 7 チラシ類の電子化 | 33 「磯子まつり」と「地区まつり健民祭」 |
| 8 区民生活マップ | 34 地域の芸術文化の普及・振興 |
| 9 子育て情報メールマガジン | 35 様々な課題を学ぶことができる講座 |
| 10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供 | 36 国際理解教室等 |
| 11 福祉と保健のおたすけ電話帳 | 37 杉田五丁目臨海部 |
| 12 来庁者のプライバシー保護 | 38 堀割川の魅力づくり |
| 13 地域福祉保健計画 | 39 「磯子・海の見える公園(仮称)」 |
| 14 民生・児童委員の講演会・研修会 | 40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり |
| 15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化 | 41 魅力あるふるさとづくり |
| 16 介護予防・介護支援 | 42 花壇づくり |
| 17 高齢者の生きがい支援 | 43 区内一斉清掃等 |
| 18 精神障害者生活支援センター | 44 G30・ごみの削減・資源化の推進 |
| 19 30代女性健診 | 45 自主的な防犯活動団体支援 |
| 20 子育てひろば | 46 防犯対策強化 |
| 21 育児・健康についての講座 | 47 子どもたちを暴力から守るためのプログラムの実施 |
| 22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ | 48 防災対策の推進 |
| 23 子ども会活動への支援等 | 49 子どもや高齢者の交通事故の防止 |
| 24 区青少年指導員協議会支援 | 50 食中毒防止 |
| 25 福祉体験講座 | 51 弁護士による無料法律相談の実施 |
| 26 区体育指導委員連絡協議会支援 | |

3. 土曜開庁(一部窓口オープン)について

問3 あなたは、この土曜開庁のことをご存知でしたか。(〇は1つ)

- ・ 「知っていた」が77.0%、「知らなかった」が18.6%である。

図表 26 土曜開庁の認知度



■ 男女別 土曜開庁の認知度

- ・ 「女性」の81.6%が「知っている」と回答しており、「男性」を約10ポイント上回っている。

図表 27 男女別 土曜開庁の認知度

	全体	問3 土曜開庁について		
		知っていた	知らなかった	無回答
全 体	1,728 100.0	1,330 77.0	322 18.6	76 4.4
問7-1 性別				
男性	741	71.9	23.3	4.7
女性	924	81.6	14.5	3.9
無回答	63	68.3	23.8	7.9

■ 年齢別 土曜開庁の認知度

- ・ 年齢が高くなるほど認知度が上がる傾向がみられ、「60～69歳」が最も高く81.3%、次いで「70歳以上」が79.7%であるが、若い年齢層でも7割以上が土曜開庁を認知している。

図表 28 年齢別 土曜開庁の認知度

	全体	問3 土曜開庁について		
		知っていた	知らなかった	無回答
全 体	1,728 100.0	1,330 77.0	322 18.6	76 4.4
問7-2 年齢				
20～29歳	150	71.3	24.7	4.0
30～39歳	256	72.7	25.0	2.3
40～49歳	229	76.4	21.4	2.2
50～59歳	351	77.5	17.4	5.1
60～69歳	359	81.3	13.9	4.7
70歳以上	320	79.7	14.4	5.9
無回答	63	68.3	23.8	7.9

■ 通勤・通学先・日常を過ごす場所別 土曜開庁の認知度

- ・ 日中磯子区内で過ごす人では 81.4%が認知しているのに対して、「横浜市内の他の区」(74.1%)、「神奈川県内の他の市町村」(67.0%)、「東京都内」(68.4%)となっており、特に市外で過ごしている人で認知度が低い。

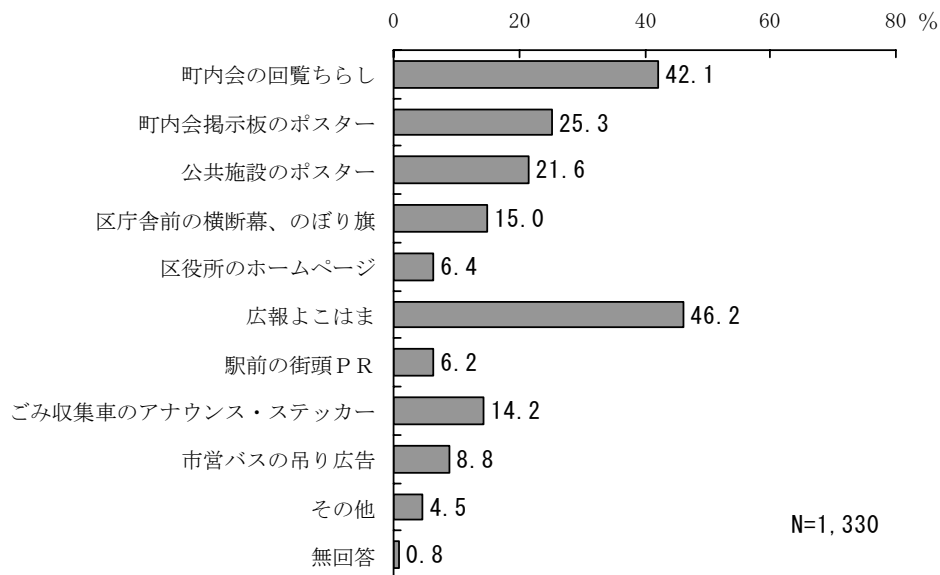
図表 29 年齢別 土曜開庁の認知度

	全体	問3 土曜開庁について			
		知っていた	知らなかった	無回答	
全 体	1,728 100.0	1,330 77.0	322 18.6	76 4.4	
問7-8 通勤・通 学先、日 常を過ご す場所	磯子区	848	81.4	14.2	4.5
	横浜市内の他の区	452	74.1	20.8	5.1
	神奈川県内の他の市町村	91	67.0	30.8	2.2
	東京都内	193	68.4	28.5	3.1
	その他	38	76.3	21.1	2.6
	無回答	106	78.3	16.0	5.7

問3-1 土曜開庁は何でお知りになりましたか。(〇はいくつでも)

- ・ 「広報よこはま」が 46.2%で最も多く、回答者の半数近くが広報よこはまを通じて土曜開庁を認知していることがわかる。次いで「町内会の回覧ちらし」(42.1%)、「町内会掲示板のポスター」(25.3%)、「公共施設のポスター」(21.6%)、「区庁舎前の横断幕、のぼり旗」(15.0%)、「ごみ収集車のアナウンス・ステッカー」(14.2%)となっている。

図表 30 土曜開庁を何で知ったか (複数回答)



- ・ 「その他」(60件)の中で、具体的な記述のあったもの(49件)をみると、家族や友人・知人から聞いたという意見が多い。

図表 31 土曜開庁を何で知ったか・「その他」の内容

Q3-1 (土曜開庁を知った理由)	(件数)
家族から聞いた	11
近所の人・友人・知人から聞いた	14
駅や電車の中のポスター等で知った	5
町内会等の掲示板で知った	3
区役所・行政センター等に行った時に知った	9
たまたま土曜日に行ったら開庁していた	2
直接区役所に問い合わせた	2
ラジオ	1
新聞	1
他区でもやっているから	1
合計	49

■ 通勤・通学先・日常を過ごす場所別 土曜開庁を何で知ったか

- ・ どの通勤・通学場所でも「広報よこはま」が第1位、「町内会の回覧ちらし」が第2位になっている。
- ・ 土曜開庁について認知度の低い「東京都内」の人では「駅前の街頭PR」と「区庁舎までの横断幕、のぼり旗」の割合が他と比べてやや高くなっている。区外通勤・通学者への今後のPR方法として、駅や電車でのポスター等の活用が考えられる。

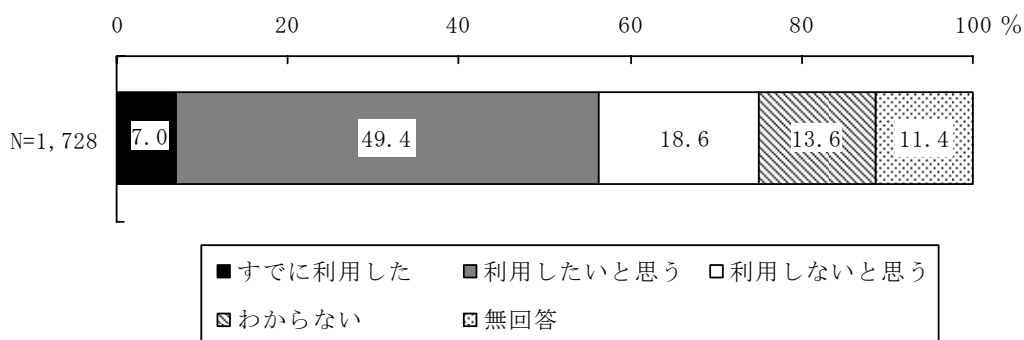
図表 32 通勤・通学先・日常を過ごす場所別 土曜開庁を何で知ったか

	全体	問3-1 土曜開庁を知った理由(複数回答)										
		町内会の回覧ちらし	町内会掲示板のポスター	公共施設のポスター	区庁舎前の横断幕、のぼり旗	区役所のホームページ	広報よこはま	駅前の街頭PR	ごみ収集車のアナウンス・ステッカー	市営バスの吊り広告	その他	無回答
全 体	1,330	560 42.1	336 25.3	287 21.6	200 15.0	85 6.4	614 46.2	83 6.2	189 14.2	117 8.8	60 4.5	10 0.8
問7-8 通勤・通 学先、日 常を過 す場所												
磯子区	690	49.3	27.8	20.3	12.5	4.9	51.7	3.6	16.5	9.0	2.9	1.2
横浜市内の他の区	335	36.4	22.1	24.8	20.0	8.4	42.1	8.7	11.9	8.7	6.0	0.3
神奈川県内の他の市町村	61	37.7	29.5	24.6	16.4	9.8	41.0	8.2	13.1	9.8	1.6	0.0
東京都内	132	26.5	18.2	24.2	21.2	9.8	37.1	13.6	8.3	5.3	9.8	0.0
その他	29	27.6	31.0	17.2	6.9	6.9	37.9	10.3	10.3	17.2	6.9	0.0
無回答	83	38.6	22.9	14.5	8.4	2.4	37.3	3.6	15.7	9.6	4.8	1.2

問3-2 土曜開庁を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

- ・ 「すでに利用した」は1割未満にとどまっているが、「利用したいと思う」が49.4%で全体の約半数が利用意向を示している。
- ・ 「利用しないと思う」は18.6%、「わからない」が13.6%である。

図表 33 土曜開庁の利用実態及び利用意向



■ 年齢別 土曜開庁の利用実態及び利用意向

- ・ 「すでに利用した」は「50～59歳」(8.8%)、「40～49歳」(8.7%)でやや高い。
- ・ 「利用したいと思う」は「30～39歳」(61.3%)、「20～29歳」(60.0%)で高く、年齢が上がるほど低くなっている。

図表 34 年齢別 土曜開庁の利用実態及び利用意向

		全体	問3-2 土曜開庁の利用について				
			すでに利用した	利用したいと思う	利用しないと思う	わからない	無回答
全 体		1,728	121	853	322	235	197
		100.0	7.0	49.4	18.6	13.6	11.4
問7-2 年齢	20～29歳	150	5.3	60.0	12.0	14.7	8.0
	30～39歳	256	7.0	61.3	9.0	15.2	7.4
	40～49歳	229	8.7	58.1	11.8	13.1	8.3
	50～59歳	351	8.8	53.8	11.4	12.3	13.7
	60～69歳	359	7.0	41.5	27.6	12.0	12.0
	70歳以上	320	5.6	31.9	32.5	15.3	14.7
	無回答	63	1.6	52.4	17.5	14.3	14.3

■ 通勤・通学先・日常を過ごす場所別 土曜開庁の利用実態及び利用意向

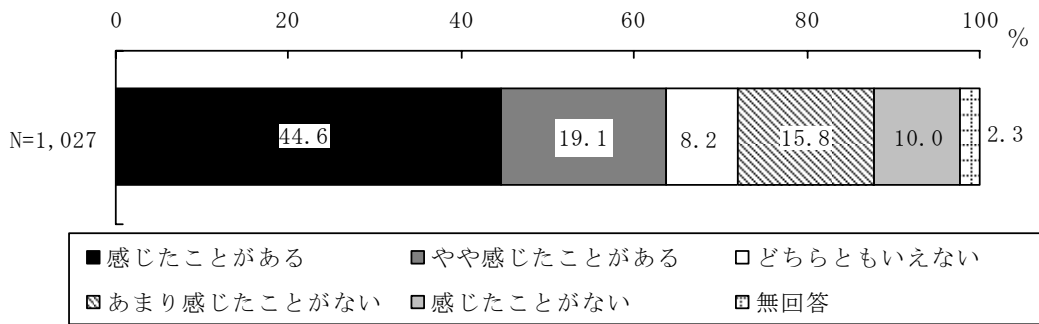
- ・ 「東京都内」の人では「すでに利用した」が13.0%で他と比べて高くなっている。また「利用したいと思う」についても、区外通勤・通学者で割合が高くなっており、利用意向の高さがうかがえる。

図表 35 通勤・通学先・日常を過ごす場所別 土曜開庁の利用実態及び利用意向

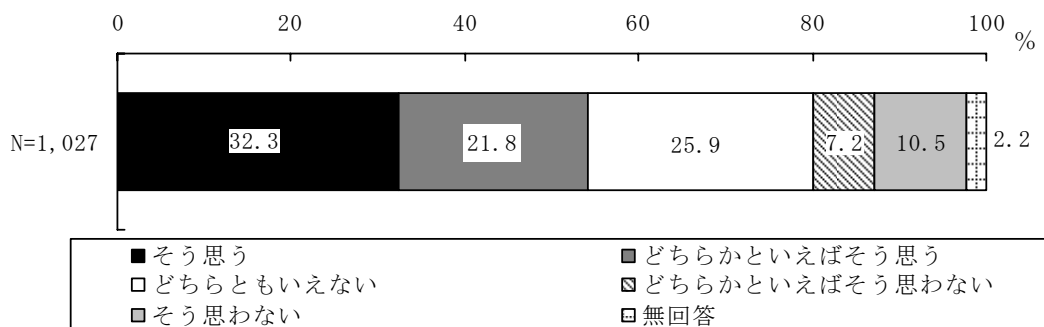
	全体	問3-2 土曜開庁の利用について				
		すでに利用した	利用したいと思う	利用しないと思う	わからない	無回答
全 体	1,728 100.0	121 7.0	853 49.4	322 18.6	235 13.6	197 11.4
問7-8 通勤・通 学先、日 常を過ご す場所						
磯子区	848	5.8	44.5	23.1	14.3	12.4
横浜市内の他の区	452	6.4	54.6	13.9	13.5	11.5
神奈川県内の他の市町村	91	4.4	61.5	14.3	12.1	7.7
東京都内	193	13.0	57.5	11.4	9.8	8.3
その他	38	10.5	50.0	13.2	13.2	13.2
無回答	106	9.4	40.6	21.7	17.0	11.3

- ・ 土曜開庁の施行前に実施された平成16年の意識調査の結果をみると、土曜開庁の必要性について6割以上が「感じたことがある」または「やや感じたことがある」としている。また土曜開庁の利用意向（平日よりむしろ土曜日に区役所を利用したいか）についても、半数以上が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」としている。特に若い年齢層や東京都内への通勤・通学者で、土曜開庁の必要性や利用意向が高く示されており、今回の調査結果と同様の傾向が認められる。

〈参考〉図表 36 土曜開庁の必要性を感じたことがあるか



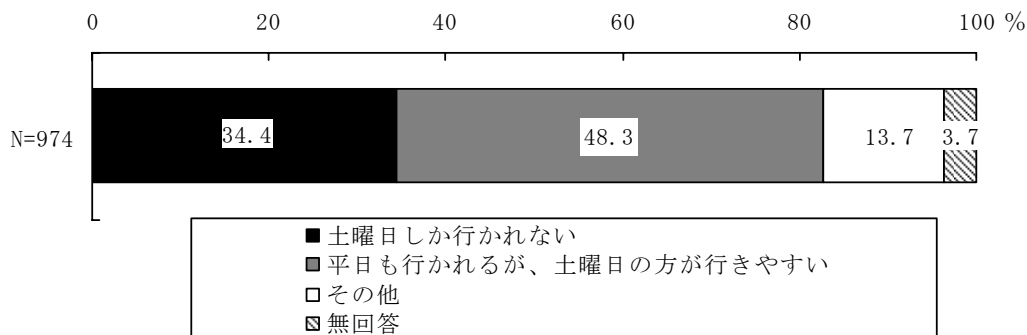
図表 37 土曜開庁の利用意向



問3-3 土曜開庁を利用する理由は何ですか。(〇は1つ)

- 「平日も行かれるが、土曜日の方が行きやすい」が48.3%で最も多い。次いで「土曜日しか行かない」が34.4%である。

図表 38 土曜開庁を利用する理由



- 「その他」(133件)のうち具体的に記述のあった意見(98件)をみると、「急に必要時があるから」(44件)、「土曜日も開いていると便利である、安心感があるから」(32件)が特に多い。「平日は仕事等で行けないから」は17件である。

図表 39 土曜開庁を利用する理由・「その他」の内容

Q3-3 (土曜開庁を利用する理由)	(件数)
急に必要時があるから	44
土曜日も開いていると便利／安心感があるから	32
平日は仕事等で行けないから	17
土曜日は空いているから	3
外出のついでに立ち寄れるから	2
合計	98

■ 年齢別 土曜開庁を利用する理由

- 「20～29歳」の52.0%が「土曜日しか行かない」と回答している。また「30～39歳」と「40～49歳」の45%以上も「土曜日しか行かない」としている。
- 60歳以上では、「土曜日しか行かない」の割合は低いものの、「平日も行かれるが、土曜日の方が行きやすい」が約6割いる。本人は平日に行ける状況にあるが、同行する家族等の都合によるものと考えられる。

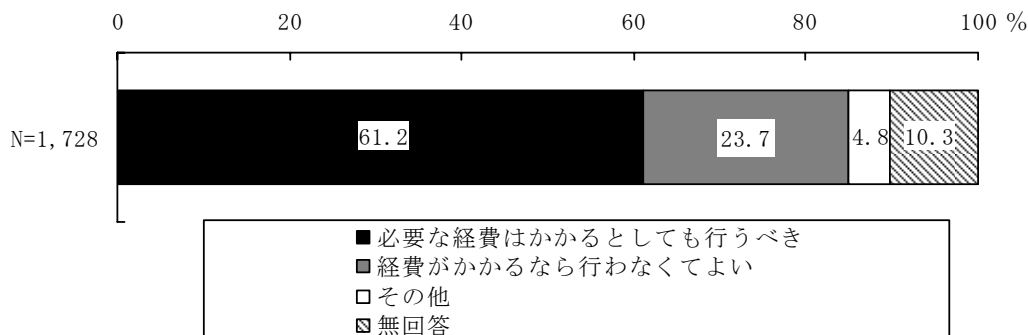
図表 40 年齢別 土曜開庁を利用する理由

		問3-3 土曜開庁を利用する理由				
		全体	土曜日しか 行かない	平日も行か れるが、土 曜日の方が 行きやすい	その他	無回答
全 体		974 100.0	335 34.4	470 48.3	133 13.7	36 3.7
問7-2 年齢	20～29歳	98	52.0	31.6	15.3	1.0
	30～39歳	175	46.3	41.1	12.6	0.0
	40～49歳	153	45.8	44.4	8.5	1.3
	50～59歳	220	37.3	46.4	10.5	5.9
	60～69歳	174	18.4	59.2	17.2	5.2
	70歳以上	120	7.5	61.7	21.7	9.2
	無回答	34	29.4	58.8	11.8	0.0

問3-4 土曜開庁の今後の実施について、どう思われますか。(〇は1つ)

- ・ 「必要な経費はかかるとしても行うべき」(61.2%)が全体の6割を占めている。「経費がかかるなら行わなくてよい」(23.7%)は概ね4分の1である。

図表 41 土曜開庁の今後の実施について



- ・ 「その他」(83件)のうち具体的に記述のあった意見(48件)をみると、「土曜日開庁に伴う経費を抑えて実施する」(23件)が最も多かった。また「需要をみて検討、実施する」(9件)という意見や、「平日の開庁時間を短くして土曜日開庁する」(同)という意見もあった。

図表 42 土曜開庁の今後の実施について・「その他」の内容

Q3-4 (土曜開庁の今後の実施について)			
(大分類)	件数	(小分類)	件数
土曜日開庁に伴う経費を抑えて実施する	23	無駄な経費を削減する・経費を抑える	19
		PR費を削減するべき	2
		業務削減や1フロアでの実施など工夫する	1
		1箇所の窓口に集約する	1
需要をみて検討、実施する	9	需要があるのだったら実施した方がよい	5
		需要と経費のバランスをみて判断	1
		平日の利用件数と比較する	1
		利用率が低ければ実施しなくてもよい	1
		試行期間の区民の反応をみて判断する	1
平日の開庁時間を短くして土曜日開庁する	9	平日を休みにして土曜日を終日開庁する	7
		平日を半休にして土曜日開庁する	1
		平日の開庁時間を短くする	1
他の事業の無駄を抑えて土曜開庁にまわす	6		6
地区センターで代行し、土曜開庁は止める	1		1
合計	48		48

■ 年齢別 土曜開庁の今後の実施について

- ・ 「20～29歳」の72.7%が「必要な経費がかかるとしても行うべき」とし、最も高くなっている。
- ・ 年齢が上がるほど「必要な経費がかかるとしても行うべき」は低くなる傾向がみられるが、最も低い「70歳以上」でも47.5%が「必要な経費がかかるとしても行うべき」としており、全ての年齢層で「経費がかかるなら行わなくてよい」を上回っている。

図表 43 年齢別 土曜開庁の今後の実施について

		全体	問3-4 土曜開庁の今後の実施について			
			必要な経費はかかるとしても行うべき	経費がかかるなら行わなくてよい	その他	無回答
全 体		1,728 100.0	1,057 61.2	410 23.7	83 4.8	178 10.3
問7-2 年齢	20～29歳	150	72.7	15.3	4.7	7.3
	30～39歳	256	67.2	16.4	9.4	7.0
	40～49歳	229	66.8	18.8	7.9	6.6
	50～59歳	351	68.9	17.1	2.3	11.7
	60～69歳	359	55.2	28.7	5.0	11.1
	70歳以上	320	47.5	36.3	2.2	14.1
	無回答	63	49.2	36.5	1.6	12.7

■ 通勤・通学先・日常を過ごす場所別 土曜開庁の今後の実施について

- ・ 「東京都内」の人の72.0%、「神奈川県内の他の市町村」の71.4%が「必要な経費がかかるとしても行うべき」としており、他に比べて特に高くなっている。

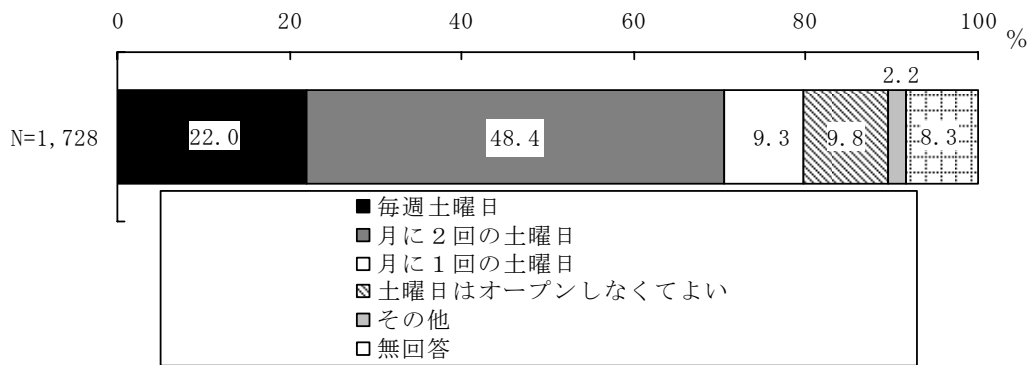
図表 44 通勤・通学先・日常を過ごす場所別 土曜開庁の今後の実施について

		全体	問3-4 土曜開庁の今後の実施について			
			必要な経費はかかるとしても行うべき	経費がかかるなら行わなくてよい	その他	無回答
全 体		1,728 100.0	1,057 61.2	410 23.7	83 4.8	178 10.3
問7-8 通勤・通学先、日常を過ごす場所	磯子区	848	59.6	26.1	3.5	10.8
	横浜市内の他の区	452	60.8	22.8	6.6	9.7
	神奈川県内の他の市町村	91	71.4	17.6	4.4	6.6
	東京都内	193	72.0	15.0	5.2	7.8
	その他	38	55.3	31.6	5.3	7.9
	無回答	106	49.1	27.4	6.6	17.0

**問3-5 現在月2回の土曜開庁を試行していますが、月に何回ぐらいが適当と思われますか。
(○は1つ)**

- 最も多いのは、現行と同じ「月に2回の土曜日」(48.4%)で全体の半数近くとなっている。次いで「毎週土曜日」(22.0%)、「土曜日はオープンしなくてよい」(9.8%)、「月に1回の土曜日」(9.3%)の順である。

図表 45 土曜開庁の頻度 (月に何回ぐらいが適当か)



- 「その他」(38件)のうち具体的に記述のあった意見(30件)をみると、「日曜(祝日)も開庁する」という意見が14件あった。具体的には「土曜日と日曜日交互に開庁してほしい」、「土曜日よりもむしろ日祝日に開庁してほしい」などの意見がある。
- また「土日曜日に開庁し、平日2日閉庁する」、「土曜日は終日開庁する」などの意見もあった。

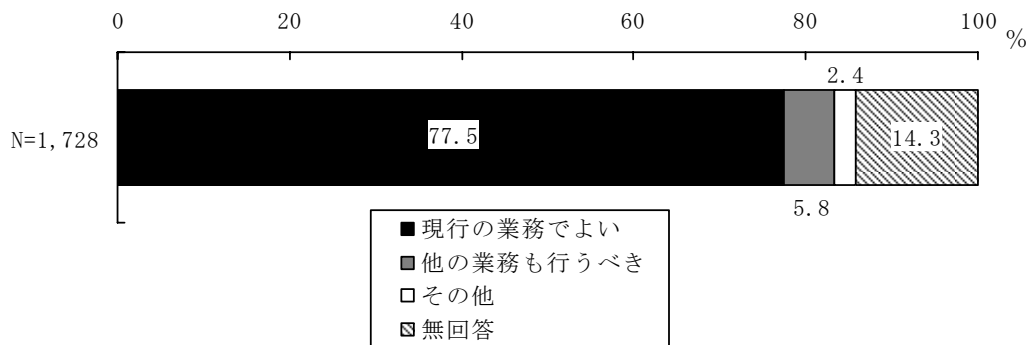
図表 46 土曜開庁の頻度・「その他」の意見

Q3-5 (土曜開庁の頻度)			
(大分類)	件数	(小分類)	件数
日曜(祝日)も開庁する	14	土曜日と日曜日交互に開庁	7
		土曜日よりもむしろ日祝日に開庁してほしい	2
		毎週土日開庁	2
		毎週日曜日	1
		月2回の日曜日	1
		日曜日も開庁してほしい	1
土日曜に開庁し、平日2日閉庁する	2		2
土曜日は終日開庁する	3	終日開庁してほしい	1
		月1回でよいので終日開庁してほしい	1
		毎週もしくは月2回で終日開庁してほしい	1
平日夜間開庁	2	土曜は月1回でよいので、平日夜間開庁の日を設ける	2
利用状況を見て判断する	4	利用者が増えれば頻度を増やす	2
		平日の利用状況と比較して判断する	2
時期に応じて設定する	3	忙しい時期は毎週、その他は月に2回	1
		忙しい時期は月に2回、その他は月に1回	1
		月の上中下旬で忙しい時期に開庁する	1
月2~3回開庁する	1		1
第2・4土曜日は紛らわしい(毎週か、やらないかにする)	1		1
合計	30		30

問3-6 土曜開庁の取り扱い業務について、どう思われますか。(〇は1つ)

- ・ 「現行の業務でよい」が77.5%で大半を占めている。「他の業務も行うべき」は5.8%にとどまっている。

図表 47 土曜開庁の取り扱い業務について



- ・ 「他の業務も行うべき」(101件)のうち具体的に記述のあった意見(68件)をみると、「全ての業務」(24件)が特に多い。「福祉・保健・健康づくり」に関する業務(16件)や「税金関係」(10件)への意見も多くなっている。「福祉・保健・健康づくり」では母親が就労していることと関連して「子どもの予防接種、健診」(6件)への要望が目立った。

図表 48 土曜開庁の取り扱い業務について・「他の業務も行うべき」の内容

Q3-6 (取り扱い業務) / 他の業務も行うべき			
(大分類)	件数	(小分類)	件数
全ての業務	24		24
福祉・保健・健康づくり	16	子どもの予防接種、健診	6
		福祉サービス課の業務	3
		福祉関係	2
		保育サービス課の業務	1
		高齢者、障害者関係	1
		福祉相談	1
		高額治療費申請等	1
		健診	1
法律相談	5		5
相談窓口	4		4
税金関係	10	納税証明書	4
		確定申告	2
		税金相談	1
		納税	1
		税務署の受付、相談	1
		税金	1
年金	3	年金	1
		国民年金	1
		国民年金の相談	1
戸籍	2	戸籍謄本	1
		磯子区以外の戸籍謄本・抄本の取り扱い	1
住民票	1	転出・転入届	1
ゴミの相談	1		1
会社等で使う書類をとる	1		1
今後さらに拡大すべき	1		1
合計	68		68

- ・ 「その他」(41件)のうち具体的に記述のあった意見(8件)をみると、「実績をみて判断する」(4件)、全業務を行うべき」(2件)などがある。

図表 49 土曜開庁の取り扱い業務について・「その他」の内容

Q3-6 (取り扱い業務) / その他			
(大分類)	件数	(小分類)	件数
全業務を行うべき	2	平日と同じでなければ意味がない	1
		将来的には全業務を	1
実績をみて判断する	4	実績をみて増減する	1
		利用件数が少ない業務については検討するべき	1
		ニーズの高いものに絞る	1
		取り扱い業務を減らす	1
全区がバラバラだと戸惑いがある	1		1
内容は現状でよいが、開庁時間を16時までに	1		1
	8		8

4. 施策の重要度について

問4 17年度磯子区区政運営方針では、6つの重要施策を設定しています。あなたにとって重要と思われる順に、1～6の順位をつけてください。

- ・ 回答者全体のうち750人（43.4%）が「犯罪と災害に強く安全な地域づくり」を1位に、388人（22.5%）が「健康・福祉・子育てを支える基盤づくり」を1位に選択している。また483人（28.0%）が「健康・福祉・子育てを支える基盤づくり」を2位に、220人（12.7%）が「犯罪と災害に強く安全な地域づくり」を2位に選択している。
- ・ 「目に見える改革と情報提供の推進」を1位に挙げたのは183人（10.6%）、「365日いつでもゆったりサービス」は140人（8.1%）、「人に優しいまちづくりと魅力アップ」は104人（6.0%）、「区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり」は48人（2.8%）である。

図表 50 施策の重要度について

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	無回答	全体	
件数	365日いつでもゆったりサービス	140	94	157	212	247	747	131	1,728	
	目に見える改革と情報提供の推進	183	202	331	272	368	238	134	1,728	
	健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	388	483	329	226	134	44	124	1,728	
	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	48	119	224	432	453	316	136	1,728	
	人に優しいまちづくりと魅力アップ	104	264	340	345	335	208	132	1,728	
	犯罪と災害に強く安全な地域づくり	750	448	220	104	48	37	121	1,728	
割合	365日いつでもゆったりサービス	N=1,728	8.1	5.4	9.1	12.3	14.3	43.2	7.6	100.0
	目に見える改革と情報提供の推進	N=1,728	10.6	11.7	19.2	15.7	21.3	13.8	7.8	100.0
	健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	N=1,728	22.5	28.0	19.0	13.1	7.8	2.5	7.2	100.0
	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	N=1,728	2.8	6.9	13.0	25.0	26.2	18.3	7.9	100.0
	人に優しいまちづくりと魅力アップ	N=1,728	6.0	15.3	19.7	20.0	19.4	12.0	7.6	100.0
	犯罪と災害に強く安全な地域づくり	N=1,728	43.4	25.9	12.7	6.0	2.8	2.1	7.0	100.0

- ・ この設問は6つの事業について順位をつけてもらう形式をとっているが、回答状況（優先順位）にばらつきがみられるかどうかをみる。「犯罪と災害に強く安全な地域づくり」を1位に選択した人の回答状況を見ると、352人（46.9%）と半数が「健康・福祉・子育てを支える基盤づくり」を2位に選択している。また「健康・福祉・子育てを支える基盤づくり」を1位に選択した人のうち、244人（62.9%）と6割以上が「犯罪と災害に強く安全な地域づくり」を2位に選択している。区民がこの2つの重要施策を重視しており、特に「犯罪と災害に強く安全な地域づくり」を支持していることがわかる。

図表 51 「犯罪と災害に強く安全な地域づくり」を第1位に選択した人の回答状況

1位	件			2位	件	%			3位	件	%
犯罪と災害に強く安全な地域づくり	750	⇒		健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	352	46.9	⇒	目に見える改革と情報提供の推進	146	41.5	
				人に優しいまちづくりと魅力アップ	175	23.3		人に優しいまちづくりと魅力アップ	114	32.4	
				目に見える改革と情報提供の推進	122	16.3		区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	61	17.3	
				区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	51	6.8		365日いつでもゆったりサービス	30	8.5	
				365日いつでもゆったりサービス	49	6.5		無回答	1	0.3	
				無回答	1	0.1					

図表 52 「健康・福祉・子育てを支える基盤づくり」を第1位に選択した人の回答状況

1位	件	2位	件	%	3位	件	%
健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	388	犯罪と災害に強く安全な地域づくり	244	62.9	人に優しいまちづくりと魅力アップ	87	35.7
		人に優しいまちづくりと魅力アップ	46	11.9	目に見える改革と情報提供の推進	74	30.3
		目に見える改革と情報提供の推進	43	11.1	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	48	19.7
		区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	32	8.2	365日いつでもゆったりサービス	33	13.5
		365日いつでもゆったりサービス	22	5.7	無回答	2	0.8
		無回答	1	0.3			

- 回答結果について、1位に6点、2位に5点、3位に4点、4位に3点、5位に2点、6位に1点を与え、それぞれの施策の評価の回答率（その評価の回答者数÷その事業の回答者数×100）にかけてその総和を得点とした。ここでの得点は便宜上点数を与えたもので、得点そのものに意味があるのではなく、施策間の相対的な評価をみたものである。その結果、「犯罪と災害に強く安全な地域づくり」が第1位、以下「健康・福祉・子育てを支える基盤づくり」、「目に見える改革と情報提供の推進」、「人に優しいまちづくりと魅力アップ」、「区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり」、「365日いつでもゆったりサービス」の順となっている。

図表 53 施策の重要度について（得点評価）

順位	重点施策名	得点
第1位	犯罪と災害に強く安全な地域づくり	501.9
第2位	健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	439.5
第3位	目に見える改革と情報提供の推進	327.6
第4位	人に優しいまちづくりと魅力アップ	326.9
第5位	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	269.9
第6位	365日いつでもゆったりサービス	238.9

■ 年齢別 施策の重要度について(得点評価)

- ・ 年齢別に施策の得点化を行い、その順位をみたところ、どの年齢層においても「犯罪と災害に強く安全な地域づくり」が第1位、「健康・福祉・子育てを支える基盤づくり」が第2位であった。
- ・ 第3位の項目をみると、「20～29歳」と60歳以上では「人に優しいまちづくりと魅力アップ」、その他の年齢層では「目に見える改革と情報提供の推進」となっている。どの年齢層でも「人に優しいまちづくりと魅力アップ」と「目に見える改革と情報提供の推進」が第3位または第4位となっている。
- ・ 第5位の項目では、「20～29歳」と「30～39歳」の若い年齢層で「365日いつでもゆったりサービス」、40歳以上の年齢層では「区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり」となっている。

図表 54 年齢別 施策の重要度について（得点評価）

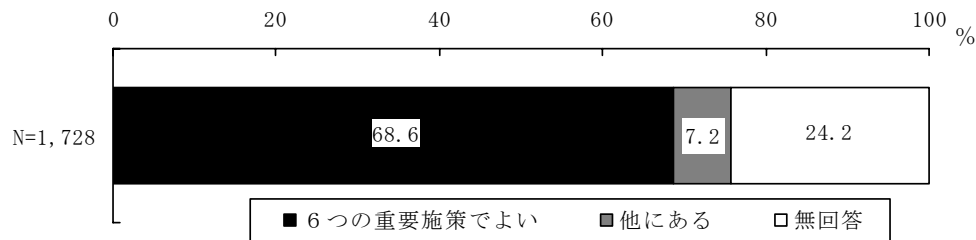
		365日いつでもゆったりサービス	目に見える改革と情報提供の推進	健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	人に優しいまちづくりと魅力アップ	犯罪と災害に強く安全な地域づくり
全体		238.9	327.6	439.5	269.9	326.9	501.9
20～29歳	150	272.3	304.1	455.4	239.9	318.2	510.1
30～39歳	256	249.8	334.4	470.5	232.9	320.9	492.8
40～49歳	229	227.1	330.8	461.0	247.3	324.7	511.6
50～59歳	351	225.0	332.6	432.0	274.7	325.9	510.5
60～69歳	359	240.4	324.9	428.6	290.3	329.0	495.1
70歳以上	320	237.1	328.6	409.8	304.8	336.3	495.9

	全体	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
第1位	犯罪と災害に強く安全な地域づくり	犯罪と災害に強く安全な地域づくり	犯罪と災害に強く安全な地域づくり	犯罪と災害に強く安全な地域づくり	犯罪と災害に強く安全な地域づくり	犯罪と災害に強く安全な地域づくり	犯罪と災害に強く安全な地域づくり
第2位	健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	健康・福祉・子育てを支える基盤づくり
第3位	目に見える改革と情報提供の推進	人に優しいまちづくりと魅力アップ	目に見える改革と情報提供の推進	目に見える改革と情報提供の推進	目に見える改革と情報提供の推進	人に優しいまちづくりと魅力アップ	人に優しいまちづくりと魅力アップ
第4位	人に優しいまちづくりと魅力アップ	目に見える改革と情報提供の推進	人に優しいまちづくりと魅力アップ	人に優しいまちづくりと魅力アップ	人に優しいまちづくりと魅力アップ	目に見える改革と情報提供の推進	目に見える改革と情報提供の推進
第5位	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	365日いつでもゆったりサービス	365日いつでもゆったりサービス	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり
第6位	365日いつでもゆったりサービス	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	365日いつでもゆったりサービス	365日いつでもゆったりサービス	365日いつでもゆったりサービス	365日いつでもゆったりサービス

問5 上記以外に、あなたが考える「磯子区役所が目標や重点課題とすべき項目」がありますか。

- 「6つの重要施策でよい」(68.6%)が概ね7割を占めている一方、「他にある」が7.2%である。
- 「無回答」(24.2%)がやや高くなっている。

図表 55 6つの重要施策について



- 「他にある」(125件)の中で具体的に記述のあった意見(51件)をみると、「区役所業務」(21件)に関するものが最も多く、その内容としては「経費削減、無駄をなくす」(7件)、「人員削減」(4件)、「迅速なサービス」(4件)などがあつた。また「まちづくり」(14件)や「環境対策、環境整備」(10件)への意見もあつた。

図表 56 6つの重要施策について・「他にある」の内容

Q5 (重点施策以外)			
(大分類)	件数	(小分類)	件数
区役所業務	21	経費削減、無駄をなくす	7
		クリーンな財政管理	1
		人員削減	4
		迅速なサービス	4
		個人情報保護	2
		お役所体質改善	1
		職員のサービス意識向上	1
		365日開かれた区役所	1
まちづくり	14	魅力あるまちづくり	1
		ふるさとのまちづくり	1
		住みたくなるようなまちづくり	1
		他市と比べて一番といえるものをつくる	1
		駅周辺活性化	2
		安全(交通・健康)	1
		交通安全	1
		駐輪場整備	2
		駐車場整備	1
		道路整備	1
施設道路の改修・保全	1		
公共住宅の充実	1		
環境対策、環境整備	10	騒音対策	2
		ゴミ・リサイクル・省エネ	3
		環境対策	2
		自然・公園整備	1
		環境美化	2
芸術・文化	3	芸術・文化	2
		磯子の歴史建造物や文化財の保存	1
区営の総合病院	1		1
国際交流	1		1
障害者への対策(親亡き後の生活、活動場所の拡大)	1		1
合計	51		51

■ 年齢別 6つの重要施策について

- ・ 「20～29歳」の80.0%が「6つの重要施策でよい」としており、年齢が若いほど割合が高い傾向がみられる。
- ・ 「他にある」の割合についても、年齢が若いほど割合が高い傾向がみられ、高齢者では「無回答」の割合が高い。

図表 57 年齢別 6つの重要施策について

	全体	問5 6つの重要施策以外に「磯子区役所が目標や重点課題とすべき項目」		
		6つの重要施策でよい	他にある	無回答
全 体	1,728 100.0	1,185 68.6	125 7.2	418 24.2
問7-2 年齢				
20～29歳	150	80.0	10.0	10.0
30～39歳	256	76.6	10.2	13.3
40～49歳	229	72.5	9.6	17.9
50～59歳	351	74.9	6.6	18.5
60～69歳	359	65.5	6.7	27.9
70歳以上	320	63.4	4.4	32.2
無回答	63	3.2	1.6	95.2

■ 居住地区別 6つの重要施策について

- ・ 「6つの重要施策でよい」の割合が最も高いのは「上笹下地区」(77.2%)、最も低いのは「岡村地区」(64.1%)である。
- ・ 「他にある」の割合が最も高いのは「汐見台」(12.9%)、最も低いのは「岡村地区」(2.6%)である。

図表 58 居住地区別 6つの重要施策について

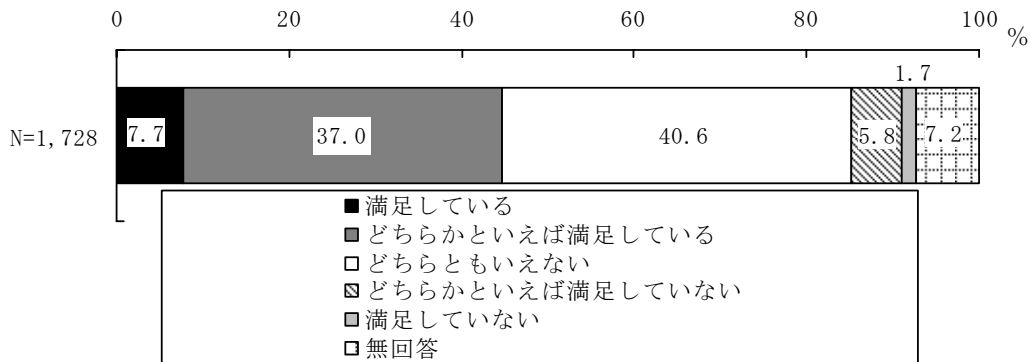
	全体	問5 6つの重要施策以外に「磯子区役所が目標や重点課題とすべき項目」		
		6つの重要施策でよい	他にある	無回答
全 体	1,728 100.0	1,185 68.6	125 7.2	418 24.2
問7-5 居住地区				
根岸地区	137	67.9	8.8	23.4
滝頭地区	154	70.8	8.4	20.8
岡村地区	78	64.1	2.6	33.3
磯子地区	278	68.3	7.6	24.1
汐見台	62	74.2	12.9	12.9
屏風ヶ浦地区	231	70.6	8.2	21.2
杉田地区	254	72.4	5.9	21.7
上笹下地区	180	77.2	6.7	16.1
洋光台地区	278	74.1	7.6	18.3
無回答	76	6.6	2.6	90.8

5. 磯子区の取り組みへの満足度について

問6 あなたは、磯子区の取り組み全体について、どのくらい満足していますか。

- 最も多いのは「どちらともいえない」の40.6%である。
- 「満足している」(7.7%)、「どちらかといえば満足している」(37.0%)をあわせて「満足」とした人が4割を超えている。一方「どちらかといえば満足していない」(5.8%)と「満足していない」(1.7%)はあわせて1割未満である。

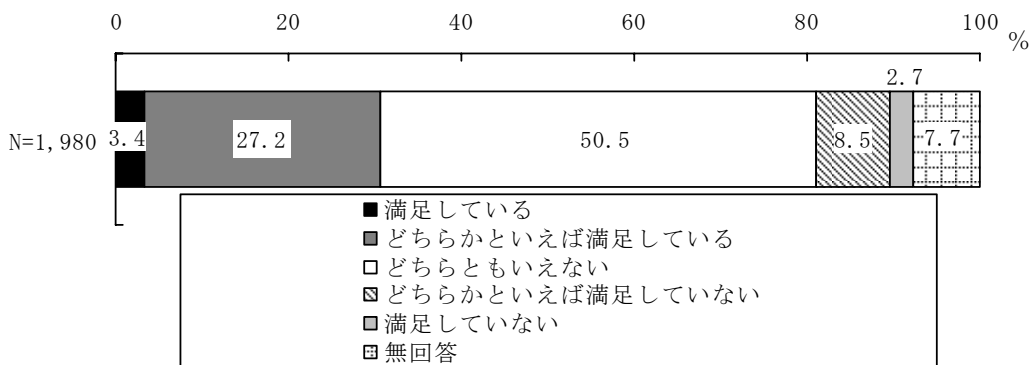
図表 59 磯子区の取り組みへの満足度



【平成 16 年度調査との比較】

- 平成 16 年度の調査結果では、「満足している」が 3.4%、「どちらかといえば満足している」が 27.2%で（合計 30.6%）、平成 17 年度調査では「満足」の割合が 10 ポイント以上も高くなっていることがわかる。

図表 60 磯子区の取り組みへの満足度（平成 16 年度調査）



■ 年齢別 磯子区の取り組みへの満足度

- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせて比較すると、「70歳以上」(62.5%)、「60～69歳」(50.7%)の高齢者層で高くなっている。最も割合が低いのは「40～49歳」の33.2%である。
- 「満足していない」と「どちらかという満足していない」をあわせて比較すると、「50～59歳」で10.3%と他の年齢層と比較してやや高くなっている。

図表 61 年齢別 磯子区の取り組みへの満足度

	全体	問6 磯子区の取り組み全体についての満足度					無回答
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば満足していない	満足していない	
全体	1,728 100.0	133 7.7	639 37.0	701 40.6	100 5.8	30 1.7	125 7.2
問7-2 年齢							
20～29歳	150	6.0	40.0	40.0	8.0	0.7	5.3
30～39歳	256	7.4	32.4	48.8	4.7	4.7	2.0
40～49歳	229	4.8	28.4	52.8	7.9	1.7	4.4
50～59歳	351	4.3	36.2	45.6	8.0	2.3	3.7
60～69歳	359	7.0	43.7	39.8	5.3	1.1	3.1
70歳以上	320	16.9	45.6	28.4	3.1	0.3	5.6
無回答	63	0.0	1.6	1.6	1.6	0.0	95.2

■ 居住地区別 磯子区の取り組みへの満足度

- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせて比較すると、「上笹下地区」(50.6%)、「汐見台」(50.0%)で高い。最も割合が低いのは「根岸地区」と「杉田地区」でともに44.5%である。
- 「満足していない」と「どちらかという満足していない」をあわせて比較すると、「洋光台地区」(9.7%)、「杉田地区」(9.4%)で高くなっている。

図表 62 居住地区別 磯子区の取り組みへの満足度

	全体	問6 磯子区の取り組み全体についての満足度					無回答
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば満足していない	満足していない	
全体	1,728 100.0	133 7.7	639 37.0	701 40.6	100 5.8	30 1.7	125 7.2
問7-5 居住地区							
根岸地区	137	9.5	35.0	43.8	4.4	2.2	5.1
滝頭地区	154	11.0	37.0	44.2	4.5	0.6	2.6
岡村地区	78	10.3	35.9	41.0	5.1	1.3	6.4
磯子地区	278	7.9	39.6	39.2	5.8	2.2	5.4
汐見台	62	8.1	41.9	41.9	3.2	0.0	4.8
屏風ヶ浦地区	231	10.4	34.6	44.6	5.2	2.6	2.6
杉田地区	254	6.3	38.2	41.7	7.9	1.6	4.3
上笹下地区	180	6.7	43.9	38.3	5.6	2.2	3.3
洋光台地区	278	5.8	39.2	43.2	7.9	1.8	2.2
無回答	76	0.0	6.6	10.5	1.3	0.0	81.6

区政運営についてご意見・ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。

- ・ 区政運営に関しては全部で 511 件の意見があった。
- ・ 重点施策の分野別にみると、「重点施策 1」に 24 件、「重点施策 2」に 84 件、「重点施策 3」に 91 件、「重点施策 4」に 28 件、「重点施策 5」に 55 件、「重点施策 6」に 39 件の意見があった。
- ・ 重点施策以外の意見としては全部で 190 件あり、「区役所職員（の意識や対応）」に関する意見が 44 件、「財政」に関する意見が 36 件、「事業運営」に関する意見が 33 件、「まちづくり」に関する意見が 27 件、「サービスの担い手」に関する意見が 11 件であった。

図表 63 区政運営に関する意見

関連する重点施策	件数	関連するサービス・事業	件数	中分類	件数	小分類	件数						
1 365日いつでも ゆったりサービス	24	2 区役所出張窓口	2		2	移動保健所の設置	1						
						洋光台地区への出張所設置	1						
		その他	22		区役所業務		8	業務の流れをわかりやすく	3				
								待ち時間が長い	2				
								以前に比べて利便性が向上した	1				
								受付窓口での会議等の開催状況の把握	1				
								係を分けすぎている	1				
								電子化	2	申請手続きの電子化	2		
								開庁時間	12	土曜日開庁を評価	2		
										土曜日午後も開庁してほしい	2		
							平日遅い時間までの開庁			2			
							土・日曜日開庁してほしい			2			
												毎週土曜日開庁してほしい	1
												子供の予防接種等も土曜日にやってほしい	1
					開庁時間の延長	1							
					365日開庁をイメージするようなサービスは必要ない	1							
2 目に見える改革 と情報提供の推進	84	4 区役所事業の外部評価 のしくみづくり	41	助成等の チェック	5	助成金の使途のチェックを	4						
						各団体への支援が適切に行われている か把握が必要	1						
						区民の意見 を聞く	5						
									区民の意見・要望を聞く	3			
									タウンミーティング	2			
								このアン ケートにつ いて	31	内容が難しい、わかりにくい	17		
										アンケート実施を評価	5		
										調査結果を公表して	2		
										回収期間が短い	1		
										各サービスの利用者にアンケートをか けるべき	1		
										経費の妥当性を聞く	1		
										個々のことより総括的なことが大事	1		
										葉書による督促状は失礼	1		
										引越してきたばかりでよくわからな い	1		
				区政のことがわからなかった	1								
				5 「区役所白書」	1	1	実施したことは情報提供を	1					
				6 広報よこはま磯子区版	2	広報が届いていない所がある	1						
						広報紙わかりやすく	1						
				7 チラシ類の電子化及び 資料閲覧コーナー整備	1	1	役所に端末を設置	1					
				8 「区民生活マップ」	1	1	区内の生活マップがほしい	1					

図表 63 区政運営に関する意見（続き）

関連する重点施策	件数	関連するサービス・事業	件数	中分類	件数	小分類	件数			
2 目に見える改革と情報提供の推進（続き）		その他	38	情報量・内容	20	もっと区民にPRを	10			
						情報不足、情報がきちんと届いていない	6			
						無駄な広告物が多い	1			
						防災に関する情報を	1			
						必要な情報に絞って	1			
						幅広い情報の提供	1			
				情報提供	9	相談窓口の充実	4			
						情報提供方法の検討	2			
						町内会を通さず直接住民に	1			
						掲示板の活用	1			
				IT関連	6	高齢者にわかりやすく	1			
						インターネットの活用、充実	5			
				その他	3	インターネットの活用の前に人材育成を	1			
公報のサイズの統一	1									
3 健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	91	16 認知症や介護に関する学習機会	1		1	申請主義（知らない人が損をするしくみ）の再考	1			
						ライフガイドにバスの時刻表を	1			
						認知症者支援	1			
						17 高齢者の生きがいのある生活支援	2	2	高齢者の余暇活動支援	1
						高齢者が談話できる場、機会づくり	1			
						18 精神障害者生活支援センター	3	3	精神障害者の社会復帰支援	1
						こころの健康支援	1			
						精神障害者等の福祉施設を	1			
						20 子育てひろば	3	3	グループ作り支援	1
						森が丘は子供の遊び場やサークルが少ない	1			
						子育て環境の充実（一人一人に対応して）	1			
						21 育児・健康講座	1	1	福祉や子育てなどの講座	1
						23 子ども会支援、中学生職業体験支援	2	2	子供の社会体験、職業体験	1
						小中高校生の健全育成のための助成	1			
						25 福祉体験講座	1	1	小中高校生及び親の社会体験	1
						28 「健康プランニングセミナー」「健康サポーター育成研修」	1	1	高齢者の運動の場	1
29 「磯子区猫の飼育ガイドライン」	4	4	犬の飼い主のマナー	2						
ガイドラインの普及	1									
猫に税金を使わないで	1									
30 経済・金融に関する講座	1	1	年金、保険の基本的知識を教える	1						
その他	72	充実	6	福祉の充実	5					
				医療・福祉の充実	1					
		介護保険・児童手当	7	介護基準の見直し	2					
				無駄のないように	2					
				ショートステイ不足	1					
				介護保険・育児手当の見直し	1					
		児童手当のしくみに不満	1							
医療	3	救急医療体制の整備	2							
		介護保険適用病院等の不足	1							

図表 63 区政運営に関する意見（続き）

関連する重点施策	件数	関連するサービス・事業	件数	中分類	件数	小分類	件数
3 健康・福祉・子育てを支える基盤づくり（続き）		その他（続き）		健診・健康づくり	6	健康診断事業の実施	3
						健康づくりの推進	2
						スポーツの講座等の充実	1
				高齢者	4	高齢者施策の充実	1
						一人暮らし高齢者の生活支援	1
						団塊の世代の活用	1
						健康な高齢者の活用	1
				障害児・者	7	障害児・者支援	2
						障害者の活動の場	1
						高機能自閉症者支援	1
						専門的な人材を増やして	1
						タクシー券の検討	1
				母子家庭	1	母子家庭支援	1
				子ども・子育て	32	保育施設の整備・充実	8
						子育て環境の充実	3
						子育て世代への支援	2
						子供の遊び場の充実	2
						学校教育の充実	2
						はまっこの充実	2
						子育て世代への経済的な支援	1
						少子化対策	1
						結婚しても仕事を続けられるように	1
						子供関係の予算の拡充	1
第2子出産時の支援	1						
小中学生が日常利用できるグラウンド	1						
子供のための施設の不足	1						
幼稚園・保育園の増設	1						
教育現場との連携	1						
中学校の給食の実施	1						
小中学生向けの施策が手薄	1						
乳幼児健診事業の充実	1						
予防接種	1						
その他	6	公平な福祉サービスの提供を望む	4				
		ケアプラザの利用時間（使いづらい）	1				
		低料金の葬儀	1				
4 区民が手を携えて元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	28	34 磯子区文化協会への助成等	2		2	様々なイベントや文化活動への支援等	2
		36 区民と在住外国人との交流・理解	1		1	子供への語学教育	1

図表 63 区政運営に関する意見（続き）

関連する重点施策	件数	関連するサービス・事業	件数	中分類	件数	小分類	件数		
4 区民が手を携え 元気にいきいきと 活動できる仕組み づくり（続き）		その他	25	施策推進について	5	元気に生き生き活動できるしくみを	1		
						施策の内容が不透明	1		
						住民同士の交流	1		
						生涯学習の推進	1		
						趣味・教養の講座	1		
				公共施設利用料	3	公共施設利用料値上げに反対	1		
						スポーツセンター利用料	1		
						公共施設と民間とでは利用形態が違う	1		
				活動の場	10	洋光台に地区センターを	3		
						空き教室の活用	2		
						活動場所の充実	1		
						磯子センターの老朽化	1		
						図書館がよい	1		
						図書館の椅子を増やして ケアプラザにより町内会館の利用が 減った	1		
				町内会・自治会	7	町内会への協力依頼は限界	2		
						地域での役員の分担について、あり方を 検討する必要あり	1		
						地域が主体的に活動するような方向で 支援してほしい	1		
町内会費が高い	1								
役割、実態が不透明	1								
高齢化で町内会の仕事ができない	1								
5 人に優しいまち づくりと魅力アッ プ	55	37 杉田 5 丁目臨海部への 緑地整備	3		3	海に親しめる空間づくり	1		
						きれいなまちづくり	1		
						緑化事業に疑問	1		
		38 堀割川の構想検討・ イベント	4		4		4	堀割川の活用	1
								堀割川沿いの緑化と人と自転車の遊歩 道	1
								堀割川土手の整備	1
								予算が安いのではないかと	1
		39 「磯子・海の見える 公園（仮称）」	4		4		4	今のままでも問題ない	1
								大きな海の公園を	1
								海を利用した施設 海岸線の再生	1
		40 高齢者・障害者等への 外出支援（ベンチ・手 すりの設置）等	5		5		5	公共施設内への休息所設置	1
								歩道の整備	1
								高齢者にやさしいまちづくり	1
車椅子で安全に移動できるように 磯子センターのEVが狭い	1								
42 花壇づくり	1		1		1	花さかせ隊の活動がよい	1		
43 区内一斉清掃等	6		6		6	きれいなまちづくり	3		
						公設のゴミ箱設置	1		
						ポイ捨てが多い	1		
						無駄な看板撤去	1		

図表 63 区政運営に関する意見（続き）

関連する重点施策	件数	関連するサービス・事業	件数	中分類	件数	小分類	件数			
5 人に優しいまちづくりと魅力アップ（続き）	44	G30支援等	10		10	ゴミの回収回数を増やす	3			
						ごみの分別徹底	3			
						具体的な説明を	1			
						G30の結果報告	1			
						ごみ収集車へのチリ取り・ほうき備え付け	1			
						まちの美化活動で雇用創出	1			
		その他	22	生活環境の整備			1	生活環境の整備	1	
								公園	3	公園の整備
				歩道				7	公園での犬の放し飼い日の設定	1
									安全で快適な歩道の整備	7
				バス				3	ノンステップバスの導入	2
									バス停の時刻表を見やすく	1
				緑地・緑化				6	緑化対策の推進	3
									駅周辺の緑化	2
その他				2	氷取沢市民の森の管理	1				
					区役所前の水がよどまないように 自転車置き場の管理	1				
6 犯罪と防災に強く安全な地域づくり	39	45 自主的な防犯活動団体への支援	6		6	防犯対策強化	6			
		46 地域の防犯活動拠点整備・パトロール車の塗装補助	5			5	高齢者によるパトロール実施	1		
							子供が安心できるまちづくり	1		
							高齢者だけの防犯活動に疑問	1		
							防災防犯の人材雇用を	1		
							安全なまちづくり	1		
		47 子供達が様々な暴力から身を守るための講座実施	1			1	子供達を守るまちづくり	1		
		48 防災資機材の保守点検、防災マップの作成等	2			2	災害時の適切な対応を望む	1		
							災害対策の強化、事前情報提供を望む	1		
		49 交通安全教室等の実施	3			3	自転車走行（交通安全）	2		
							交通安全	1		
51 弁護士による無料法律相談	2			2	もっと早く相談したい	1				
					わかりやすく	1				
その他	20				20	安全なまちづくり	7			
						違法駐車・駐輪	4			
						災害対策	2			
						歩きタバコ	2			
						街灯を明るく	1			
						防犯の集い	1			
						ロケット花火対策	1			
						あいさつ運動	1			
行政サービスを犯罪に悪用されないように	1									

図表 63 区政運営に関する意見（続き）

関連する重点施策	件数	関連するサービス・事業	件数	中分類	件数	小分類	件数				
重点施策以外の意見	190	事業運営	33		33	区民一人一人への配慮	4				
						区民のための区政を	4				
						費用対効果の検討	2				
						重点的・効率的な事業運営	2				
						区の事業に重複がみられる	1				
						魅力ある事業を	1				
						国民の自立心を阻害する助成、支援策は不要	1				
						アフターサービスの充実	1				
						まずは話し合いが必要	1				
						必要か否かの仕分けを	1				
						量よりも質を高めて	1				
						事業の進め方の検討	1				
						中間層へも目を向けて	1				
						既存のやり方を変える	1				
						着実な事業運営	1				
						40代、50代の参加機会を	1				
						話題になる区政、サービスを	1				
						公平な行政サービスの提供を望む	1				
						教育区政を設ける	1				
						人づくりが一番大事	1				
						民間からサービスというものを学ぶべき	1				
		重点を絞って	1								
		高齢者にやさしい区政	1								
		人に優しい区政	1								
		区民に身近なサービスを	1								
		区役所職員	44		44	44	対応、勤務態度を改善してほしい	30			
							評価	11			
							人材育成	3			
		財政		財政の健全化	36		4	収入確保	1		
								赤字を減らして	1		
								行財政改革の推進	1		
								目に見える成果を	1		
				無駄をなくす					22	コスト削減	15
										無駄な事業の見直し、削減	5
										歩道タイルの統一化（コスト削減）	1
										地区センターの風呂の見直し	1
人件費のみなおし							4	市長・管理職の給与が高い	1		
								職員経費を削減	1		
								人件費等のチェック	1		
								人員削減	1		
税金							4	税金が高い、減税	3		
								お金持ちからしっかり取って	1		
その他					2	救急車出動への自己負担	1				
						少しの経費で事業目的が果たせるか疑問	1				

図表 63 区政運営に関する意見（続き）

関連する重点施策	件数	関連するサービス・事業	件数	中分類	件数	小分類	件数		
重点施策以外の意見（続き）	511	サービスの担い手	11		11	民間活用	4		
						区役所主体で	2		
						NPOなどとの協働	1		
						区が判断すべき	1		
						わからない	1		
						NPO支援	1		
		まちづくり	27		27		27	磯子駅周辺の活性化	4
								駐車場の整備	2
								バス便の増発、時刻表配布	2
								公共施設へのアクセス	2
								私道への助成	1
								ガードレール	1
								道路工事（景観が悪い）	1
								住宅地域内通路の整備	1
								生活道路の整備	1
								良好な住環境	1
								番地表示板の設置	1
								磯子・根岸の活性化	1
								磯子は不便	1
								地下鉄整備とシーサイドラインの延伸	1
								バス停整備	1
								バス路線が複雑で分かりにくい	1
								磯子駅の景観	1
		マンションの高さ統一	1						
		生活環境が悪い	1						
		建築の制限、整備	1						
		商業施設が少ない	1						
		公害・騒音対策	4		4		4	騒音対策	2
								工場の排気対策	1
								悪臭対策	1
		情報管理	4		4		4	情報の管理の徹底	2
								住民基本台帳公開の停止	2
		区役所庁舎	4		4		4	社協が区役所と離れていて不便	1
区役所、警察署、消防署が同地区に無く不便	1								
税務署が区役所内にあるとよい	1								
区役所のエスカレーターは利用しないときは止めて	1								
住民の意識	9		9		9	区役所が身近に感じられない	5		
						住民の自立が必要	2		
						全ての人が満足するのはありえない	1		
						大半の市民は無関心なのは	1		
まち・社会の将来像	2		2		2	自立し思いやりのある社会に	1		
						安心して過ごせる社会に	1		
評価・期待	7		7		7	今後の区政に期待	5		
						磯子区の区政・環境を評価	2		
市政への意見	3		3		3	市政への意見	3		
その他	6		6		6	新成人に年金・保険の説明を（シート対策）	1		
						各種証明書の印紙が高い	1		
						公会堂や会議室等の利用（行政が優先して利用していないか）	1		
						住宅問題	1		
						源泉課税は数年に一度でよい	1		
						役所での手続きについて	1		
計	511	計	511	計	511	計	511		

6. 調査全体のまとめ

防犯・防災など、区政運営方針のうち重要施策6をはじめとする「安心の選択肢を増やす」施策が重要視されている

- 「平成17年度磯子区区政運営方針」の6つの重要施策の優先順位をつけてもらったところ（問4）、重要施策6の「犯罪と災害に強く安全な地域づくり」が第1位、次いで重要施策3の「健康・福祉・子育てを支える基盤づくり」が第2位であった。この順位は全ての年齢層に共通しており、区民にとってこの2つの重要施策に対する期待が大きいことがわかる。

図表 64 6つの重要施策について重要と思われる順位

順位	重点施策名	得点
第1位	重要施策6・犯罪と災害に強く安全な地域づくり	501.9
第2位	重要施策3・健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	439.5
第3位	重要施策2・目に見える改革と情報提供の推進	327.6
第4位	重要施策5・人に優しいまちづくりと魅力アップ	326.9
第5位	重要施策4・区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	269.9
第6位	重要施策1・365日いつでもゆったりサービス	238.9

* 回答結果について、1位に6点、2位に5点、3位に4点、4位に3点、5位に2点、6位に1点を与え、それぞれの施策の評価の回答率（その評価の回答者数÷その事業の回答者数×100）にかけてその総和を得点とした。

- また51の自主企画事業についてそれぞれ重要度をきいたところ（問2）、防犯や防災のほか、ごみのリサイクルや交通安全の問題など、区民生活の安心や安全に係わる事業について、「重要」と回答している人が多くなっていることがわかる。
- 特に「48 防災対策の推進」については、全ての年齢層で第1位となっており、特に「20～29歳」では「重要」とした人が半数を超えている。また地域別にみても全ての地区で第1位となっており、防災に対する区民意識の高さがうかがえる。
- また全体的に、「子どもや高齢者を守る」という視点からのサービス・事業について重要と考えている人が多い。近年の治安の悪化、子どもを狙った事件の多発などを受けて、事故や犯罪から弱者を守るということに区民の関心がより高くなっているとみられる。

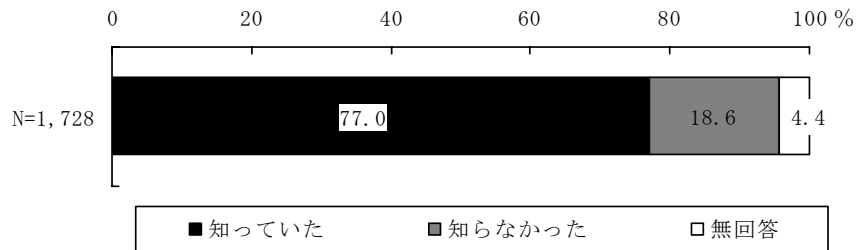
図表 65 各サービス事業について「重要」と回答した人の割合（上位10項目）／再掲

順位	サービス・事業の内容	(%)
1	48 防災対策の推進	45.1
2	44 G30・ごみの削減・資源化の推進	34.6
3	47 子どもたちを暴力から守るためのプログラムの実施	34.3
4	15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化	33.2
5	10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供	33.0
6	46 防犯対策強化	31.1
7	51 弁護士による無料法律相談の実施	30.8
8	40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり	26.1
9	49 子どもや高齢者の交通事故の防止	25.5
10	45 自主的な防犯活動団体支援	24.9

土曜開庁については、認知度・利用意向ともに高く、区民の間への定着が見られる

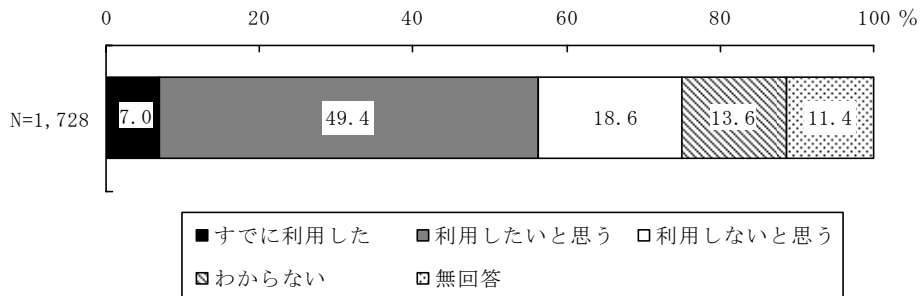
- ・ 試行的に実施している第2・第4土曜日の一部窓口業務について、区民の認知度と利用意向を把握した。
- ・ 土曜開庁の認知度については、回答者全体の77.0%が「知っていた」と回答しており、「広報よこはま」や「町内会の回覧ちらし」等を通じて、区民に広く情報が浸透していることがわかる。

図表 66 土曜開庁の認知度（再掲）



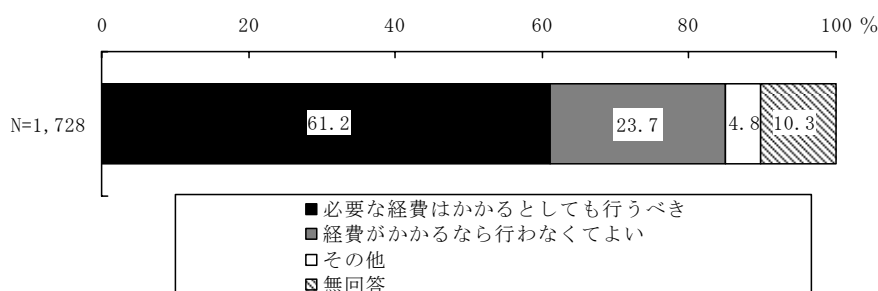
- ・ 土曜開庁の利用実態については、「すでに利用した」という人は7.0%にとどまっているものの、「利用したいと思う」については49.4%と約半数にのぼっている。特に20代、30代の若い年齢層や、磯子区外に通勤・通学している人で「利用したい」の割合が多くなっている。20代、30代では「利用したいと思う」の割合は6割を超えている。

図表 67 土曜開庁の利用実態及び利用意向（再掲）



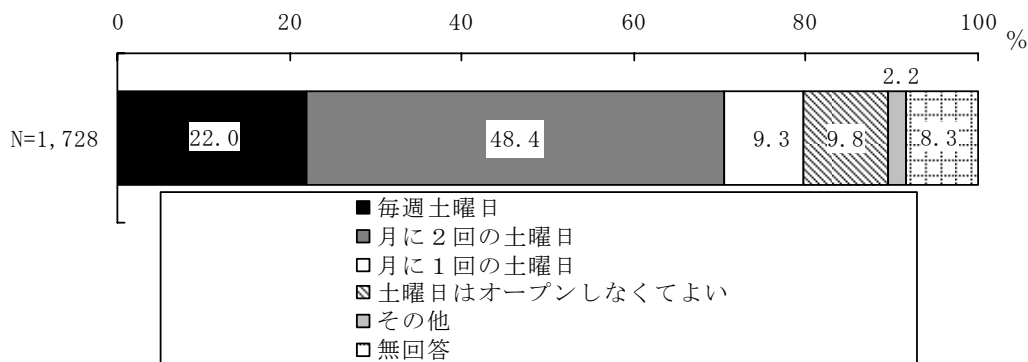
- 土曜開庁を利用する理由については、「平日も行かれるが、土曜日の方が行きやすい」が48.3%で最も多くなっているが、「土曜日しか行かない」も3割以上いることがわかった。また、「その他」の内容として「急に必要な時があるから」、「土曜日も開いていると便利・安心感があるから」などの意見が目立った。
- また今後の土曜開庁の実施については、「必要な経費はかかるとしても行うべき」が全体で61.2%となっており、特に20代では72.7%と高く、30代～50代でも7割近くにのぼっている。また横浜市外への通勤・通学者でも7割以上が「必要な経費はかかるとしても行うべき」としている。

図表 68 土曜開庁の今後の実施について（再掲）



- 土曜開庁の頻度について、最も多いのは、現行と同じ「月に2回の土曜日」(48.4%)で全体の半数近くとなっている。次いで「毎週土曜日」(22.0%)である。また土曜日の業務については、「現行の業務でよい」が77.5%で大半を占めており、「他の業務も行うべき」は5.8%にとどまっている。

図表 69 土曜開庁の頻度（月に何回くらいが適当か）（再掲）

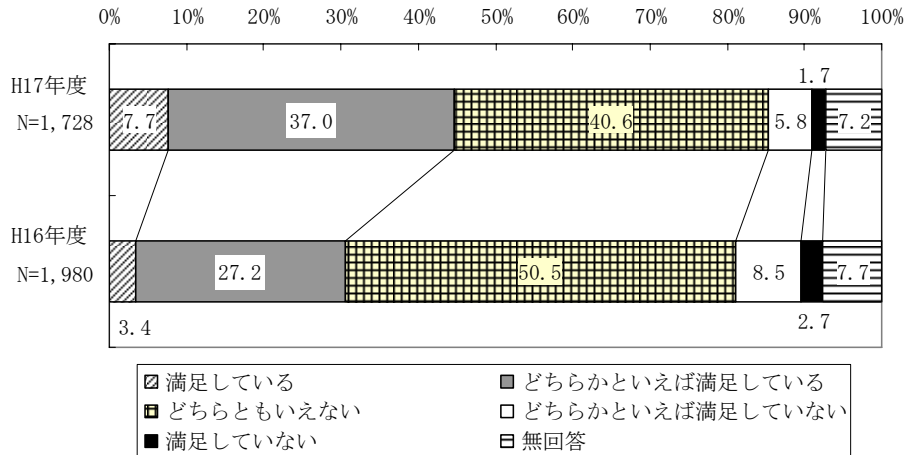


- 以上のことから、土曜開庁については区民にほぼ認知されており、今後も利用が見込まれると考えられる。「(土曜開庁について) 知らなかった」とする約2割については、市外への通勤・通学者が多いことから、PR方法の検討も含めて、今後も周知に努めていく必要があるだろう。また土曜開庁の頻度や業務内容については、概ね現状程度で良いとされているが、今後も区民ニーズの変化等をみながら対応していく必要があるだろう。

4 割以上が区政に満足 今後さらに事業の効果的な運営に努めていく必要がある

- 区政全体への満足度については（問6）、7.7%が「満足している」、37.0%が「どちらかといえば満足している」と回答しており（合計44.7%）、平成16年度の調査結果と比較すると、この割合は高くなっていることがわかった。「満足している」または「どちらかといえば満足している」の割合は高齢者層の方で特に高い。

図表70 区政全体に対する満足度

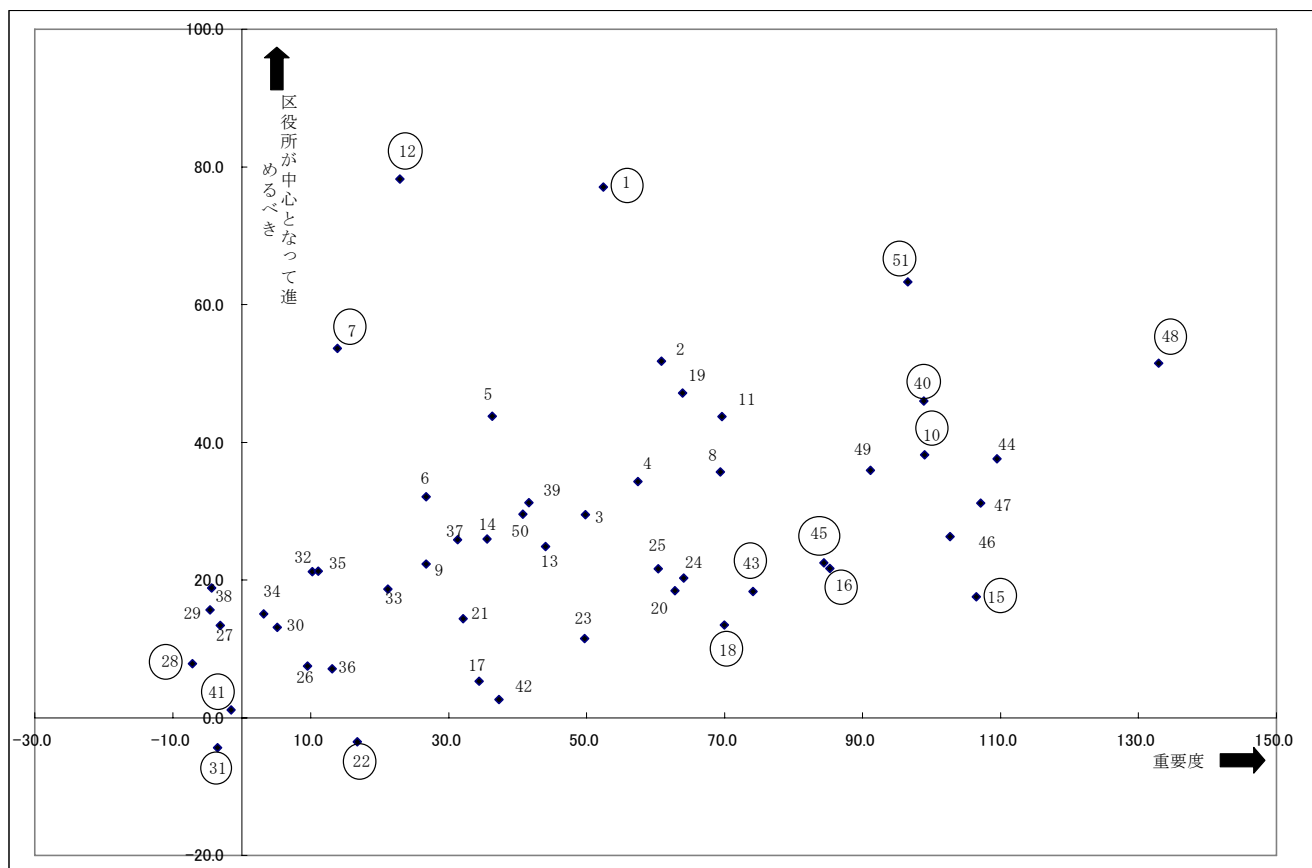


- 51の自主企画事業について「重要度」と「事業の担い手のあり方」について聞いたところ（問2）、「区民にとって重要度が高く、区役所主導で進めるべきと考えているサービス・事業」は、防災やバリアフリー、無料法律相談など、区民生活の安全・安心に関わる事業が多い。「区民にとって重要度が高いが、民間との協働または民間主導で進めるべきと考えているサービス・事業」は、地域での防犯や清掃に関わる事業やひとり暮らし高齢者の見守り、介護関係の事業などである。「区民にとって重要度はあまり高くないが、区役所主導で進めるべきと考えているサービス・事業」としては、区役所内の業務が中心となっている。
- 「区民にとって重要度があまり高くなく、事業の担い手について民間との協働または民間主導で進めるべき」とされた項目については、民間でもサービス提供が可能なもの、また既にサービスが提供されているものが目立つ。重要度が低いと指摘された事業・サービスが必ずしも区民生活に不要なサービスとは限らない。事業のもつ目的や事業内容、成果などの分析を行い、事業の今後の方向性を判断する必要があるだろう。

図表 71 サービス・事業の重要度と担い手のあり方の関わり／主なサービス・事業（再掲）

区民にとって重要度はあまり高くないが、区役所主導で進めるべきと考えているサービス・事業	重要度	区役所主導度	区民にとって重要度が高く、区役所主導で進めるべきと考えているサービス・事業	重要度	区役所主導度
12 来庁者のプライバシー保護	22.92	78.25	51 弁護士による無料法律相談の実施	96.56	63.27
1 区役所3階窓口統合	52.41	77.06	48 防災対策の推進	132.92	51.47
7 チラシ類の電子化	13.87	53.66	40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり	98.88	45.97
			10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供	98.98	38.16
区民にとって重要度はあまり高くないが、民間や地域と協働、または民間主導で進めるべきと考えているサービス・事業	重要度	区役所主導度	区民にとって重要度は高いが、民間や地域と協働、または民間主導で進めるべきと考えているサービス・事業	重要度	区役所主導度
28 健康プランニングセミナー・健康ポータル育成研修	-7.16	7.86	16 介護予防・介護支援	84.36	22.52
41 魅力あるふるさとづくり	-1.55	1.11	45 自主的な防犯活動団体支援	85.25	21.66
22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ	16.76	-3.50	43 区内一斉清掃等	74.09	18.34
31 パソコン・インターネットふれあい亭	-3.53	-4.36	15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化	106.49	17.58
			18 精神障害者生活支援センター	69.95	13.45

図表 72 サービス・事業の重要度と担い手のあり方の関わりについて（再掲）



- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1 区役所3階窓口統合 | 27 磯子区体育協会支援 |
| 2 区役所出張窓口 | 28 健康プランニングセミナー・健康サポーター育成研修 |
| 3 福祉保健センターの待合スペース改善 | 29 磯子区猫の飼育ガイドライン |
| 4 区民アンケート・外部評価委員会等 | 30 経済・金融に関する講座 |
| 5 区役所白書 | 31 パソコン・インターネットふれあい亭 |
| 6 「広報よこはま磯子区版」 | 32 地域での様々な区民活動支援 |
| 7 チラシ類の電子化 | 33 「磯子まつり」と「地区まつり健民祭」 |
| 8 区民生活マップ | 34 地域の芸術文化の普及・振興 |
| 9 子育て情報メールマガジン | 35 様々な課題を学ぶことができる講座 |
| 10 高齢者と家族への福祉保健サービスの情報提供 | 36 国際理解教室等 |
| 11 福祉と保健のおたすけ電話帳 | 37 杉田五丁目臨海部 |
| 12 来庁者のプライバシー保護 | 38 堀割川の魅力づくり |
| 13 地域福祉保健計画 | 39 「磯子・海の見える公園（仮称）」 |
| 14 民生・児童委員の講演会・研修会 | 40 高齢者・障害者等外出しやすいまちづくり |
| 15 ひとり暮らし高齢者等の見守り体制強化 | 41 魅力あるふるさとづくり |
| 16 介護予防・介護支援 | 42 花壇づくり |
| 17 高齢者の生きがい支援 | 43 区内一斉清掃等 |
| 18 精神障害者生活支援センター | 44 G30・ごみの削減・資源化の推進 |
| 19 30代女性健診 | 45 自主的な防犯活動団体支援 |
| 20 子育てひろば | 46 防犯対策強化 |
| 21 育児・健康についての講座 | 47 子どもたちを暴力から守るためのプログラムの実施 |
| 22 中学生の起業活動疑似体験のワークショップ | 48 防災対策の推進 |
| 23 子ども会活動への支援等 | 49 子どもや高齢者の交通事故の防止 |
| 24 区青少年指導員協議会支援 | 50 食中毒防止 |
| 25 福祉体験講座 | 51 弁護士による無料法律相談の実施 |
| 26 区体育指導委員連絡協議会支援 | |

資料編

自由記述の内容

重点施策1 365日いつでもゆったりサービス

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
移動保健所があったら良い。	男性	50～59歳	洋光台地区
洋光台地区に出張所(区)があっても良いと思います。	女性	70歳以上	洋光台地区
区役所は以前より大変利用しやすくなっています。	女性	30～39歳	屏風ヶ浦地区
書類の手続き等に待ち時間が長い。	女性	60～69歳	滝頭地区
健診、予防接種、もう少し待ち時間短くならないものか?又時間帯も午前午後で選択式にできないか?	女性	20～29歳	洋光台地区
あまり縁のない区役所だからこそ、たまに行くと「不便だ…」とか「分かりづらい」と思う事があります。先日健康診断に行ったのですが、流れ(順番)の表示(説明)が不十分のため、窓口がととても混みあって、怒っている男性の方もいました。HPや区役所の入口等に流れ(○番窓口で申込書を記入し…とか)をわかりやすく表示してもらえたらいいなあ…と思いました(チラシとかにして)。	女性	20～29歳	杉田地区
もっとスピードアップした作業とわかりやすい窓口の分別。いつも感じが悪い!	男性	40～49歳	屏風ヶ浦地区
知っている人だけや、特定の人だけがサービスを受けられるという体質はやめて、万人が分かるようにして欲しい。この書類はあっち、この件はこっちなど…わかりにくいし、関連性のあるものなどに関しては、窓口を一括するなり、一枚の書類に何がどうなっているのか分かりやすくまとめて欲しい。	女性	30～39歳	屏風ヶ浦地区
要望 正面玄関案内板の対応役割について 区役所内の会議室の使用、予定、状況等は把握して回答して欲しい。 事例: 社会福祉協会主催の会場を忘れて尋ねたところ(15分前だった)、ありませんとのこと。それから社協へ行って聞きましたら、今日ありますとのことでした。以上のようなケースを再度経験しました。	男性	70歳以上	杉田地区
区役所に行く度に思うことであるが、係の業務を分けすぎているのでは?非効率と思う。	男性	70歳以上	洋光台地区
事務手続きなど、パソコンを通してできるようにして欲しい。	男性	20～29歳	上笹下地区
各種証明書類はパソコンのインターネットを活用し入手できるようシステム作りを進めて欲しい。	男性	60～69歳	滝頭地区
土曜開庁は良いと思う。	男性	20～29歳	汐見台
職員の皆様は大変だと思いますが、土曜開庁は画期的であると思います。平日の昼間に役所に行くのは困難な方が多いと思うので、これからも続けていただければと思います。	男性	20～29歳	屏風ヶ浦地区
毎週土曜やったださるととても安心です。	女性	30～39歳	洋光台地区
土日休みを日月休みに変更して、土曜を1日開庁して欲しい。	女性	20～29歳	根岸地区
土曜開庁に関して、経費の問題を考慮しなくてはならないが、土曜日の午後も開庁していただけたらより利便性が高まると思う。	女性	20～29歳	洋光台地区
区役所の土曜開庁がありがたいです。平日は仕事なので、役所へ行く事ができないので…。子供の予防接種等も土曜にやっていただけたらよかったですのにとします。わざわざ休を取らなければならない。	女性	40～49歳	杉田地区
昔は公務員の方は給料が安く、その代わり倒産の不安がありませんでした。現状は賞与、退職金を含め大変恵まれていると思います。この方針を即変えていくわけにはいかないでしょうから、限度はあると思いますが、閉庁時間延長とか、土日交替出勤とか、もう少しボランティア精神で対応してもらいたいと思います。	男性	70歳以上	洋光台地区
平日(週1日ではないので)遅い時間まで(例えば20時位まで)窓口が利用できるようにして欲しいです。	女性	30～39歳	磯子地区
平日の開庁時間延長もあれば助かるのですが	男性	20～29歳	屏風ヶ浦地区
土曜の午後、日曜日にも開庁して欲しい。仕事上日曜しか休みが無い人も少なくないはず。この時代に対応した開庁を望みます(スーパー他一年無休のお店等がたくさんあります)。現在は区民のためより職員優先の役所のような気がします(昼休みについても同様)。	女性	50～59歳	磯子地区
土・日は開庁して欲しい。取り扱い業務も平日と同様、全業務についてフルタイムで行われるのが望ましい。平日は利用できないから。	男性	30～39歳	上笹下地区
区民はいつも区役所に用事があるわけではなく、必要になった時もある程度の期間内に手続きすればよいことなので、365日開庁(?)をイメージするようなサービスは必要ないと思います。	男性	50～59歳	洋光台地区

重要施策2 目に見える改革と情報提供の推進

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
土日と夜間しか“磯子区”にいない人間は、あいにく余りサービスを受けるとかの感覚がないです。問2の5「区役所白書」なんて出していたんですね。区の事業として、どうしても団体の支援が多くなるのは分かりますが、各団体が本当にその目的のために適切に執行しているかどうかはきちんと調べたほうが良いと思います。まあ、本人たちに報告させると全て「適切に執行」となるんでしょうが…。	女性	40～49歳	屏風ヶ浦地区
区民の要望をもっとよく理解し、的確にそれを改善していく努力が必要なのだと思います。民間サービス業者の仕事に対する姿勢に近づけるような体制で運営してもらいたい。経費削減のためにリストラが行われている中で、唯一公務員だけがリストラと無関係なので、それ相応の態度で仕事をしてもらいたい。	女性	20～29歳	杉田地区
健康、福祉などの施策も必要だと思うものがほとんどでしたが、経費はもっと配分の仕方を検討しても良いのでは?必要な所へは多めに、減らせるところは減らしてというふうな(区民の声をもっと聞いて欲しい)!!	女性	40～49歳	洋光台地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
このようなアンケート調査は、とても重要だと思います。今後とも是非続けてください。	女性	30～39歳	根岸地区
この様なアンケートを実施すること自体、区の改善に積極的に取り組む姿勢が感じられます（質問の表現が少し固すぎるような気がします。もう少し口語体で平易な言い回しのほうが答えやすいのではないのでしょうか）。	女性	50～59歳	滝頭地区
初めてのアンケートでしたが、このように区民の意見を聞くのはとてもいいことだと思います。サービスの内容が具体的に書いてあるようですが、良くわからないものもありました。	女性	40～49歳	洋光台地区
この様なアンケートを役所が行うと思いませんでしたので、役所を頼もしく思います。担当者の方、大変ご苦勞様です。	男性	50～59歳	滝頭地区
突然アンケート用紙が送られてきて、2週間位で“送れ”は、そちらの都合もあるかと推察するが、なかなか時間が取れない区民もいる事を配慮して、今後はもう少し日数に余裕を持たせて頂きたいと思います。	女性	50～59歳	洋光台地区
無作為のアンケート調査自体に必要性があるのか疑問。細かい内容について重要性を問われても、自分にかかわっていない部分は答えに困る。それに経費をかけるより、実際にどの程度反応するか、区民の意識がどんなものか、実数も発表してください。無作為のアンケート調査自体に必要性があるのか疑問。細かい内容について重要性を問われても、自分にかかわっていない部分は答えに困る。それに経費をかけるより、実際にどの程度反応するか、区民の意識がどんなものか、実数も発表してください。	女性	40～49歳	上笹下地区
このようなアンケートをとるのは良いと思います。磯子区の事業に関するアンケートは、現在の経費が妥当か否かを調べる項目があってもよいと思います。	男性	20～29歳	杉田地区
個々のことというより、全体を知る事が大切なので、全体についての質問が多いほうがよい。全体を総括的に知る（予算のことや人の動きなど）情報が欲しい。	女性	50～59歳	杉田地区
意識調査のあることをもっと知らせて欲しいし、毎年日常生活の心配ごと、困りごとは調べて欲しい。今回は行政のサービスが多いが、サービスのことより、より重要なテーマに集中して欲しい。サービスは個人のもっと協力を望んでください。企画にどの程度反応するか、区民の意識がどんなものか、実数も発表してください。20才以上が対象ですので、区民37人に対し1人の大きいサンプルですので、良いデータになると思います。活動に激励します。	男性	70歳以上	屏風ヶ浦地区
在任期間が短いため、地域のことを良く知りません。磯子区以外で1日の中のかかなりの時間を過ごしますので、他の方々の意識がどの様に反映されるのか、調査結果を広報誌等で発表して欲しいです。	男性	40～49歳	杉田地区
アンケートの質問項目も多いし、地域と行政といわれてもピンとこないし…。答えを決めるのが結構難しかった。真剣に回答してくれる人がどれくらいいるかしら、と心配になってしまいました。このアンケートで改めて自分が区政に如何に無関心であったかを再認識し、反省しております。	女性	40～49歳	杉田地区
内容の表現が難しかったり、理解しにくい部分があるので、もっとわかりやすい言葉で、具体的な身近な例を挙げたりして表現して欲しい。	女性	40～49歳	磯子地区
せっかくのアンケートをいただいたのに、自分の勉強不足と区政への無関心？のため回答しづらい項目ばかりでした。	男性	60～69歳	上笹下地区
質問が細かくて回答しにくい。	男性	60～69歳	洋光台地区
アンケートをとるなら区民を無作為に選ぶのはいいですが、年齢の幅はさまざま。アンケート内容が何を聞いているのか意味がわからない質問もたくさんあります。もっとわかりやすく、どんな年齢の方が見ても質問の内容がすぐに理解できるようにアンケートをとるべきでは？	女性	20～29歳	汐見台
質問内容が不明、難しいところがあり、答えにくい（事業区政等）。TEL調査にしては？	男性	60～69歳	磯子地区
アンケートは意味がよくわからず、自分なりの判断でつけました。	男性	60～69歳	根岸地区
このアンケートをやっていると、我々民間人との乖離を感じました。	男性	40～49歳	汐見台
磯子区民のためアンケートをとり、よりよき区政運営方針を取り立てるべく努力しておられる姿勢、まことに感謝いたします。しかし、このアンケート項目別にみると、あまり詳細のため判断がむずかしい所がありました。又、経費をあらわすため、各項目別経費の総額、コストの指標を形状されていますが私としては読み取る事ができませんでした。	男性	70歳以上	杉田地区
「別紙をご覧ください」と書かれているにも関わらず、漠然としていて分からない。P2～5のアンケートにしても、そちらだけがわかっているような選択肢であり、非常に選びにくい。このようなアンケートをなさるならば、確実に結果が出るよう検討してから行うべきです。	女性	30～39歳	屏風ヶ浦地区
区政運営について、区が積極的に区民の意見を聞く姿勢は評価できます。しかし、設問の内容が高度で且つ専門的で難しく、回答率が低いと思う。今回の設問を一般市民向けと、有識者（例えば自治会役員）向けとに分類してアンケートする方法がベターだと思います。	女性	60～69歳	洋光台地区
アンケートの内容（施策）が難しかった。特に担い手の判断がしかなかった。一般の市民には慣れない内容なので、もう少し解りやすい視点の内容の方が記入しやすい。	女性	30～39歳	洋光台地区
重要な施策・方針は納得いくものもありますが、研修とか講習が方針実施に向けた重要施策とは思えません。従って回答の際、大変困りました。実践するためには何をすべきか。その観点から意見を問うていただきたいかったです。（アンケートについて）	男性	70歳以上	磯子地区
3500人（無作為に選んだかどうかどうかわからない）の中には、いろいろな人がいますよね。ダイジェスト版をお読みくださいと書いてあるが、こんな小さな字は読む気になりません。意識調査とあいまいな表現をしているけど、なにを目的に調査するかがはっきりわかりません。	女性	60～69歳	汐見台

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
この様な調査をしていることも知りませんでした。情報不足と、これにかかる費用はいかがですか。まして年配者にはわかりません。	女性	70歳以上	屏風ヶ浦地区
区政運営方針について、よく分からぬ人間は何も言えないと思います。区政運営について、自信が無いから、アンケートを求めているのですか。51の項目について、どこで決定されたのか。土曜開庁は経費をかけずにやれるものと思っていました。ゴミ収集に一般市民に迷惑をかけているから、区役所もがんばっていると思ったのだが。	男性	70歳以上	洋光台地区
問2の内容では、経費の詳細がわからないので、アンケートとしての回答がしにくい。例) 33の磯子祭り等になぜ1000万円以上の経費が必要なのかかわからない。	男性	40～49歳	岡村地区
ハガキによる督促はちょっと失礼。「ご協力をお願い…」ではなく「必ず」ならば、そう明記してください。	女性	30～39歳	磯子地区
今回の調査について、私は磯子区に引越をして、まだ1ヶ月しか経過しておりません。それなのに「区民意識調査」を郵送してくるのは如何なものかと思ひます。あまりにも無作為すぎるのではないのでしょうか？一応、回答はしましたが、項目が多すぎます。もっと的を絞ったアンケートをして欲しいです。	男性	20～29歳	滝頭地区
今まで区役所へは、印鑑証明とかの証明書を出して頂く事くらいしか足を運んだことがない。区役所の仕事について、無関心であった事をこのアンケートで知りました。気分よく対処して下さいる役所でありますように。	女性	70歳以上	磯子地区
老人会等の活動助成金も良いと思いますが、しっかりした基準をもうけてお金を使ってもらいたいと思います。ちなみに私の町では7～8人の男性会員がいつも会合で昼からビールを飲んでいるだけで、報告書は作文しているらしいということで、年間10万円以上の飲食費を使っております。もっと違った方法でお金を使って欲しい。	女性	70歳以上	上笹下地区
助成金を出すだけではなく、より有効に使われているか、現場をもっと見回る事が必要ではないか？	女性	60～69歳	上笹下地区
毎年出しているからといって、飲食に使われるような助成金は出さないこと。地域で動員がかかるからイヤイヤ行くようなイベントは行わないこと。中途半端な助成金をばらまかないこと。	男性	30～39歳	洋光台地区
補助金と各団体の関係に不明朗な部分を感じます。町内会等。補助金を出すことで区の姿勢を見せたいのかとは思いますが、あまりにも予算や決算がアバウトな感じがします。適正な執行を。	男性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
積極的な取り組みに敬意を表します。いろいろな場で意見は直接かつ具体的に申し上げてまいります。	男性	70歳以上	上笹下地区
住民から直接意見を聞いたり、区政の説明をするタウンミーティングを開く事が望ましい。	男性	40～49歳	磯子地区
区役所が「区民に役立つ所」となるように、区長さん以下の職員の方々が努めて行こうとされている姿勢が良くわかります。間違ったことは一つもありませんし、自信を持って強力に、親切に施策を推進していただければと思います。自治会の総会などに出られて施策の説明などをやっていただいて、意見交換などができたらもっと区民の理解は深まると思ひます。	男性	60～69歳	岡村地区
常に区民の声を取り入れ、見直しを行う対応をして欲しい。今は良くても、今後はどうなるかわからない。	女性	20～29歳	杉田地区
ホームページに区の情報（バス停、時刻表）を載せてほしい。病院の開院、閉院時間を一覧にしてホームページに載せて欲しい。	女性	20～29歳	磯子地区
インターネットをもっと活用して欲しい。	女性	50～59歳	磯子地区
区役所HPをもっと明確にして欲しい。用事がないと来庁する機会が無いので、家でも情報が充分わかるようになれば…。	女性	20～29歳	洋光台地区
前半の〇つけアンケートを見て思ったのですが、チラシ・冊子等の印刷物配布について、HP&Mailで代用できるのはできるだけ電子化したほうが良いと思います（すぐお年を召された方ならともかく、最近PCを使えない人はいないでしょう）。PDFで配布。紙の印刷代はばかにならないので。それにかきまわす。	女性	30～39歳	杉田地区
税金をどう使っているのか、ホームページなどで公開する。通りいっぺんのものではなく、一般市民にもわかる形式で、具体的に。	男性	40～49歳	磯子地区
ホームページなどITを利用するのも良いけど、パソコンを扱えない人には無意味だし、よけいにわからなくなるので育成してからにして欲しい。	女性	30～39歳	屏風ヶ浦地区
磯子区内にある県、市、区の公共施設、建物のあるところの詳しい見やすい地図を作って欲しい。	女性	70歳以上	杉田地区
福祉関係のチラシは何枚も必要ない。ゴミ袋に捨てられているほうが多い。掲示板に一枚あれば、必要な人は読むでしょう。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
公報のサイズ、閉じ方法、方向（県、市、区）統一できないか。整理しやすく後で見やすくなります。	男性	70歳以上	杉田地区
民間アパートに住んでいる者です。広報よこはま磯子区版が届いていないところがあります。	男性	70歳以上	洋光台地区
ex. 広報誌など、町内より配布されても目を通して人がどれだけいるか。古新聞と一緒に捨てられている方が多いと思う。年配者も読むのだから、文字をもう少し大きくするとか…情報をわかりやすく、必要性を考えて提供していただきたい。	女性	40～49歳	上笹下地区
高齢化が進む中、高齢者にも提供されている情報を見やすく、分かりやすくしてもらいたい。	女性	40～49歳	上笹下地区
実施したことは確認して結果を情報として提供してください。	男性	70歳以上	杉田地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
区が主催している有意義な講座や学習会、スポーツ関連、福祉関係など、いずれにしても現在の広報誌や回覧板だとPR効果が薄く、知らずに過ごしてしまってもったいない。たとえば、駅のホームから見える看板に掲示する（コストがかかっても）とか、バス待ちの人などの目につくところやスーパー、大型店の協力を得て、掲示板を置かせてもらうなど、できないだろうか？	女性	40～49歳	磯子地区
情報提供の方法に関しては、工夫が必要と考えませす。確かにHP、メルマガは適確に情報を伝えるという意味で正しいのですが、見る（見に行く）意識が強くなければ、タダ情報が流れてしまうだけです。広報よこはま磯子区版も良いのですが、A4版1枚で済むようなもの（例えば今回の区政運営方針ダイジェスト版みたいなもの）を配布していくなど地味に伝えていくのも必要だと思います。	男性	30～39歳	磯子地区
現在の区政運営どのようになっているのか分からない。 予算等についても分からない。	男性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
区の行事が「いつ」「どの様に」行われているか、全く情報がつかめない。1回/月の回覧板では極めて不十分である。もっと区民1人ひとりに情報が流れるよう考えて欲しい。	男性	60～69歳	屏風ヶ浦地区
これまで〇印をつけるために読んできた区の政策のいろいろを私はあまり知らなかった。区民の何%がそれを知って必要なサービスを受けているのか知りたい。金額についても区の経費の何%であるのかも知りたかった。一部の人のお祭り騒ぎだけのための施策にしてもらいたくない。	女性	60～69歳	洋光台地区
報提供をチラシ・HP等で積極的にされているようですが、見えてこない面がある。広報よこはま、「いそご」のチラシは、全軒に必ず回るよう配布して欲しい。年1回発行される冊子も出ていること自体知らない人が居る。全住民が情報を知る方法はないのか？	女性	20～29歳	洋光台地区
情報公開が少なすぎる。	女性	50～59歳	杉田地区
区政の運営方針や活動状況が地区組内回覧のみで知らされるだけなので、ほとんど判らない。今年度の計画や実施状況が毎月又は何ヶ月ごとにわかるような方法は取れないか？	男性	60～69歳	上笹下地区
広報などで知り、申請をしないと損をする事が多く有ると思われます。申請をしなくても区民であれば自動的にいろいろなサービスを受けられるようになればよいと思っています。知らないで損をする事が色々有ると思います。区民税は自動的に払い込まれているのですから。	男性	40～49歳	屏風ヶ浦地区
もっと気軽に小さなことでも相談できる（わからないところが聞ける）窓口が欲しいと思います。図書館も利用したいと思っているが、どのような仕組みになっているのかもわからない。いろいろな意味で情報が少ない（働いている者にとっては情報を集める機会が少ない）。聞きたいことはたくさんある。	女性	50～59歳	磯子地区
区政運営というより（困ったことなんでも相談）という窓口があったらよいと思います。何か困った時、どこかの窓口に行けばよいのか、こちらの説明不足のため、なかなか通じないので、ほんとうに困ったことがありました。そんな時、代わりに他の役所や係に説明して解決してください。5年も前から困っているのにじっと我慢して耐えています。それに（すぐやる課）等、あったら本当助かります。誰にも話せずストレスでだんだんと病気が増えています。高齢者です。	女性	60～69歳	磯子地区
悩み事の相談に行った時、問題解決のためのきちんとしたサポートをして欲しい（満足できるサポートを受けられず、行った事を後悔した）。	男性	60～69歳	無回答
各々に応じた相談窓口だけは欲しい。	女性	60～69歳	洋光台地区
市、区に関する情報は町内会を通さず直接区民に伝達すべき。地方税はそのために払っている。町内会という法的根拠のない団体にその責を負わせるべきではない。	男性	60～69歳	根岸地区
税、介護、病院、防犯などの情報を広く提供する事に注力してほしい。	女性	50～59歳	磯子地区
大変によくやっているとありますが、お知らせなどを見るとあまりにも幅広く何でもありの感じがします。お金もかかる事ですので、本当に必要なものなどを考えるときではないでしょうか。	女性	70歳以上	磯子地区
近々大地震が起こると言われていますが、こういった災害時における医療、食料品などの対策は、区としてどのような形で行ってられるのか知りたい。	男性	50～59歳	滝頭地区
区役所の改築に伴い、だいぶ分りにくいところが改善されているとは思いますが、自治会役員をやってみると、いらぬ広告が多いような気がします。同じようなものが配布物として何度も配られていたり、それも経費の無駄使いではないでしょうか。	女性	40～49歳	杉田地区
区政運営を熱心に行っていることは評価いたしますが、その効果が十分に区民に伝わっていないと思われます。そのため、利用しないのではなく、利用できないケースが多々あります。皆が十分に理解活用できるよう、さらなる努力をお願いいたします。	男性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
区政運営方針等読む限りでは、意欲的に取り組んでいる様子がうかがえる。しかし、一区民の私達にとって身近なこととしてあまり伝わってきていない。こちら側の問題でも有ると思うが。	女性	50～59歳	岡村地区
見える区政をお願いします。	女性	60～69歳	洋光台地区
今回のアンケートで初めて区政としてどんなことをやっているのか知りました。平日は仕事で遅くなり、土日にはオープンしていないと思っていました。区民が日常生活の中でもっとどんな運営を行っているのか分かるようなアピールをして欲しいと思いました。	男性	30～39歳	杉田地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
いまいち区がどのような取組を行っているのかが区民にわかりにくいような気がします。このアンケートがなかったらなおさらだと思います。もっと住民に対してPRしてもいいと思います。また、他の区に負けたくないような斬新的な行政の進め方を期待したいです。磯子区ってパツとしないので頑張ってほしいです。	女性	20～29歳	杉田地区
“目に見える改革と情報提供の推進”と重要施策にありますが見に行かなければ得られない、気をつけていないと手に入らない、という情報提供ではなく、磯子区で生活していれば自然に触れられるという、そこにいるだけで伝わる提供を目指していただきたい。	男性	30～39歳	磯子地区
全体にPR不足。他区に比べ遅れている。	男性	60～69歳	洋光台地区
アピールが少ない。認知している人が少ない。	男性	30～39歳	根岸地区
“区”の取り組みが残念ながら伝わってこない…。	女性	20～29歳	上笹下地区
区政運営についての意見、提案に関する問であるが、自分自身あまり関心が無かったこともあるが、区において現在どのようなことが行われているのか良くわからないというところである。よって、今後はもっと具体的に目に見える運営をお願いしたい。	男性	60～69歳	磯子地区
役所に情報を見ることのできるパソコンを置いてほしい。パソコンが全世帯にあるわけではない。窓口で聞かなくてもそれでよいこともあります。	女性	30～39歳	洋光台地区
ライフガイドに磯子区内の駅発のバスの時刻表を乗せてくださると助かるのですが（もちろん変更はあると思うが目安になりますので）。	女性	60～69歳	汐見台

重要施策3 健康・福祉・子育てを支える基盤づくり／高齢者福祉・介護関連

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
認知症者支援、取り組み。	男性	40～49歳	洋光台地区
高齢者が明るく楽しく余生が送れるような場所、催し、参加のプログラム、磯子区高齢者増加への施策。	男性	70歳以上	根岸地区
磯子区は老人が多いため、福祉関係ばかりが目立つが、私の住むマンションなどは、老人はひっそりとひきこもり、掃除、買い物や病院の通院なども上大岡にあるサービス会社に依頼して、年会費3500円でその方が全部やっています。私は保健指導員ですので、そのような老人を遠くから見て、本当に具合の悪い時など手助けをしてあげます。でも、よく見ていると淋しいのです。ですから老人達が集まってお茶を飲むような機会、場所があったらと思っています。必ずそのような人は手先を使うことは嫌いで、口だけは達者、話を始めたら止まらない…。ただ一軒家と違ってマンションは外部との付き合いがわずらわしく入居してくる人もいるため、同じマンション内で行うことは不可能。「磯子祭り」などがやはりいい場所なのでしょう。談話室などがあってもいいのかでは…（磯子センターの一階はいつも老人であふれています）。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
老人介護の防止としてもっと身体を動かせる場所を設置してもらいたい（自分としてはスポーツジムのものを希望していますが）。	女性	30～39歳	洋光台地区
最後に本当に暇な老人60歳代が私の家の周りにもたくさんいます（ごみ出しと新聞を持っていくだけ）。そういう方をボランティア等で働かせたいのが今の私の考えです。昼間からうるうる（特に男性）。女性はけっこうボランティアで色々やってくれます。区役所でも「老後の生活」とか色々やってはいるのでしょうか？	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
・一人暮らしの高齢者の緊急通報システムの拡充。 ・高齢者の有料住宅斡旋。 ・敬老パスの際、無料化上申要請（唯一の高齢者予防対策）。	男性	70歳以上	岡村地区
自分の親世代が、これから退職を迎えます。福祉、子育て等にボランティアとして区が中心になって募集してもらえれば希望者は多いと思います。経費縮小のためにも活用していただきたい。	男性	30～39歳	滝頭地区
市、または区に対して。近年60才すぎの1人暮らしのアパート暮らし、仕事、それもパート及びアルバイトの生活者に対して保険及び市税が高すぎるため、病院にもなかなか行けず、困っている次第。	男性	20～29歳	磯子地区
福祉の介護認定について。私共の近くに住む区役所勤務であった方など、認定の時だけ杖をつき身体を二重に折っていかにも体調の悪い様に…。普段は屋根に上がって掃除をしたり縁側から庭に飛び降りたり。介護の迎えの車はタクシー代わりのようにもみえます。認定には十分な配慮を。	女性	60～69歳	杉田地区
介護の基準の見直し。	男性	60～69歳	磯子地区
介護保険、育児手当の良い意味での見直し。	男性	60～69歳	磯子地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
地区の有力者や政治家など、力のある人や金持ちなどの意見に左右されたいで欲しい。区民の大多数を占める物言わぬ人や弱い立場の人（障害者や収入の少ない人、仕事の無い人）や、本当に困っている人々の方に手を差し伸べて欲しい。私は要介護4の痴呆老人を抱えています。主人が8月に前立腺がんのため手術をします。その間1週間ショートステイを申し込みましたが、どこも受け入れてくれませんでした。私は東京のがん研まで、手術の日や手術の説明日は、よたよたした老人を電車に乗せて連れて病院まで行かなければなりません。私もがんの手術を受けているので体力的にきついですが、仕方ありません。スポーツとか芸術文化に使うお金があるのなら、老人を一時預かってくれるところを作ってくれませんか。	女性	60～69歳	屏風ヶ浦地区
最近、急激に増加している介護サービス会社が目立って、それは嬉しい反面、高齢者を利用した悪徳業者もいます。私達、介護保険を支払う身になって無駄の無いように保険料を使ってください。	女性	60～69歳	根岸地区
介護保険の無駄遣いがあると思う。本当に元気な老人が週1回迎えのデイサービスの車輦に乗り、1日施設で過ごしているようだが、無駄使いである。もっと本当に介護が必要な人もいるのだから、そちらの方へ使うべきである。	女性	60～69歳	上笹下地区

重要施策3 健康・福祉・子育てを支える基盤づくり／子育て関連

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
高齢者が増加していく時代ですが、これから先を担う子供たちの育成にも力を入れて、考えていっていただきたいと思えます。大変な子育てですが、それを楽しくできる場や、グループ作りは、母親としてはあるとありがたいものです。	女性	40～49歳	磯子地区
森が丘は公園もないし、ログハウスやプレイルームなどなく、子供を遊ばせる広場が全くなく残念です。港南区に比べると、地域のクラブ、サークルが少ない気がします。	女性	40～49歳	屏風ヶ浦地区
子育て環境の充実は大きな課題です。しかし、保育所入所のみが子育て環境の充実なのでしょうか。一時保育は、小さな子供にとってどんなにか不安で精神的負担が大きいことかを親に伝えているのでしょうか。大人の都合のみが優先される行政に昔から疑問を感じています。保育所にしても子供たちにとって本当に良い環境なのでしょうか。大人に取って都合の良い場所にしか過ぎない面も多々あることを知っていて保育所を作り、運営をしているのでしょうか。今の親は「わが子と一日中一緒だとおかしくなりそう」と平気で話している。専業主婦の方にも「子育ては楽しい」という事を伝えてあげる。息の抜き方、接し方を時間をかけて教えてあげられるような磯子にして欲しいです。一人一人の子どもを大切に育てていくサポートをしていくことにより、第2子を考える事ができる磯子にして欲しいです。子育ては、人と人のかかわりから成り立つものです。子育ては大量生産できるものではなくケースごとに対応が違うということを行政は知っていますか。目先だけの数字に惑わされずに、一ケースでも親が子育てを楽しみたいと思える子育てをしていけるサポートを磯子区が考え、横浜をリードしていくような行政を望みます。マニュアルだけでは人の心はつかめません。言葉を大切に人の心を大切に接して下さっている職員の方々は大変です。あとは管理職の方たちの考え一つなのではないでしょうか。	女性	50～59歳	杉田地区
せっかく素晴らしい区役所があるのに、もっと福祉や子育てなどの講座を充実させ、開放して欲しい。	女性	30～39歳	上笹下地区
子供が土曜日にクラス単位で色々な仕事の現場を見学しに行くような日を、月に2回位作って欲しい（小学校など）。そこから社会を学び、働く素晴らしさ、将来への夢、今学校で勉強している事が将来、社会人となるために必要であることを知る良い機会。ボランティアを募ってもいい。子供が希望を持って人生を歩んでいくためのひとつのいい勉強（体験）になると思います（今日はパン屋さん見学、次々週の土曜日はTV局、次の月は介護の仕事を見学（これはプライバシー上無理ですか）、駅員さんの仕事etcいろいろ）。	女性	30～39歳	上笹下地区
「子育て環境の充実」が保育所のことばかりでは困る。小・中・高生（青少年）の健全な育成のための助成が必要。	女性	40～49歳	汐見台
区内の小学生、中学生、高校生に、社会学習として保育園、養護施設、市役所、老人ホーム、病院、警察、交番、刑務所、ごみ処理の現状などの見学や体験を実施することが、今の社会の次につながるかも？また、学生の親にも考えさせる社会現状の行末、未来を教育するべきだと思う（親ばかりで自分だけ良ければと思っている人が多すぎる）。	男性	40～49歳	滝頭地区
将来を背負ってくれる子供たちを、健全に育てるために、学校教育への支援と授業参観。非行を防止する夜間10時以降の子供の外出禁止等のアクション。	男性	60～69歳	滝頭地区
小学校の英語活動が全校で行われると聞いているが、質の良い人材確保のため、助成をした方がよい。	女性	40～49歳	汐見台

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
少子化の中、次世代を担う人間育成のため、もっと現場に携わる先生や親の声を聞いて、上部に具申できないものか。世の中グローバル化して国の機構も変わりつつあり、地方行政も一部の問題としないで連携して取組む方向性にならないか？	女性	60～69歳	上笹下地区
また、私自身、結婚後も仕事を続けられる環境を望みます。こうした同世代の女性も多いと思いますので、上記で優先度を高く実施して欲しい項目に選びました。どうぞ宜しくお願いします。	女性	20～29歳	杉田地区
若い人が子供を生み、育てやすい社会にもして欲しい。	男性	60～69歳	磯子地区
他の地域に比べ、子育てがしにくいように思う。医療費補助や公立幼稚園が無いこと…etc。プールでさえ大人1人に子供は2人まで、とかなっていて、目が行き届かないとのことですが、「ダメです」で終わりで冷たいと思う。少子化改善というが、何かにつけて沢山子供のいる人には不利になることが多い。	女性	30～39歳	根岸地区
「安全なくらし」はとても重要。また、次世代を担う子供達の健全育成が地球的視やこれからの区民に一番重要と思う。思いきった施策、ユニークで地道な施策を行って欲しい。“磯子区で子育てをしたい”と日本中から言われる様な区政をお願いしたい。	女性	40～49歳	杉田地区
あとは高齢者だけでなく子育てをしている人にも、もっと優しい区政であって欲しいと思います。	女性	40～49歳	杉田地区
私は現在高校生2人の親で、一番大変な時期は大体乗り越えました。磯子区に限らず、子育て支援より高齢者福祉が優先されているように思います。選挙民、人口に占める割合が大きいからなのでしょうが、若い子育て世代は要望を出す機会や時間もなく、日々生活に追われています。また、アンケートに頼ると、どうしても高齢者世代の意見にかたよりがちです。どうかその点を考慮に入れ、数字や声の大きさに流されずに優先順位を決めていただきたいと思います。若いお母さん達を助けてあげてください。	女性	40～49歳	屏風ヶ浦地区
今のお年よりは年金もたくさんもらっていますし、結構お金を持っているのです。一番お金がかかる40～50歳代、子供の学費、もう少し考えてあげたい。幼児を抱えて病院に行くときは交通費を半額にするとか。横浜市大病院（金沢）に私は年に2回生きますが、合計820円かかるのです。バスを入れたら1030円、通院が1回か2回ならいいけれど、毎回かかるかと考えます。今、お年寄りも負担をする事となりましたが、私もその件は賛成（交通費は医療費の控除の対象になりますが、確定申告するまでの間がある）。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
子供が2人おりますが、学齢期になり、品川区のように学校選択制にさせていただけたらと思います。そうすればわざわざ私学へ行かなくても安心して学校を選べます。これは磯子区に限らず、横浜市なのですが、児童福祉の予算を現況以上にとっていただきたいのです。学童保育が補助になるそうですが、とんでもありません。絶対にやめていただきたいです。子育てをしたことのない男性が考えそうなことですが、ますます少子化になる政策だと思えます。老人ばかりの町の中で、子供を育てていくのは大変です。子供にも力を注いでください。病児保育のできる保育園を増やしてください。共働きで、親のいる（祖父母のいる）家ばかりではありません。子供のために職を失うこともありますから。	女性	40～49歳	杉田地区
子供達が安心してのびのびと遊べる場所（児童館のようなところ）が区内にもっとたくさんあるといいなと思います。	女性	30～39歳	上笹下地区
子供が遊べるところが少ない（地区センターなど）。	女性	20～29歳	磯子地区
以前は東京都の板橋区に住んでいました。引っ越してきて感じたが、児童館はないし、公園のプールは有料だし、子育てをするには全く魅力のない町でした。ちなみに板橋区は近くに児童館が2つ、プールのある公園が3つもありタダでした。せめて公園のプールくらいタダにしてはいいかがですか。	女性	40～49歳	洋光台地区
少子化対策に努力して欲しい。	男性	70歳以上	屏風ヶ浦地区
親と同居していない（又はできない）若い人たちの第二子誕生のときの支援をお願いします。例えば、1ヶ月に限ってでも支援があると安心できます。現在は保育園に入れないので。	女性	60～69歳	汐見台
少子化が叫ばれている今、もう少し子育てをしやすい町づくりを考えていただきたい。例えば、保健所の増設と充実（これは働くお母さんの支援のため）。健診（4ヶ月、1歳半など）を地域でできるような工夫など。	女性	40～49歳	上笹下地区
はまっ子で、もう少し長く居る事はできないもののでしょうか。帰りをボランティアと帰る事はできないものか。子供に関わる事件を少しでも防ぐ事ができたらと思います。	女性	40～49歳	杉田地区
小学校のはまっ子制度について ・時間をもっと延ばす。例えば夜8時くらいまでとか。 ・勉強もやっても良いようにする。大学生や高校生などが勉強指導をする。異年齢交流になり、双方にとっても良いと思う。 ・スペースの確保。 ・夏休みも給食もしくはお弁当などの注文制にするなど。 ・季節行事や自然体験の充実。 ・児童が帰宅する際に家まで大人が同行するシステム。	男性	50～59歳	杉田地区
取り組みはしているが、実際には不十分な事があった（保育園が必要であったが、使いたいときに長く待たなくてはならなくあきらめた）。実際に役立たないのならある意味が半減すると思う。	女性	30～39歳	洋光台地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
高齢化による福祉施設は民間により多数あるが、少子高齢のための子育て施設があまりにも少なすぎる。磯子区内の各駅前に子供を預ける低料金の施設、又、補助をしていくようお願いしたい。	男性	60～69歳	杉田地区
子供を持つ親として子育て支援サービス（一時預かり、認可保育所の増設）に力を入れて欲しい。仕事をしなければならない状況でありながら、子供を受け入れてもらえる体制ができていないのが現実です。少子化対策のためにも改善して欲しいです。	女性	30～39歳	洋光台地区
長女31才が昨年夏に結婚しました。看護師の仕事を出産を機に退職しました。保育所が充実していればもっと仕事が続けられるのですが（勤めていた病院でも保育所はありましたが、遠くて無理でした）、もう一人子供をと言っています。ぜひこれから結婚、子育ての若い人達のために、保育所等を充実させていただきたいと思えます。	女性	50～59歳	洋光台地区
子育て支援の一環として、安心して子供を一時的に預けられる施設を作っていただきたいです。	女性	30～39歳	洋光台地区
保育園については、今現在住んでいるところからだとすべて遠いため、とても不便だと思う（車がないこと、子供が小さいことにより）。もし、仕事をはじめるとしても、ちょっと考えてしまう。	女性	20～29歳	根岸地区
働く女性が増えているので、安心して子供を預けられる施設作りがもっとも重要と思います。	女性	70歳以上	磯子地区
誰でも利用できる、子供の一時保育所が欲しい。全国を転勤しているのだが、駅前に子供を一時保育してくれる町がありました。2時間までだが、その間に習い事、美容院、買い物などを済ませていたのですが、とても便利でよく利用していました。	女性	30～39歳	上笹下地区
幼稚園や保育園をもう少し増やして欲しい。	女性	20～29歳	滝頭地区
先日予防接種に行った際、予防接種に関する知識がないのか？紙を見ながら予診をする医師にあたり、ヒヤッとした。担当医は全員、小児科医にすることは不可能か？	女性	20～29歳	洋光台地区
小中学生が日常利用できるグラウンド（学校の校庭も可）を考えてください。ボール遊びが近所の公園では不可で遊ぶ場所がありません。	女性	40～49歳	屏風ヶ浦地区
幼児向けの施策や老人向けは考えられているが、小中学生向けは手薄だと思います。	女性	40～49歳	屏風ヶ浦地区
中学校の給食の実施を横浜市に働きかけてください。	女性	40～49歳	屏風ヶ浦地区
市の方へ言うべきことでしょうか、児童手当について「9歳になってから最初の3月分まで」という内容に納得がいきません。我が子は今年2月に生まれたのですが、早生まれの子のお母さん達は皆「平等でない！！」と文句を言っています（5万は大きい）。これから子を産むお母さんにすこしでも希望を増やせるように、それぞれ、誕生日までに改善してもらえとうれしいです。来年、秋以降、出産一時金も5～10万アップするというニュースもありますし、制度改変の狭間になった私達も「ありがとう」と思える内容を増やして欲しいです。また、私達が楽しそうに子育てをする姿は、必ず次の世代の人々に希望を与えるはずで。子育てをする人にも、もっと優しい町に！！町も電車もバスも…。	女性	30～39歳	根岸地区

重要施策3 健康・福祉・子育てを支える基盤づくり／障害者関連

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
特に今後は、精神障害のある方の雇用等の社会復帰施策に力を入れる事が重要であると思う。	女性	20～29歳	杉田地区
いのちの電話。 うつ病者支援、取り組み。	男性	40～49歳	洋光台地区
現在の勤務している病院では、ほとんどアルコール依存症、麻薬中毒、神経心療内科（精神病）、認知症と、ほとんど95%が生活保護の患者です。又、他院からの重度な患者、生保にて下腿部切断等と、社会的入院が多い（ほとんど身寄りがいない）。この方々のためにせめて福祉施設、ホーム、専門病院を1ヶ所でもよいので作って欲しい（作業療法等できる施設）。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
障害者の方々についても同じで、障害者の方が活躍できる場をもう少し増やしていただけたらと思います。	女性	30～39歳	洋光台地区
高機能自閉症者への支援、取り組み。	男性	40～49歳	洋光台地区
福祉制度について一言。本当に困っている人、助けを必要としている人と、必要でない人との区別を明確にして、手厚い福祉制度の充実を図っていただきたい。私の家には知的障害のある子供がいますが、将来娘を道連れに心中するしかないと考えています。そのような事を考えなくていい制度となるようにして欲しい。	男性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
将来の生活に不安を抱えている障害者（自立支援法案の行く末、老人介護とは違うこともあり）が、少しでも安心して生活できる区であってほしいです。	女性	20～29歳	根岸地区
子供、障害者などの弱者が生活しにくい。もっと専門知識を持った人（役人ではない）を増やして相談できる体制にして欲しい（学習障害児の母より）。軽障害者を将来の就職に向けてサポートする体制を整えて欲しい。	女性	30～39歳	杉田地区
障害者福祉タクシー利用券を配布してもらっているが、車椅子に乗る子供をタクシーに乗せるのが難しいため、ガソリン券などのような形で補助していただけることも検討して欲しい。高齢者にはタクシー券は良いと考えるが、重度障害者はほとんど自己車での移動が多いと思う。東京ではタクシー券がガソリン補助かが選べるところであると聞いている。	男性	40～49歳	杉田地区
障害のある人に優しい街にして欲しいと思えます。	女性	50～59歳	洋光台地区

重要施策3 健康・福祉・子育てを支える基盤づくり／保健・医療・健康づくり関連

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
横浜市でも他の区では介護保険適用病院・可能病院があるのに、磯子区のみはないに等しい。いくら言葉でかっこよい事言っても実態は努力（市職員）不足である。	男性	70歳以上	磯子地区
日赤病院の移転により、突発の病気やケガのとき、どこで受診すればよいのか分からず困っています。土・日・時間外の情報が欲しいです。会報で詳しく知らせてください。お願いします。	男性	60～69歳	根岸地区
近くに小さな医院があっても、夜間急に必要性があっても・・・正直言って何処に行っても良いのか。電話で問い合わせても不安な返事・・・？ 夜間専門の病院（大きな）が絶対に欲しい（名前ばかりの救急センターはいらない。救急病院ではなく専門のドクターがいて欲しい）。体が弱いので毎日不安。救急車を頼むのも悩むときがある！！小さな病院（かかりつけ）は夜間見てはくれないし、先生不在が多い。誰のための病院？病気は夜の方が多いと思う。皆、我慢しているのではないか！！？	女性	50～59歳	上笹下地区
今年度より受益者負担が多くなり、最低限、健康に関して（特に伝染病につながる胸部レントゲン等）は存続させて欲しい。	女性	50～59歳	根岸地区
健康診断の廃止は痛かった。	女性	30～39歳	洋光台地区
年1回の健康診断の実施を再開？して欲しい。	女性	40～49歳	洋光台地区
今後、急速に進む高齢化に向け、元気で健康な老人（？）となれるようにスポーツセンターの増設（多機能ホールがあると良い）などをお願いしたいです。運営なども含めて、多くの人が活動できる場になればよいと思います。	女性	50～59歳	杉田地区
とりあえず高齢者は寝たきりにならないこと。そのためには生活習慣病にならないこと。生活習慣病の取り組みが重要です。	男性	60～69歳	磯子地区

重要施策3 健康・福祉・子育てを支える基盤づくり／福祉全般・その他の意見

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
これからますます高齢化社会になっていくので福祉の面でもっと安心できる基盤づくりが必要だと思います。	女性	40～49歳	洋光台地区
東京都に比べて福祉関係のサービスが遅れているように思われます。児童館活動や保育園の預かり時間とか、DV被害者に対する対策とか（磯子区内にはシェルターはあるのでしょうか？）。これから他の都市のサービスも参考にしてますます住みよい町にしていってください。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
生まれてから25年以上、磯子区に在住していますが、ここ数年、高齢化が顕著になってきていると感じます。福祉や高齢者への対策を更に講じていただければと思います。	女性	20～29歳	杉田地区
地域の福祉を考えることはとても重要だと思いますが、今の施設にもっと経費を回した上で、地域へも広げていかないと、ニーズにあったものにはなっていないと思います。実際に施設を利用している人の意見を充分聞いていって欲しいです。	女性	40～49歳	磯子地区
老人、障害者、小児等、弱者に愛の手を。そして介護者、ひとり親にも。支援を。	男性	50～59歳	洋光台地区
老後の生活に不安を感じます。医療福祉が充実していない。	女性	50～59歳	洋光台地区
7月からケア・プラザの利用時間帯が変わり、又、利用料も取られるようになりましたが、3時間毎の区切り（9-12、12-15、15-18、18-21）は利用する側からすると大変都合が悪い。特に12:00～15:00を利用する時の昼食については問題で、13:00からになりませんか（要・時間の区切り方の検討）。	男性	70歳以上	岡村地区
福祉を受けて楽に暮らしている方、受けられなくて困っている方、いまい福祉がわからないです。スムーズに福祉は受けられないのでしょうかね。	女性	50～59歳	上笹下地区
区政は意見としてはないが、福祉も良いですが、区民は困っている人がたくさんいます！！			
※生活保護等をもらっている人で、車を持っている人もいますが、我々よりも楽な生活を送っている人たちが中にいます。役所ももう少し良く調べて支給しないと。生活保護者には月に2回位調査をしたほうが良いですね！！	男性	60～69歳	無回答
毎年、生活保護の見直しをしているのですか。60歳を過ぎてコツコツ働いて、少ない給料で生活している私。まだ働けそうな人まで保護をもらっている。保護をもらっている人ほど、豊かな生活。税金の無駄遣いはしないでください。	女性	60～69歳	磯子地区
福祉に関しては、偏らないように！	女性	60～69歳	洋光台地区
猫の飼育ガイドラインをもっと普及させて、猫にやさしい町づくりをさらに進めていって欲しいです。また、猫の登録制を再度開始して欲しいです（以前はやっていましたが、今はやっていないとお聞きしたので、続けていって欲しいです）。よろしくお願いします。	女性	30～39歳	磯子地区
犬に関するトラブルを減らすための『飼い主のマナー』の普及啓発を実施する事（猫より犬（糞）が最近特に問題だ）！！	男性	60～69歳	洋光台地区
散歩犬の糞尿の処理（公園内は犬の便所）。	男性	60～69歳	洋光台地区
猫の避妊手術に、条例でお金が出ると知り、びっくりしました。一部の愛猫家による話に市や区がのったのはおかしいと思います。今、公園前に住んでいる当方は、猫の糞、そして体力が増した猫から受ける襲撃です。また、近所で猫を飼っている家は、家から外に出しません。野良猫の餌を運ぶ人たちは、自宅で猫を変えない人たちに思えます。非常に迷惑をしています。元の自然の体制に戻していただきたいものです。貧しくても生活保護を受けず、つましく生活をしている人もいます。猫ごときに大切な税金を使用しないでください。	女性	70歳以上	洋光台地区
年金、保険についての基本的知識を教育の場で教えて欲しい。わかりにくくていつも苦勞する。	女性	20～29歳	磯子地区
区主催のスポーツクラス、子供のクラスなどあるのはいいが、少ないためもつという教室やセミナーを行って欲しい。	女性	30～39歳	屏風ヶ浦地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
高齢者の低所得者の葬儀の件。百万、二百万という高額な金額を、業者に払っている。東京には安いセレモニー業者がいると思いますが、福祉の一環として区で業者を斡旋するか民生委員の方で情報提供していただく仕組みを施策推進してください。葬儀の話は皆嫌がりますので提案してみました。年金生活では、百万、二百万は重大な問題です。	男性	70歳以上	屏風ヶ浦地区
母子家庭の生活支援を充実させて欲しい（住宅、託児等）。県営に申し込んでもなかなか当たらず、自立しての生活ができないので。	女性	20～29歳	屏風ヶ浦地区

重要施策 4 区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
文化的な取り組みが少ないように思います。杉田劇場のPRなど、イベントについては港南区、栄区を見習って欲しいと思います。	女性	50～59歳	洋光台地区
デジタル機器との共存は進むと思います。バージョンアップが必要な場合も多々あるでしょう。しかしながら、区民としては、アナログ的なものの提供を期待したいと思います。素人考えですが、姉妹都市国際交流フェスティバル（祭り）、区内の特産品で盛り上がる「磯子地物祭り」、磯子フィルハーモニー管弦楽団、磯子ジャズ・オーケストラの結成、野外音楽堂（多目的ホール）を公園内に作る、社交ダンスのボールルームを比較的安く提供する、老若男女問わず、「食育」を充実させる。	男性	30～39歳	洋光台地区
グローバル化なので、小学校で中国語や韓国語など、そしてスペイン語とか色々な語学を学ばせてみてはいかがでしょう？	男性	20～29歳	滝頭地区
磯子センターの体育館の設備は古く、空調は天井の大型ファンのみで夏場は暑く、冬寒い。最新の空調設備、床の整備を実施して欲しい。	男性	60～69歳	磯子地区
小学校の空き教室を区民に開放して健康、余暇活動に利用したい。	女性	60～69歳	洋光台地区
地域でサークル活動をする場合、なかなか場所が取れません。会場取りには苦労しています。現在、開いている区内の小・中学校の教室の一部を開放していただけないものでしょうか。お願いします。	男性	60～69歳	磯子地区
介護や福祉も大切だと思いますが、若く元気な区民もたくさんいます。そういう人たちが力いっぱい楽しめるような施設も必要だと思います（野球、サッカー、バーベキュー等なんでもOKの公園等）。もしそういう場所があるのなら、簡単に調べる方法が欲しいです。	男性	30～39歳	根岸地区
公設の利用料金が大幅にアップしたので本当に怒りを覚えている。利用者が拒めない方法で料金を取るようなことはせず、公務員の多すぎる給料を減らして区民にサービスして欲しい。我々は税金を払い、尚、利用料を増額されてはたまらない！！	女性	40～49歳	根岸地区
私は子供が出来てからは、区役所へ月2回位行くようになり地域のひととの交流も持てるようになりました。しかし、子供ができるまでの4年間、近所との交流もなく寂しい思いをしていました。たぶん、仕事をしない専業主婦で同じ思いをしている方がいると思います。そういう人達が集まる会みたいなのを作ってくれるといいかなと思いました。	女性	30～39歳	杉田地区
磯子スポーツセンターは、利用種別で、別々の料金を請求された（エアロビクスのあとには器械体操等で身体を整理したい。スポーツクラブでは一回の料金。縦割料金→制度→所長の管理）。	男性	70歳以上	杉田地区
趣味や教養などを身につけるプログラムの充実！！ 最重要課題2つのみ（焦点がぼやける）頑張ってください！！	男性	50～59歳	杉田地区
生涯学習に力を入れてください。	女性	70歳以上	洋光台地区
問4の②、区民が手を携え、元気に生き生きと活動できる仕組み作り（町）をお願いします。	男性	60～69歳	滝頭地区
洋光台に地区センターを開設し、行政の出先業務を行って欲しい（切実な願い）。	女性	60～69歳	洋光台地区
洋光台にも地区センターを作ってください。	女性	50～59歳	洋光台地区
洋光台地区には地区センターがない。人口2.6万以上居住している。この地域は市の施設の孤立地帯に思える。是非検討いただきたい。	男性	60～69歳	洋光台地区
行政の末端に位置すると思われる町内会を構成する各組について、組長を輪番制にしているところが多いと思われませんが、高齢者世帯が多くなり、また若い世帯でも「町内会には入るが組長はやらない」世帯が多くなっている。高齢者世帯の場合は皆、納得しやすいが、若い世帯の場合、近隣トラブルに発展しかねない要素を含んでいるので、そのあり方を深く検討する必要あり。なにかよい方策はないか。	男性	70歳以上	磯子地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
区政を行うのに地域（自治会等）を動員し実施する事は重要だが、地域が主体的に活動するような方向で支援していただきたい。区（市）の希望のため運営資金（活動費）を出すようなものはなくしていただきたい。	男性	40～49歳	上笹下地区
磯子区と言いますが、住んでいる森が丘は町内費が高すぎます。何に使われているかよくわからないし、もっと少なくしてほしいです。	女性	40～49歳	屏風ヶ浦地区
区政とは地方行政の末端と理解しているが、その先に町内会がある。その町内会は全住民が漏れなく所属すべきものであるが、実態は如何であろうか？そして、老人会を通じて指示して行く事、民生委員、その他の委員との関連について、判り易く、重複がなく、効率的であるべきだが、その点、極めて不十分と見られ、早い改善が望まれる。	男性	70歳以上	屏風ヶ浦地区
町内会でやっている仕事を区ですて欲しい。高齢化のため、町内会費集め等の仕事ができなくなってくる人が増えていくから。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
町内会への過度なる協力依頼（体育、防犯他）は限界に来ている。	男性	60～69歳	洋光台地区
企画は良いが実施において全てのものが地域自治会、町内会などに押し付けるのはどうか？職員がすべきだ。それがサービスです。	男性	50～59歳	磯子地区
ケアプラザの新築が増加し、料金が安いと、町内会館の利用が減っていますが、民業圧迫ではないか？ケアプラザの料金値上げをお願いしたい。もしケアプラザの費用に税金が使われていましたらと思いましたので。	男性	70歳以上	洋光台地区
磯子図書館が月曜日の休みではなく不規則の休みで、好きなときに行けて良いです。月曜日に行けるのも良いです。	男性	20～29歳	滝頭地区
できることなら図書館の椅子を増設していただきたいと思う。	男性	70歳以上	磯子地区
区で運営している施設と他の企業体などで運営している施設とで、利用方法や料金、制限などが全く違うので利用しにくい。	女性	30～39歳	滝頭地区
重要施策4は内容がわからない。内容が不透明なことは取りやめる。	男性	40～49歳	屏風ヶ浦地区

重要施策5 人に優しいまちづくりと魅力アップ

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
磯子区は元々海に面した良い所だったにもかかわらず海に親しめる所がまったく無い。金沢区を参考にして工業地区と分けることを望む。	男性	50～59歳	磯子地区
磯子区長の長年の夢だという杉田5丁目に、公園ができるそうですね。区の方はその場所を歩かれたことがありますか。私は毎日駅からその場所を通して通勤しています。歩道までのびたツタや草、捨てられた布団やゴミ。365日いつでもゆったりサービスよりも、365日いつでもきれいな町作りをして欲しいと思います。	男性	30～39歳	無回答
堀割川の活用 ※遊覧船または定期船を航行させたらどうか？→民間を活用。	男性	60～69歳	滝頭地区
堀割川沿いは自転車安全に通行できない、堀割川沿いの緑化と人と自転車の遊歩道を計画して欲しい。	男性	60～69歳	磯子地区
堀割川土手の整備。	女性	50～59歳	滝頭地区
公園や堀割川の件等、良いと思いますが、経費がとても低いと思います。それで充分なのではないでしょうか。	女性	40～49歳	磯子地区
住民税が高い。海に見える公園周辺は今のままでも問題ない。区民から無駄な金を取るな！	男性	20～29歳	上笹下地区
磯子は海のある町です。しかしその海（海岸線）のほとんどを企業に占拠されてしまっています。磯子の海に見える公園、杉田の臨海公園も良いですが、海岸線の一部を企業から返してもらって、もっと「でっかい」海の公園を作ってください。磯子区民はいつのまにか海を略奪されてしまったのです。	男性	60～69歳	滝頭地区
磯子区は海に接している区でありながら、区民がいつでも、どの年齢層でも使用できて楽しめる施設が少ない。多くの海に接している地域が企業に利用されているので、公共の海に接して場所があれば、広く区民が利用可能な施設を作って欲しい。戦前の磯子を思い出した運営をお願いしたい。	男性	70歳以上	杉田地区
休息所を設けて欲しい。公共施設のフロアの一角で良いので座って休める場所を作って欲しい。（例）洋光台児童相談所、磯子老人センター等。	女性	50～59歳	洋光台地区
産業道路に歩道があるが、車椅子や足の悪い人を見ることが少ない。段差が多い。変化が少ない。 16号の歩道が狭く、工事であつづく。	男性	40～49歳	滝頭地区
磯子区が自主的に進める改革や町作りに期待します。子供や若者は将来もあり、自分の目的にあった他の地域に出掛けることもできますが、高齢者の行動範囲は体力的にも地元狭い地域に限られてしまいます。自宅から至近距離に買い物、病院が充実し、しかも楽しめるよう、高齢者に優しい町であって欲しい。	女性	50～59歳	磯子地区
車椅子での歩行がゆったり歩道スペースの確保及び平坦な道作りを希望します。歩道が斜めになっているところが多く、車椅子の移動は困難なところが多い。自転車と歩行者との区別をつけるべき。自転車が危険極まりない。	女性	50～59歳	磯子地区
花さかせ隊の花も、ほうぼうで見えるようになり、よろしいかと思えます。	女性	30～39歳	屏風ヶ浦地区
ゴミ箱（公営）を設置すべきです（道路上に何でもポイです。何もタバコだけではありません）。	男性	50～59歳	洋光台地区
区民（若者、中年）のポイ捨てが多い。	男性	40～49歳	滝頭地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
無駄な看板撤去。	男性	60～69歳	滝頭地区
G30といえば聞こえは良いけど、路上はいつもゴミが散らかっている状態です。週3回のほうがきれいな町でした。その点はどうか。机上論だけでなく、歩いて町の中を見たことがありますか。汚い町磯子となります。一部の心無い人だとは思いますが、その点、検討していただきたい。	女性	70歳以上	屏風ヶ浦地区
分別ゴミの回収回数を増やすべく、関係機関と協議してください。	男性	50～59歳	洋光台地区
自宅の前がゴミ収集場所になっていますが、近くにマンションが有り、利用者が時間や収集日以外に出すため、カラスが来ます。又は、マンションは別に収集場を設ける。 マンションやアパートなどの方にも細かいことだが、説明やチラシなど行き渡るようになると良いと思います。	男性	60～69歳	磯子地区
G30のためにゴミがたまって困っている。生ゴミくらい毎日回収しなさい。	男性	40～49歳	磯子地区
ゴミ問題、環境問題など、具体的に説明して下さい。本当にプラスチックのゴミの処理など行われているのでしょうか。毎日分別していても気になります。	女性	40～49歳	洋光台地区
市政との関連になると思いますが、ゴミの再利用、資源（リサイクル）、削減に我々市（区）民も環境のことなど考えて最大限協力しようと思っているのですが、現況、月にたった一回の古紙回収では家の中に紙ゴミがたまっている状態でガッカリしてしまい、「これくらいの紙なら…」と生ゴミに入れてしまいたくなります。現在、普通ゴミが週3回、プラが週1回、紙が月1回とゴミの量からしてもアンバランス。腐らない、臭わないとはいえ、散らかります。せめて月2回の回収にしてもらいたい。	女性	40～49歳	上笹下地区
ゴミの收拾について、もっとわかりやすく分別できるよう、ゴミの分け方を徹底してほしいと思います。フレモノ、プラスチック製品と資源ごみとの区別等、ごちゃごちゃになって放置されています。	女性	60～69歳	上笹下地区
区民の努力したG30の結果報告。区民へのアンサーバック。	男性	50～59歳	洋光台地区
もう一度、ゴミの分別の方法の講習を開いて欲しい。	男性	60～69歳	滝頭地区
市民の利用できる海岸線の再生。	男性	60～69歳	根岸地区
区政運営については、前問のとおり②であるが、管轄の異なる事項について（道路交通、信号など）は、高齢者、障害者、子供など、弱者についてはほとんど考慮されていないような場所がありますが、このような問題については、区としてはどのように取り組む考えでしょうか。目立つ場所より生活地域の整備が先だと思います。	男性	70歳以上	磯子地区
近くの公園等で（安く、有料）動物（犬）の放し飼い（週に一回でも良い）を、実施してくれることを望みます。高齢者が多くなる現状で、コミュニケーションが苦手な方、話し相手もない方には、どれだけ、動物が心を癒してくれるか（飼う方もマナーを守る）。人間だけでなく、動物たちにもやさしい気配りを望みます。	女性	60～69歳	洋光台地区
幼児を持つ親として、公園の整備をして欲しい。 ・汐見台2丁目の公園はすべり台がない。また、すべり台が滑れる状態にない（コンクリートがはがれている）。ひどすぎる。 ・新しい遊具の設置（4人乗りブランコや回転するジャングルジムが撤去されたのに、新しい遊具が設置されていないので遊具が少ない）。	女性	20～29歳	汐見台
公園を作ってほしい。まだまだ数が少ないし、あっても規模が小さい。金沢区と比べるとレベルが低い。	男性	30～39歳	上笹下地区
自転車置き場。通勤・通学用の自転車が多く置いてある。管理を厳しくしてもらいたい。	女性	60～69歳	磯子地区
子育て支援や学童の安全確保などは日常生活の中で活かすことが重要である。例えば屏風浦小学校下の交差点（16号国道）と、産業道路を結ぶ歩道は通学路であるにも関わらず、傘を差して通れないし、乳幼児のベビーカーも安全に通れない。行政への働きかけを望みます。	男性	70歳以上	屏風ヶ浦地区
歩道の整備をお願いします。	女性	60～69歳	上笹下地区
車道と歩道の区別等、人に優しい町づくりを積極的に推し進める。	男性	50～59歳	杉田地区
道路工事も必要かもしれないが、歩道を広くして欲しいです。バリアフリーとか障害者のためという改革があるならば、舗道のアップダウンをなくして平らにしたほうが良いと思います。	女性	30～39歳	磯子地区
杉田、洋光台地区（他はわかりません）歩行者道路が悪い。幼い子いますが、ガタガタしており、ベビーカーで移動中につかえる事がよくあります。細かい道路が多く、車が通ると歩行者が入れない程、狭い箇所がいくつか見られます。	女性	20～29歳	洋光台地区
小さな路地への車の進入の規制を希望します。できない場合はスピード制限を厳しくして欲しい（区の運営のほうとちょっと違ったことですが）。人に優しい町づくりにつながると思う。	女性	60～69歳	杉田地区
歩道、車道の区別が悪い。特に歩道は狭く1人歩くのが精一杯であり、斜めで歩きにくい。	男性	70歳以上	磯子地区
バスをノンステップ（全部）にするように。	女性	70歳以上	磯子地区
区の仕事か、市の仕事か分からないが、バス停の時刻表をもっと大きく作って欲しい。遠くから、または暗くなると見えない。	男性	70歳以上	無回答
まだまだバリアフリー化が遅れていると思う。すべてのバスをノンステップにすべき。区民全体の意識がバリアフリー化に対して冷たい。	女性	30～39歳	汐見台
昨年まで南区に在住していましたが、ゴミ収集車にチリ取りとホウキを備え付け、収集後掃き取っていました。すごく清潔感があり好評でした。磯子区でも実施できないのでしょうか。	男性	70歳以上	屏風ヶ浦地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
働きたい方がたくさんいます。お金に困っている方、少しでも働きたい方。車でどこを走っても草だらけの道路や公園があります。募集すれば1日いくら、とか時給で街がきれいになると思いますが、運営費を出してください。	女性	50～59歳	上笹下地区
何はともあれ安全できれいな街づくりが第一。落書きや放棄ゴミがない、自然豊かな区であって欲しい。	男性	70歳以上	汐見台
現在、日常当たり前のように行われているゴミの収集について、見直しをして欲しい。みちや歩道に山積みになれ、時には車や自転車にひっかけられて散乱。前を通るだけで悪臭がしたり、水分の染み出しによって路面が汚れるなど、見るからに不快です。もっと町の景観に対する区民の美化意識について考える必要があると思います。植栽等による目隠し、区画整備に伴う収集スペースの確保など、自治体だけでなく町、区、市といった行政を含めた形で、取り組む事が大事だと思います。「人に優しい町づくりと魅力アップ」、ゴミが歩道をふさいでいるのは盲人の方々にとっては大変危険なこと。新しい施設やモノを作っても、通りにゴミが山積みでは、町の魅力などがあがるわけがありません。	女性	30～39歳	磯子地区
◎疑問点 ・氷取沢市民の森を利用していますが、数年前に「湿地帯、日陰なのにスイセンの花を一面に植えた」。現在はほとんど開花しない。せっかく花を植えるのに環境条件が考慮されてない。→業者任せ？	男性	60～69歳	上笹下地区
JR駅周辺の緑、公園（緑がない）が少ないため、環境づくりに配慮が欲しい。	女性	40～49歳	磯子地区
磯子地区の住宅地に居住しています。宅地造成のため、緑（樹木）が以前より少なくなっているようです。自然破壊とは言いませんが、これ以上緑を無くさないでください。	男性	50～59歳	磯子地区
※“惨ふるさと緑事業”（杉田5丁目）！！ ①都心道路3号線梅林トンネル東側脇地に施工された上記事業の現況を視察されたい。もともとは“萩（はぎ）”の繁茂したすばらしい自然緑地帯でした。その“萩”を一掃して、植栽とも雑草とも言えない雑低木を植えて上記“ふるさと緑事業”と、高価な標識板まで設置している。こんな事業ははたして必要だったのか？雑草繁茂すると、費用支出して業者に除草させる。緑政担当部局の良識を疑うばかりである。 ②お願い。上記地の西側（トンネル脇）の側面にも“萩（白萩）”のブッシュがあり、該地もいつ「緑事業（？）」として雑木地とされてしまうのか心配です。 ③これ以上「無駄事業」は止めましょう！	男性	70歳以上	杉田地区
海に面している区であるが、海側は工業地帯が多く、温暖化防止、空気清浄化のために海側工業地帯周辺の緑化と、区内の緑化、区役所・公共建物の屋上緑化、既設建物の屋上緑化の推進・支援等は区の魅力アップにつながるのと同時に、温暖化防止に役立つと思う。	男性	60～69歳	磯子地区
緑を増やしてください（今年は街路樹の葉が、夏近くに切られることがなく、木陰が涼しくて気持ちが良いです）。国や県との連絡関係もあると思いますが、海からの浜風と木陰からの風で、ヒートアイランドにならないようにしてください。緑を減らさないでください！	女性	50～59歳	磯子地区
緑のある町づくりといいながら、磯子駅前の桜を切ったのはなぜでしょう？	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
区役所前の水の流れをもっと自然にし、流れが淀まないような設計に変更を望む。	男性	50～59歳	磯子地区
車イスの来訪者も多いのですがエレベーターがとても狭いのです。（磯子センター）	男性	60～69歳	屏風ヶ浦地区

重要施策 6 犯罪と防犯に強く安全な地域づくり

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
収入確保や犯罪の減少など、簡単ではないと思いますが、柔軟に計画的な区政運営を期待しています。	女性	20～29歳	岡村地区
犯罪防止のため、高齢者によるパトロールを実施するなど、シルバー人材を活用する施策の検討。	男性	40～49歳	磯子地区
磯子地区は空き巣等の被害が多いので、防犯対策に力を入れて欲しいと思います。	女性	30～39歳	屏風ヶ浦地区
子供が安心して暮らせる町づくりを心がけて欲しい。	男性	40～49歳	杉田地区
安心して留守にできる町。防犯対策をしていますが、買い物して自宅へ帰るまで心配です。	女性	50～59歳	洋光台地区
年輩者だけの防犯活動— ①安全対策面での心配はないのか？ ②専従パトロール（警察官の補助）等を考えるべきだと思います。	男性	70歳以上	杉田地区
防災防犯について現在は各自治会がボランティアを募って行われているが、区でアルバイトの人を雇用し巡回して欲しい。犯罪が多い昨今、ボランティアに頼ってはいずれ行き詰ると思う。	女性	70歳以上	洋光台地区
街灯なども明るく、犯罪に強い区作りに地元住民も積極的に参加させる地域作りを目指して欲しい。	女性	50～59歳	磯子地区
近所で空き巣の被害が多く、毎日不安です。警察の方のお仕事ですが、区の方にも防犯について、もう少し取組んでいただけたらと思います。	女性	30～39歳	洋光台地区
犯罪を減らし、明るい町作り！！	男性	50～59歳	杉田地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
子供がいるため、防犯に力を入れた安全な町作りに取組んでほしい。	男性	30～39歳	上笹下地区
昨年9月17日大型台風にあいました。まず区民相談室にお電話し、対策本部があるかどうか聞きましたところ、あつてないようなもの…とのお返事、びっくりいたしました。災害は自己責任で対処するようにとの磯子区役所の返事、これ本当のことです。今後どんな大惨事にあつても行政として助けていただけないのなら磯子では住めませんね。どうぞ災害時には適切な対応をお願いいたします。日頃から区民は助けをあてにしています。	女性	60～69歳	杉田地区
地震や災害が起きたときの具体的な避難法や、援助は何処で受けられるのか、区民用の伝言ボードの設置など。起きる前に回覧板などで公表して欲しい。	女性	20～29歳	根岸地区
犯罪や交通面からも子供たちを守る町作りや対策を早急に検討していただく必要があると感じています。	女性	40～49歳	磯子地区
交通に関して。歩道横断中、危険が多い。なんとかならないか（磯子橋の信号無視！全ての信号）	男性	60～69歳	滝頭地区
小・中・大人等の自由気ままな自転車走行には再々危険を感じています。法律の強化、罰則を厳しくして欲しいです（老人は死につながる事も多いので、どうか十分ご指導下さいませ様お願い申し上げます）。	女性	70歳以上	磯子地区
洋光台地区は坂が多く、歩道を自転車が無視して走行し非常に危険である。磯子警察署や学校等と協力し、歩行者が安心して歩けるようにして欲しい。また、時には区幹部、街頭に出るなどして、実態を見て欲しい。	男性	60～69歳	洋光台地区
本当に困っている時、急いでいる時はもっと早く弁護士さんに相談できるようにして欲しい。	女性	50～59歳	杉田地区
無料だからといって弁護士はとても高飛車だ。困ってきているのだからもっと親切にわかりやすく話すように教育して欲しいものです。	女性	40～49歳	洋光台地区
歩きタバコ禁止を実施して欲しい。	女性	30～39歳	杉田地区
歩行禁煙の推進。	男性	60～69歳	洋光台地区
杉田など、居酒屋が並ぶ地区の治安が悪いので、警察と連携して対策をとって欲しい。	男性	20～29歳	上笹下地区
更に安全な地域づくりを推進して欲しい。	男性	60～69歳	杉田地区
最近、磯子区内で泥棒や空き巣の被害をよく耳にします。治安は生活の基本であり、また治安の維持は「民」では、なかなか行えず、「官」に期待するところが大きいです。区内の文化振興は区民だけでも行えるものなので、区役所には犯罪の抑制や防災に重点を置いて施策を行って頂く事を希望しています。できれば、交番を増やしたり、夕方のパトロールなどの回数も増やして欲しいです。	男性	30～39歳	屏風ヶ浦地区
近年、犯罪増加しているので、警察等と協力して防犯運動に力を入れるべきだと思います。	男性	20～29歳	洋光台地区
小中学校での安全と、校外での事故、犯罪防止。	男性	50～59歳	洋光台地区
犯罪ゼロの街づくり。災害時には広域の海岸沿い工業地帯隣接のため、十分な対策を備え、災害にあつても住民に不安を与えないよう配慮が欲しい。	女性	50～59歳	磯子地区
防犯対策の具体化。	男性	60～69歳	磯子地区
防犯対策のため、街灯を明るくする。	女性	20～29歳	屏風ヶ浦地区
災害時の安全対策のPR不足。	女性	50～59歳	磯子地区
最近関東にも地震が多いため、災害についても多くの活動をして欲しい。	男性	30～39歳	上笹下地区
区のサービスについて、行政サービスが便利になるとそれを使った犯罪が出る。区の発行するものは信頼性が重要だと思います。	男性	60～69歳	杉田地区
先日、磯子警察の「防犯のつどい」がありました。あのような講座を町の役員だけでなく一般市民にも開催したらいいと思う。今月は森町内、岡村、杉田、というようにすれば公会堂にも入れますし、杉田方面でしたら杉田劇場を使用しても良いのでは。足元が暗いとお年よりは出席できないので。でも一番伝えたいのは、自分の家庭は自分で守ってほしいということです。電灯の設置が無いとかどこかの町内の方が言っていました。私が一軒家でしたら自分の家なのですから、自分でつけますね。補助金が必要とか言っているから市民税が少なくなるのです。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
ロケット花火を禁止して欲しい（公園の近所の人はビクビクしている）。	男性	60～69歳	滝頭地区
違法駐車や駐輪は、防犯上取締り強化して欲しい。	女性	50～59歳	杉田地区
杉田の再開発ビル周辺の路上駐車が迷惑（ビルの駐車料金がいため路上駐車するのは？）	女性	20～29歳	屏風ヶ浦地区
常態化している違法駐車。犯罪と交通事故のもと。（例）北公園（洋光台）と小学校側のセブンイレブン前。	女性	50～59歳	洋光台地区
センター利用者で違法駐車が多数。センター職員のパトロール願います。	女性	70歳以上	上笹下地区
ハードウェアやシステム指向ではなく、生き生きした区民作りを。それには「一言あいさつ運動」等を提言します。事業のうち、特に(22)(30)(35)(51)等々は全く必要ないと考えます。それよりも、区役所など、関連する人々が人にあつたら一言あいさつをする運動をしてはいいか。ニューヨーク市がその昔、落書きを消す運動から治安を回復したように。「あいさつ運動」も広まれば治安に役立ちます。	男性	60～69歳	根岸地区

その他の意見／財政

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
区は、国同様大赤字なのだから、サービスや便利もありがたいが、まず赤字を少しでも減らして欲しい。余裕が無いのだから、体の不自由な方や自分で情報を探索できない方には力添えが必要だけれど、自分から探したり、相談できる方には、窓口やインターネットで案内して、人件費や冊子などを少なくするべきだと思う。とにかく赤字はイヤだ。	女性	30～39歳	根岸地区
金持ちからもっとしっかりと何でもとって欲しい。貧乏人から何でも金を取る魂胆です。	女性	50～59歳	無回答
森は坂道、狭い道が多いので救急車を便利に使っているお年寄りがいます。足を痛めたぐらいで使用するのは問題です。タクシーを呼べばいいと思います。救急車（出動）にも少し負担したらどうでしょう。市の税金を有効に使ってほしい。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
区としての行政改革を進めること（問5と関連）（含人件費の削減）。残念ながら、この種の情報は全く聞こえてこない。	男性	70歳以上	洋光台地区
区政運営についてという難しいのですが、単純に、一寸ムダがあると感じます。お知らせなど（年金とか保険料の請求書など）、もったいないと思う事があります。一人一人の認識が大切とも思うのですが。	女性	50～59歳	杉田地区
さらなるコスト削減につとめてもらいたいです。	女性	30～39歳	磯子地区
娯楽施設など、必ず必要ではないものに経費を使いすぎるのはやめて欲しい。	女性	20～29歳	磯子地区
ほとんど利用していない。経費節減を徹底してください。	男性	60～69歳	根岸地区
金（経費）の使うべきところには使うこと。無駄が多い。	男性	50～59歳	岡村地区
何故税金を使うことしか書いていないのか？経費節減等には一言も触れていないのは？	男性	40～49歳	杉田地区
今回のものに取組むのは良いが、どうしてこんなにお金がかかるのでしょうか（会議だけで）？もっと費用を抑えることを考えてほしい！	男性	30～39歳	岡村地区
今回のアンケート用紙にホッチキスしてありますが、ホッチキスしてある場所が2ヶ所は多い。左上1ヶ所が普通です。回答しづらかったし、針の無駄でもあり、民間企業は経費削減と社内で浸透していますが、区役所でも、無駄のないように色々工夫してやってほしいです（税金を有効に使って欲しい）。	女性	20～29歳	杉田地区
税金が使われるという強い意識を持ち、計画、立案されていって欲しい。	男性	30～39歳	滝頭地区
税金の無駄遣いのないようにしてください。	女性	60～69歳	洋光台地区
パンフレット・ポスターは数多く作りすぎていませんか。経費の無駄遣いです。経費の掛かることはやらない。	女性	60～69歳	磯子地区
サービスも良いが経費のかかることはなるべく止めてほしい。施策は役所が中心である。	男性	70歳以上	磯子地区
経費削減！省エネルギーに取り組むべき！	男性	40～49歳	岡村地区
経費を削減し、サービスを向上する。報道特集で見ましたが、ある県では助役自らトイレ掃除をしていました。	女性	20～29歳	磯子地区
経費を削減してください。	女性	20～29歳	汐見台
市長及び管理職の給与が高すぎる（一般から見）。	男性	60～69歳	磯子地区
収入確保や犯罪の減少など、簡単ではないと思いますが、柔軟に計画的な区政運営を期待しています。	女性	20～29歳	岡村地区
職員が多いのだから、各仕事の外部委託をせず、職員が直接業務にあたり税金の無駄遣いをせず、その分を福祉に回して欲しい。税収が少ないのだから、職員経費を削減すること。	男性	40～49歳	杉田地区
NPOにまかせられるものはNPOに、職員の人を1割くらい減らしても良いのではないでしょう。忙しく動いている人もいれば暇そうにして新聞等をみている人もいるので、統合をもっと進めて住民中心のサービスをして欲しい。	女性	60～69歳	洋光台地区
民間企業は現在の不況に対処すべく人件費を始め、諸経費の節減に努力しています。磯子区役所のみならず、官公庁全般は民間に比し、その努力は認められない。 （例）窓口業務に結構高給と推察される方が配属されているが、若い女子職員でよいと思われる職場もあります。	男性	70歳以上	洋光台地区
総花的に多種多様な事業を企画されていますが、少額の経費で実施するようなので、事業目的が果たせるのか心配です。	男性	50～59歳	洋光台地区
市民税、住民税の取りすぎ！	男性	60～69歳	磯子地区
年取33%減なので税金をおさえてください。	男性	40～49歳	滝頭地区
サラリーマン家庭においての税金を下げて欲しい。	女性	40～49歳	上笹下地区
地区センターの風呂の見直し。 ※区で助成カードを発行して、近隣の風呂屋を利用させたら→民間の活性化。	男性	60～69歳	滝頭地区
磯子区の歩道のタイルは全て統一すべきだと思う（経費節減につながると思う）。	男性	50～59歳	磯子地区
ムダなことはしないで。その分のお金を区民に見えるようなことで返して。無料の場を提供したり。施設が多すぎる。ケアセンター？福祉センター？違いは？いくら文章で説明しても、かたくるしい言い回しでは理解しがたい。これこそムダ。それから、このアンケート内の予算の内訳が見えないと、予算については全て高いとしか言えない。	男性	30～39歳	汐見台

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
まず職員の意識改革が必要！！とかく公務員は考え方がルーズ。まず区政の無駄を省く事が先。新たな事業でかかるお金も無駄を省いたところから出していくほうが良い。	女性	30～39歳	杉田地区
あまり総花的で何から何までやろうとすると実効があがらず、経費の無駄遣いになるのでは。	男性	70歳以上	汐見台
税金を無駄につかわないようによろしくお願いします。自治会から強制的に行かされる、あまり意味のない研修等はなくしたほうが良いと思います。	女性	40～49歳	洋光台地区
働く者にとっては、各種サービスがまだまだ受けにくい。いろいろな刊行物（印刷物）で毎年新しいものが必要なのか疑問を感じるものが地区センターにおいてあるが、無駄な印刷物のチェックをして欲しい。	男性	30～39歳	滝頭地区
「～する」といっていても、実際に目にみえて成果がないと伝わってこない。	女性	40～49歳	磯子地区

その他の意見／事業運営

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
区で働く人は、サービスという視点を忘れてはいけないと思う。自分達の都合を優先ではなくて、区民のことを優先、重要視してください。お願いします。	女性	30～39歳	滝頭地区
区民中心にスタンスを運んでもらいたい。	男性	70歳以上	根岸地区
弱者の身になって運営して欲しい。	女性	30～39歳	根岸地区
必要経費に対しての効果（成果）が見えません。したがってそれ以上意見ができません。	男性	50～59歳	滝頭地区
調査票について 重要施策項目が多すぎるような？区役所内の業務配分の関係かと思いますが、重複したような項目が多いと思います。	男性	70歳以上	洋光台地区
もっと魅力ある事業を運営して欲しい。	無回答	無回答	無回答
限られた資源による運営になるので、具体的、重点的に取り組んで下さい。比較的短期間で実効のあがる施策を重視してください。	男性	60～69歳	磯子地区
税収があるから使うのでなく、行政でなければならない、恒久的、万民的サービスを考案して欲しい。国民の自立心を阻害する助成、支援策がありすぎる。	男性	60～69歳	杉田地区
利用すれば便利なサービスは多々あるのかもしれないが、区の施設を普段利用しない人はきっと何も知らないと思う。区民自身が動き出さなければ活用できないというシステムではなく、より身近に開かれたサービス、施策を実施して欲しいと思う。	女性	20～29歳	杉田地区
以前よりははずっとサービスは向上しましたが、これから一層区役所を訪れる人の立場で考えて欲しいです。よろしく願いいたします。	女性	50～59歳	磯子地区
極力テーマを絞って重点施策を目に見えて達成していく。それが終わったら次というように。ダラダラとマンネリ化するのを防ぐ。	男性	70歳以上	磯子地区
一つ計画してもアフターサービスが無いので考えて欲しい。持続する事も大事。	女性	70歳以上	磯子地区
必要なことと不必要なことを先に考えて行動して欲しいです。	男性	20～29歳	岡村地区
限られた予算と人員の中での計画を増やすよりも、質（人間、内容）を高めるしかないコンパクトな運営を目指して欲しい。	女性	60～69歳	上笹下地区
区民のために区政をしていただきたい。	男性	40～49歳	岡村地区
人に優しい町作りをお願いします。	男性	70歳以上	杉田地区
進め方を考慮してみてはいかがでしょうか。	男性	70歳以上	杉田地区
高齢者、幼児、児童への取り組みはもちろんのこと、私たち30～40代の中間層へも目を向けた区政をお願いします。	女性	40～49歳	上笹下地区
これからは、ますます新しい問題が区民の生活上にも起こってくると思われます。したがって、区政は新しい問題には迅速に判断して処理する事が、特に求められるようになります。既存の業務はできるだけ、外部に依託でなく、外部業者が事業として成り立つようにまとめて放出し、本来的な区民の福祉、安全に精力して欲しいと思います。既存の委員会、協会、自治会費の助成金、補助政策は、順次改変していく必要があるでしょう。	女性	60～69歳	洋光台地区
高齢者に優しい区政を！	男性	60～69歳	洋光台地区
重要問題は時間がかかっても着実に積み上げて結果として完成度の高いものにして欲しい（災害、防犯等）。他の区より立ち遅れている問題でも、突出した形でやらないので、地味ではあるが確実な一歩を。	男性	70歳以上	洋光台地区
区内の自治町内会やイベントについても派手さを抑えて確実に地域に根付かせる。			
サービス・事業の内容について、重要か重要でないかといえば、どれも重要だとは思いますが、それらが実際にどれだけの結果、効果を生んでいるのか。また経費をもっと削ることはできないのかという事を厳しく振り返り、改善を継続して行って欲しい。一例を挙げると、アンケートの2-12「プライバシー保護のためついたてを設置」というものがあるが、当然重要なことではあるが、本当に20万もかかるのか。他の事業についても、どれだけ効果があったのか知らないため、なんとも言えないが、重要性と共に効率性、費用対効果等検討して欲しい。	男性	30～39歳	洋光台地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
磯子区に転居して数年である。いままで区政運営にはぜんぜん目がむかなかった。40代、50代の人々が直接参加できるような機会があることを望む。	男性	60～69歳	杉田地区
サービス（365日開庁）など、何でも話題となる区政があるといい。日本一を作って欲しい。	男性	20～29歳	洋光台地区
区域の行事にしても、一部の人が活動し、その人達だけが恩恵を受けているように感じる。	女性	40～49歳	上笹下地区
本当に必要なものにはお金をかけてもよいが、むやみに理由をつけてお金をかけるのには反対。少子化、高齢化、犯罪化が進む中、本当に暮らしやすい町づくりに力を入れて欲しいと思う。まずは話し合いが大切なのでは…。	女性	30～39歳	洋光台地区
社会を安全で明るく住みよい町にするため、本気になって子供を非行防止犯罪から守るため、教育区政を設けたらいかか（半義務化、IT講習以上に）。1. 心の教育、2. 子育て・育児講座、3. 青少年の社会講座、4. 成人の社会講座。	男性	70歳以上	汐見台
区が中心となって決めるべき事柄を決めずにこのようなアンケート形式で、他に責任を転嫁していると思います。自ら、サービスを考えていれば、もっと早い対応ができるはずです。民間では信じられないことですね。区内の“サービス教育”を民間またはNPOから学ぶ教育が必要です。	男性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
これだけ多種の難題を完璧にこなすのは不可能。各事案、一点でいいから目に見える形で改善して欲しい。中田市長のゴミ30%↓のように分かりやすく、何事もスピードアップ。善良な市民、区民はたくさんいるはず。皆がもう少し自信・意識を持ち、若手に手本を見せれば、犯罪なども減るはず。犯罪や各種マイナス面の出費が減れば、他に予算が使える。若者が希望の持てる社会であって欲しい。	男性	60～69歳	磯子地区
情報提供に工夫が必要かと思う。来庁した区民が「区役所職員一人一人が磯子のために一生懸命努力してくださっている」ことがわかるような区役所作りが根本。地域、家庭、一人一人の声を大事に。	女性	50～59歳	磯子地区
行政が民間並みのサービス追及をすべきだなどの意見もあり、効率化や合理化を行うのは良いと思うが、役所としてそのようにしていくも、本来役所が持つ公平さや透明性が失われ、弱者といわれる高齢者がないがしろにされるのでは。インターネットでの情報伝達等、老人がどれほど使えるのか。むしろ今以上にこれからは人と人のつながりを強めることで災害や高齢化社会に強く立ち向かえたいと思います。	男性	50～59歳	滝頭地区
区民一人一人にもっと目を向けて欲しい。特に力の弱いものを言えないような人にも温かい心を注いでください。何でも強く発言できる人や、常連の人ばかりでなく、ひっそりと生きている老人、弱者にも気を配って平等に安心して生活できる磯子区にしてくださいを望みます。	女性	50～59歳	洋光台地区
まずは進むべき目的が一番重要だと思います。人にとって本当の幸福とは何か、人の本当のあり方とは、という人にとって最も大切なことを置き去って、今の教育はあるものと思います。教育は人づくりであり、区政も国も人が支えていくものですから、人を育む、人にとって最も大切なことに目を向ける事が一番重要だと思います。区政の目的も国の目的も人が本当に幸せに暮らせることにあると思います。人にとって本当の幸せとは何かここに目を向けるべきだと思います。決して金持ちになることや出世、競争社会に勝ち抜くことに人の本当の幸せがないことは言うまでもありません。また、磯子はとても住みよい町と感じます。いつもありがとうございます。	男性	30～39歳	屏風ヶ浦地区

その他の意見／情報管理・サービスの担い手

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
住民基本台帳の公開は、個人情報保護法ができた以上、速やかに停止すべきだと思う。	男性	60～69歳	屏風ヶ浦地区
ダイレクトメールのために個人情報等の開示は是非止めてほしい。本人や家族が何か必要なときに、何か足りないものがあるとチェックは厳しいのに、業者にはどうして簡単に教えてしまうのでしょうか。	女性	40～49歳	上笹下地区
情報が『金』になる現代社会です。公の種々な意志決定にあたって、当然調査費用も必要ははずです。その辺は区役所に於いてはどうなっているのでしょうか。倫理・道徳の崩壊した今の世の中で、私自身もひどい“いじめ”にあっています。公務員が『志』をなくしたら単なる就職先になってしまいます。今、悪の知恵は恐ろしいほど発達しています。役所に出入する情報源（情報屋、コンピュータウイルスも）はうそをついていませんか？チェックするシステムはありますか？有効ですか？	男性	60～69歳	滝頭地区
平成15年に抄本取りに行った時、名前間違いに家に帰って気がつき、再度行った行くどびっくりされて、くずかごに捨てられた。カットして捨てて欲しかったです。（後でカット）されるのでしょうか？それと、16年の2月にも同じ事がありました。気を付けて欲しいですね。	女性	60～69歳	屏風ヶ浦地区
区が委嘱している友愛活動推進員というのがあります。この実質的効果は極めて疑問です。長年推進員を務め、だが具体的な活動は何もせず、集まりではボス然とふるまい、合議体を運営する能力もなく、雑談に終始し、推進どころか阻害要因となっている人がなんと多いことか。区民に役割を委嘱して進める事業は区民の意識の問題でもあり、なかなかむずかしいと思いますが、他にも委嘱された人間が集まりや会議にでるだけにとどまり、区民に実質的効果が及んでいないケースが多々あるようです。こういうのは多少でも予算措置を伴うものではないから、地域から均等に人間を出すのはやめ、思い切って整理し、NPOの支援などに向けたほうが有効なのではないでしょうか？	男性	70歳以上	洋光台地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
NPO等ともっと協力しながら、意見を広く求めて進めて欲しい。民生委員、〇〇委員、自治会などとの協力では不十分（機能していると思わない）。1日体制ではなく、NPOなどと共同作業を進めるべき（まかせない）。	女性	50～59歳	磯子地区
2. A、B、Cの記入について すべて、区が判断処置すべきかと思えます。	男性	70歳以上	洋光台地区
最近では安易にNPOなどの考えもあるから、NPOから資金稼ぎ団体になっていることも多いので、区主体指導を、大変だと思うが考えて欲しい。手に余る時は、町内会、自治会などにも協力を求める。そのためには区指導で町内会、自治会の役員なども若返りを図るなど、もっと積極的に働きかけて欲しい。	女性	50～59歳	磯子地区
民間が主体になると個人の意志に委ねられる部分が大きくなり、よい企画も十分な成果、結果を得られないことが多いように思います。役所としての指導力を発揮して、個人が負うべき責任・義務を明確に示し、導いていただきたいとします。	女性	50～59歳	上笹下地区
古くからある制度（青指、体指、民生委、保険委など）のあり方が、予算を掛けているにも関わらず、失礼ですがマンネリ化してしまい、せつかくの委員さん達の苦勞が活かされていないのではという気がします。思い切った改革でもっと生きたものにして欲しいです。	女性	40～49歳	滝頭地区
さらに、ハードの面（整備等）は民間では難しいと思いますが、ソフトの面に関しては、ほとんど民間等で行えると思います。	男性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
思い切ったNPO・民間企業活用を図る。	男性	70歳以上	磯子地区
民間事業所ができることは民間にやらせたほうが良いと思います。	女性	50～59歳	滝頭地区
サービス・公報・講習会は、民間企業に任せる。	男性	40～49歳	屏風ヶ浦地区
サービスを進める機関については勉強不足で答えられません。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区

その他の意見／職員・職員の意識

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
職員の方の勤務評定をつけるべきです（職員によっては首切りも考えてください）。中には、とても態度の悪い方がいます。言葉だけ丁寧に、人をバカにしたような事をおっしゃる方をなんとかして欲しいです。まるで「私は女王様なんだから、ひざまづかないと延長保育をとらせてあげないからね！」みたいな感じです。	女性	30～39歳	根岸地区
私の知らないところ、場所で活動している事が多く、区政全てを理解するのは困難です。区政も大事だけど、区役所の人員の見直しも一緒にして欲しい。「しよせん役所だから」といわれないような人員を育てて欲しい。すばらしい人員からはすばらしいアイデアが出るものと思います。	女性	20～29歳	屏風ヶ浦地区
年代的に区役所を一番利用しない時期。将来的には職員の専門的知識に支えられた信頼度かな。	男性	60～69歳	杉田地区
区役所職員の窓口対応は丁寧に（民間を参考に）。	男性	50～59歳	磯子地区
区役所に行くと職員が暇そうに働いている姿が見られる。仕事の波があるのかもしれないけど、人手が余っているように思う。男性職員の接客態度が悪いように思う。	女性	30～39歳	上笹下地区
総体的に職員の生産性が低い感じがする。人件費をできる限り抑えてごく一部の意見に感わされずに支出を少なくすべきだ。	男性	60～69歳	洋光台地区
以前は窓口の人の態度があまりにも悪く、問い合わせをするのも嫌でしたが、先日とても感じがよく、たとえ混雑していても気持ちよく帰れました。	女性	30～39歳	洋光台地区
勤務時間終了時刻に玄関から出てきたり、終了間際に電話した時、翌日かけなおせという対応は良いのですか？公務員という字をもう一度見て考えてください。給与が安定しているから働いている、というのであればすぐに辞めてください。	男性	30～39歳	岡村地区
各窓口の職員皆さんのご親切な対応は大変ありがたいと思います。ただ、昼の時間帯などで、担当でない方が対応される場合、若干手間取りがありますので、もう少し工夫いただければと思います。	男性	70歳以上	磯子地区
区庁舎内の職員の対応は大変良いと思います。心がけは職員自身の生活が豊かになると思います。	男性	70歳以上	杉田地区
電話での対応が悪すぎる。	女性	50～59歳	杉田地区
数年前から区役所の方々のサービス向上に対する姿勢が見受けられます。今後とも、区民に優しい区役所であってください。	女性	30～39歳	屏風ヶ浦地区
現在の区長さんは区政改革を推進している方であることを区民として誇りに思います。今後も区役所内の無駄を省き区民のために取り組んでいくことをお願いいたします。もちろん、職員の皆様の努力も希望します。	男性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
仕事でのお茶、大変気になります。	女性	60～69歳	杉田地区
最近の区役所スタッフの方々の対応姿勢はとてもソフトになったと実感しています。行政に関する区民の良きアドバイザーとして、また、区民が安心して生活設計を作れるコンサルタントであって欲しいと願います。	男性	40～49歳	磯子地区
現在区役所の職員が一つになっていますか。係によって人の関係が違ってくるように見えるが。	男性	60～69歳	洋光台地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
まだ始まったばかりの取組に関心を持って見守っているところです。各所で区長や職員の方々をお見かけし、その努力を感じています。	女性	60～69歳	洋光台地区
まずは役所の内部を見直してください。「お客様のご都合に～心をこめたサービスを提供します」とありますが、従来はこの逆だったのでしょうか。役所の都合に合わせられ、心をこめない杓子定規なサービスを受けさせられたのでしょうか！笑顔のない窓口で、本当にウンザリしたものです。忙しそうにしている人と暇そうな人の二極化では困ります。 「いつでもゆったりサービス」などといわないで効率的な仕事をしてください。暇な部署は配置人員を考えると！仕事に関係ないおしゃべり厳禁！緊張感のない職場ではダメです。言葉使いも丁寧にし、早口のひとりよがりはやめてください。特に、高齢者への言葉使いに一考を要します。幼児言葉で話すのはなぜですか？聞いていて腹が立ちます。	女性	50～59歳	上笹下地区
区役所で働いている人が業務の理解度を深めて、人から人へのたらいまわしを止めていただきたい。	女性	60～69歳	洋光台地区
役所の窓口対応を笑顔で！！	女性	60～69歳	杉田地区
年に数回区役所へ行きますが、皆さん親切に対応してくださるのでホッとします。電話での対応も親切です。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
文面でかかげる言葉は立派です。しかし少なくともみんなの税金で仕事している職員の態度が悪い！緩慢、横柄。教育のし直しを！まずはそのほうが重要。特に磯子区役所本庁職員に多い…。	女性	60～69歳	上笹下地区
以前、子供のことで問い合わせをした際、ものすごく対応が悪く、腹が立ってしまった。こちらはわからないから聞いているのに、面倒臭そうな対応をされた。電話は顔が見えないものなので、もっと話し方に気をつけてください。その点、税金の係の人は時間外だったにも関わらず、とても丁寧な対応をしてください。	女性	20～29歳	根岸地区
地域へ足を運ぶ姿勢が徹底した、してきたことを評価したい。課長、係長、係員が懇談会等で席を同じくして、ともに意見交換をする場を確保する事は大事。協働の原点です。始まりです。	男性	60～69歳	屏風ヶ浦地区
窓口業務は笑顔が一番です。	男性	50～59歳	上笹下地区
年末調整の説明窓口の職員（特に年配の男性）、もう少し親切に対応してもらいたい。	女性	60～69歳	滝頭地区
施設等の苦情に対する対応の悪さが目立つ。区民として望んでいる事に対する考え方に差がある。区民側の苦情に対して、もっと考えて欲しい。	女性	20～29歳	根岸地区
建物が新しくなったこともあるが、明るくなり、これに伴い窓口もずいぶん明るくなったので、気持ちがよくなった。	男性	70歳以上	磯子地区
〇〇様と呼ばなくて良い。〇〇さんの方が親しみやすいように思います。半年前に息子の転勤のため、転出届を取り、ついでに送付しようと売店で切手を買ひ、のり（封をするため）を借りようとした時の事、売店の方はニコニコ顔で「悪いわね～のりは受付で」と言われ、受付に行き、私「すみません、のりをお借りしたいのですが」、受付「・・・」無言、私「ありがとうございました」、受付「・・・」一言も発さず。このような事があり、本当に何処までサービス向上に努めているのか疑問です。〇〇様でなく、笑顔の対応が大切ではないでしょうか。	女性	60～69歳	杉田地区
磯子公会堂の受付窓口の人の対応の悪さ。もっと親切に口がきけないものか。利用者にな備があったら分かるように説明すべきで、頭から怒鳴るような言い方は不愉快になる。	女性	70歳以上	根岸地区
市役所（本庁）、区役所の職員の人数が多すぎると思う。椅子に座っていて、仕事をしていない人が多い様に見える。民間会社では絶対がない。	男性	40～49歳	杉田地区
受付でたらい回しにされた。区役所内のどこで、どのような業務が行われているか把握していないのはおかしいと思います。	女性	20～29歳	磯子地区
窓口に向く度に感じるが、職員の方々が時間を持て余している様に思える。もっと、職員の数減らしてもいいと思う。お役所的な部分（接客）を強く感じる。	男性	30～39歳	岡村地区
区役所の各窓口の方の対応が悪く、民間と比較するとレベルが低いので、研修会を開催し再教育されることを希望します。	男性	50～59歳	洋光台地区
区役所の呼び出し、〇〇さんでよい。	女性	60～69歳	汐見台
書類のことでまごまごしていると、親切に教えてくれるので助かります。母の介護で福祉課にとっても親切にいただきました。	女性	60～69歳	汐見台
弱い人には強くでて、考えも変えないし、はっきり自分の意見を言う人には、やわらかくでる（でている）。このような姿勢を変えて欲しい。	女性	60～69歳	洋光台地区
窓口の対応が悪い。ぶっきらぼうな言い方をしたり、分からないから聞くと、だるそうな言い方をする。まだ終わっていないと思って待っていたら「もう帰っていいですよ」とか言われ、あまり行かない区役所だけど、私は嫌な思いしかししないので、最近は全く行っていない。行政センターのほうが対応は良いです。分からない人もたくさんいると思う。だからなおさら、説明etcは必要なものだと思います。	女性	20～29歳	洋光台地区
職員の対応が感じが悪い。やめて欲しい。	女性	30～39歳	屏風ヶ浦地区
年金課、社会保険課など、電話してもいつも不親切なあいまいな答えが返ってくる。区役所に向くと、どの課も奥の人達は仕事をしていない。話ばかりしている。住民票証明の窓口には親切な人が多いが、どの課でも職員はぼーっとしている人が多い。区政運営などできるのか心配だ。	女性	60～69歳	岡村地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
区役所に行くといつも思うのですが、職員の方々は日々、自分自身仕事に対してまじめに取り組まれていますか？まだまだやっぱりお役所的な部分が見られます。課によっては“ヒマ”な所もあるでしょう。とりあえず言われた事をやっていたら良いのではなく、新しいものに職員自身が目を向けないと、いつまでたっても変化はないでしょうし、“区役所に言っても何にもならない”と区民に冷たく見られる。職員の皆さん全てがそういう人たちばかりではないと思いますが、がんばってください。	女性	30～39歳	杉田地区
自分の直接担当でないことでも誠意を持って対応してほしい。銀行の窓口を見習ってください。	女性	40～49歳	磯子地区
新杉田行政サービスが早くてよい。	男性	40～49歳	滝頭地区
区役所の仕事はサービス業であるということをわきまえていただきたい。	女性	40～49歳	屏風ヶ浦地区
区政運営とは多少違いますが、磯子区に住んで不便な点は、区役所、警察署、消防署が同地区に無いことである。一考を要す。	男性	30～39歳	洋光台地区
区役所のエスカレーターは人が乗らない時は止める（屏風浦駅の様に）。	男性	50～59歳	磯子地区
磯子区社会福祉協議会が区役所とはなれて磯子センター内にあるのはとても不便で	男性	60～69歳	屏風ヶ浦地区
税務署が総合庁舎の中にあると便利です。税務署まで行くのが大変です。	男性	70歳以上	滝頭地区

その他の意見／住民の意識

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
住民との一体感が多い。	男性	30～39歳	洋光台地区
まだまだ風通しが良くない！！ような気がする。	男性	60～69歳	磯子地区
住居が磯子区と港南区の境にある森が丘であり、仕事場も港南区にあるため、磯子区中心部（区役所などがある地域）へ行くことは必要な書類を取りに行く以外はない。バスの便も悪いので、もっぱら港南区（上大岡付近）を利用し、港南区の方が身近に感じている。利用者の事を考えた区の分割を考えてもらいたい。今回の調査とはあまり関係ないが、何かの折に検討をお願いしたい。よって、区の運営にあたって、情報は町内会の回覧板、広報ではあるが、身近に感じる事ができず、区の催し物なども開かれているが、交通の便などを考えるとなかなか参加する気持ちにはなれない。磯子区に住んでいるが充分に関心が持てていないことが、アンケートを答えながら感じました。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
洋光台に住んでいるが、この地区には区の施設はないし（コミュニティースクールなども小学校内は中心からはなれている）、ほとんど区を意識する事はないように思う。	女性	50～59歳	洋光台地区
区役所へ行っても自分の生活に関係している重要な部門（相談しよう、行けば安心できる…）という気にならぬ。遠いところ。	女性	50～59歳	屏風ヶ浦地区
全ての人が満足することはありえない。どんなにお金をかけ、サービスを提供しても受け手の質が低ければ活用できない。	女性	60～69歳	洋光台地区
大方の事が私のところには関係してきている実感が無いので答えることができません（良いか悪いかも含めて）。ひょっとしたら行政だけが動いていて、ほとんどの市民は無関心なのではないですか。	男性	50～59歳	上笹下地区
小さな政府と同じで、県・市・区は小さな行政でよいが、イニシアティブを行政で取ればもっと小さくても済むと思う（人数とか）。これからは私たちも少々不便でも我慢しなければいけないと思います。なんでも行政頼みではなく、できることは自分で！	女性	50～59歳	滝頭地区
事業内容がすばらしい。また、これではなんでもかんでも行政に頼りすぎないか。子供、高齢者（75歳以上）、障害者には手厚く、一般区民には少し厳しいぐらいがよいと思う（人は苦勞して生きるために働き、努力する）。ルールを守りながら。	男性	60～69歳	屏風ヶ浦地区

その他の意見／まちづくり関連

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
区内は交通インフラが全く整備不足なので、実際区役所に行くだけでも、バスの時間によっては、1時間くらいかかる事もあった。区政だけで解決できる問題では無いが、地上に街が出来上がっている以上、コストはかかっても地下鉄建設を、区民（市民）の足として早急にしてもらいたい。区内には鉄道空白地区が余りにも多すぎる。新杉田が磯子区を中心である。第2の上大岡のように、良い発展をしてもらいたい。シーサイドラインを新杉田から汐見台を経て上大岡まで延長できないか。磯子区民の足として、区が動いて欲しい。	男性	30～39歳	屏風ヶ浦地区
磯子駅前の商業集積を高めるため、民間企業と再開発のプラン作りをしてもらいたい。	男性	40～49歳	磯子地区
マンションの高さ統一（人口減のため11階位迄）。	男性	50～59歳	磯子地区
公道と区別がつかない私道に、助成金か1.7幅制限等規制する案内板を設置する等の策があるとよいです。	女性	30～39歳	磯子地区
駐車場を多くして欲しい。急いでいる時は特に思う。	男性	60～69歳	磯子地区
番地表示板の設置。	女性	60～69歳	上笹下地区
バス停の整備。	女性	60～69歳	上笹下地区
短時間駐車できる場所を作って欲しい（無料で）。	男性	60～69歳	滝頭地区
区政運営に関連するかわからないが、街全体が淋しい気がする。商店街などがあって活性化（？）するのいいと思う（磯子駅周辺について）。	女性	30～39歳	屏風ヶ浦地区
森が丘地区から、磯子区役所、警察署への交通の便が悪いので、バス運行と直通バスの増加、時刻表の配布も実現させて欲しい。	男性	70歳以上	屏風ヶ浦地区
磯子駅の歩道橋を含めて、周辺の色調の調和（グレイ、ベージュ等）を図り、店舗等に協力を要請する。雑然さが目に余る。	女性	50～59歳	磯子地区
ガードレールについては屏風ヶ浦駅から汐見台トンネルへの道にあるあの種類がとても良い。白い、柱の太い、鉄板のガードレールは汚らしい。	女性	50～59歳	磯子地区
磯子駅より新杉田や洋光台の方がお店が多く、にぎやかなのはちょっと淋しい。磯子駅ももっと魅力的にならないと住民が減る一方だと思う。頑張ってください。	男性	30～39歳	磯子地区
洋光台3丁目公園附近の道路が最近補修され（U字溝も）、感謝しておりますが、それもつかの間の喜びで、今度は水道管の交換で見苦しくなっていました。順番を入れかえて工事を行えばよかったのではないかと、再考をお願いします。	男性	70歳以上	洋光台地区
洋光台駅から磯子駅行きの直行便のバスを日中（9時～16時）、1時間に1回以上運行するようお願いします。	男性	70歳以上	洋光台地区
区役所、図書館等へのアクセスが不便（上中里地区、杉田8、9丁目地区等）→道路整備を長期計画視野に始動して欲しい。	女性	70歳以上	杉田地区
当洋光台地区は、高層・低層の区分が明確で整然とした雰囲気街並みを醸しています。ところが最近住人が高齢化して地区外へ転居し、開発業者が買い取って「分割売却」することにより、過小宅地が増え緑も減少、その結果均質で良好な住環境が悪化するのではと危惧するところですが、今のところは、かろうじて建蔽率、容積率、高度地区の制約に助けられておりますが、いずれこれも緩和されて無秩序化し崩壊するのではないかと危惧しているところです（最近容積率もなし崩しの兆しがみられます）。	男性	70歳以上	洋光台地区
建築課が統合されて遠くに行って久しいのですが、やはり私達の身近にいてくれてこそ頼りになります。区長の権限の手が一つ減った感が否めません。	男性	40～49歳	汐見台
磯子駅周りが、区役所、プリンスホテル等あるわりには非常に貧弱に感じられます。再開発が必要では？	男性	40～49歳	汐見台
八幡橋近辺の施設への車でアクセスが非常にしづらと思います。検討してください。	男性	40～49歳	汐見台
住宅地域内通路の整備（側溝蓋・個人占有など）。	男性	70歳以上	岡村地区
最近、杉田方面はかなり活性化しているから、磯子駅から根岸にかけて沈下していく感がぬぐえない。区役所周辺のみでなく、根岸にかけても明るく活発な感じが出るようにして欲しい。	女性	50～59歳	磯子地区
小さな生活道路の整備。	女性	60～69歳	磯子地区
環境が悪すぎる。都市計画がなっていない。 ①部屋のリフォーム業者が毎日のように来て、体感していったことは、ここ（磯子区）は人間の住む町ではないねと断言された。 ②不動産屋（横浜全域）から、ここは横浜市の中では最低の区だねと言われた。 ③子供達もここには住みたいとは思わないと言っている。磯子区民でたくさんの方が磯子区を引っ越すと言っています。 ④工業中心の人間をおきざりにしている区に魅力を感じない。	男性	50～59歳	根岸地区
ビル、マンションの高層化により、圧迫感があるため、建築の制限、整備に力を入れて欲しい。	女性	40～49歳	磯子地区
磯子区は不便すぎる。以前は戸塚に住んでいたが、商店街を含め、暮らしやすかった。	男性	30～39歳	磯子地区
磯子区には大きな本屋やレコード屋がない。図書館も本の数が少ない。もう少し何とかならないか。	男性	30～39歳	磯子地区

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
今は特に夏なので全体の風紀が乱れていると感じます。改造車や、改造した原付自転車なども良く見かけます。騒音にストレスを感じるときもあります。区役所もただ原付のナンバープレートを渡すのではなく、警察や陸運局と連携して対策していただきたいです。	男性	30～39歳	杉田地区
人に優しい町の1つの柱は各自が近隣騒音を出さないよう常識ある生活を貫くよう区民に働きかけることである（常識のわからない人間が最近非常に目につくため）。例えば小さい音も続くと騒音になること。	男性	50～59歳	根岸地区
風向き等により、たまに悪臭がひどくすることがあるので、原因調査し、是正してください。	男性	40～49歳	汐見台
日清の工場の排気から出てくる臭い（豆を炒ったような…）がたまらないので、日清と協議し、対策を立てて欲しい。	男性	60～69歳	磯子地区
住宅問題。	男性	60～69歳	岡村地区

その他の意見／評価・期待、その他の意見

記述内容	性別	年齢階層	居住地区
現在は昼休み時間に行っても受付していただけるのでとても感謝しております。これからは市民のための区役所としてサービスを向上させてください。	女性	70歳以上	滝頭地区
転居して2年になりますが、磯子区の市民に対する取り組みには、今までには感じていなかったものが多くあり、積極的に利用させていただいております。これからは区と地域が一つになって良いと思うことは沢山取り入れて欲しいです。	女性	50～59歳	磯子地区
改革の姿勢には共感します。うまく軌道に乗って活性化して欲しいです。	女性	40～49歳	滝頭地区
国の方針にとらわれない取り組みを希望します。（国の方針だからと拒否されることがある）。本調査は極めて有意義ですね。おかげで意識が高まりました。区政の今後に期待します。	男性	70歳以上	杉田地区
他の区より、より良い区である。環境が良い。交通の便が良い。	男性	70歳以上	杉田地区
区政改革の推進を大いに期待しています。今後それが実行されているのか、しっかり見守って行きたいと思えます。	女性	50～59歳	洋光台地区
磯子区のサービスは比較的良いと感じています。	男性	40～49歳	汐見台
今の市長はG-30とかマスコミを利用しパフォーマンスを行う。国政に出る足がかりをしている。許せない。	男性	60～69歳	磯子地区
（意見や要望について）市長の手紙にも出す予定でした！	男性	60～69歳	磯子地区
中田市政になって4年目、市政改革が報道されていますが実態悪い（中田はパフォーマンスで中身ない）。敬老バスの有料化、入院時食事代廃止、中田市政に反対した人員は上に上げない、民営化公的責任の後退。	男性	70歳以上	洋光台地区
源泉課税は数年に一度でよい。	男性	30～39歳	根岸地区
税金に関してですが、会社から自己負担に変わった際の手続きがわかりにくかったのと、その逆で、自己から会社になった時も、市民税のみが解約されず、1年間自分で払い続けた事があります。その辺の連絡、サポートがもっとわかりやすければ良いのと思った事があります。今後のためにもよろしく願いいたします。	女性	20～29歳	磯子地区
各種証明書の印紙が高い。 ※年月を経て高くなっている。どのように決めているのか？証明書に印紙が張り付いていない。どうしてか？	男性	60～69歳	滝頭地区
公会堂、会議室等の利用度 ※役所関係が優先して、市民（区民）が置き去りになっていないか。また、決まった団体が優先独占していないか？	男性	60～69歳	滝頭地区
成人の日に成人された人たちに、年金や保険の説明講習会を分かりやすく短時間で行ってくれたら、大人としての自覚が増し、ニートが減ると思う。	男性	20～29歳	滝頭地区

平成17年度 磯子区民意識調査（調査票）

このアンケートは、磯子区在住の20歳以上の区民の方々の中から無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。

ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。

ご回答いただいた調査票は、お手数ですが、同封いたしました**返信用封筒に入れ****て、平成17年8月10日（水）までに投函**してください（切手及び記名は不要です）。

ご記入にあたって

- ◆封筒の宛先にお名前を書かせていただいた方**ご本人がご記入**ください。
- ◆ご回答は、区役所サービスの実際の利用の有無に関わらず、すべての質問について、**住民として費用を負担している立場から**お答えください。
- ◆質問には、回答にある番号に○印を付けていただく形式、順位を回答欄に記入していただく形式、自由に意見を記入していただく形式があります。
- ◆回答にある番号に○印を付けていただく形式では、原則として**該当する番号1つに○**をつけていただきます。複数の回答が可能な質問にはその旨指示をつけてあります。質問文の指示に従ってご回答ください。「その他」に当てはまる場合には、その番号に○をつけて（ ）内に具体的にその内容をご記入ください。

※アンケートについてご不明な点やご質問がございましたら、下記までご連絡ください。

磯子区役所 総務部区政推進課企画調整係
電話 045-750-2331
電子メール is-kusei@city.yokohama.jp
担当 日比野、横田

はじめに、磯子区区政運営方針についてお伺いします

磯子区では、17年度の区政運営についての方針を作成し、それに基づいて各種施策やサービスを行っています。(内容については別紙「平成17年度磯子区区政運営方針ダイジェスト版」をご覧ください。)

問1 あなたは、区政運営方針をご存知でしたか。

- 1 よく知っていて、内容も理解している。
- 2 あることは知っていたが内容まではよく知らなかった。
- 3 あることを知らなかった。

磯子区の独自サービス・事業について区政運営方針に沿ってお伺いします

磯子区が自ら編成する予算「個性ある区づくり推進費」には次のものがあります。

- 1 **自主企画事業費**
地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するために、区役所が独自に企画する事業費
- 2 **一般事業費**
局(市役所)が定めた一定の条件のもと、地域の実情に応じて編成する経常経費(区役所事務運営経費や自治会・町内会振興経費など)
- 3 **区庁舎・区民利用施設管理費**
区庁舎や区民利用施設(地区センターなど)の管理運営のための経費

問2 磯子区の17年度「自主企画事業費」について、それぞれの重要度と、サービスや事業の担い手のあり方についてのあなたのお考えをお聞かせください。

サービス・事業内容の見方と記載例

サービス・事業の内容	重要	どちらかといえば重要	どちらかといえな	どちらかといえ重要でない	重要でない	区が中心となつて進めるべき	地域と行政との協働により進めるべき	NPOや民間企業の事業として進めるべき
1 来庁者の利便性向上を図るため、市民税・固定資産税・納税の3カ所に分かれていた区役所3階の税証明窓口を統合する改修を実施 【80万円】 区民1人当り：5円	1	②	3	4	5	Ⓐ	B	C

【経費総額】
平成17年度予算と、事業に直接従事する区職員の
人件費の合計です。

コスト指標
(事業を把握するための
ひとつの目安として掲載
しています。)

事業内容ごとに、あて
はまる数字及び英字の
両方に○を1つずつつ
けてください。



重要施策1 365日いつでもゆったりサービス

サービス・事業の内容	重要	どちらかといえば重要	どちらかといえば重要でない	重要でない	区が中心となって進めるべき	地域と行政との協働により進めるべき	事業として進めるべき	
1 来庁者の利便性向上を図るため、市民税・固定資産税・納税の3カ所に分かれていた区役所3階の税証明窓口を統合する改修を実施 【80万円】 区民1人当たり：5円	1	2	3	4	5	A	B	C
2 区民が身近なところで気軽に年金・国保などの相談ができるよう、地区センターに月1回区役所出張窓口を開設 【70万円】 区民1人当たり：5円	1	2	3	4	5	A	B	C
3 福祉保健センターの待合スペース改善のため、情報コーナー・親子コーナーを設置し、時期により一時保育サービスを実施 【120万円】 区民1人当たり：8円	1	2	3	4	5	A	B	C

重要施策2 目に見える改革と情報提供の推進

サービス・事業の内容	重要	どちらかといえば重要	どちらかといえば重要でない	重要でない	区が中心となって進めるべき	地域と行政との協働により進めるべき	事業として進めるべき	
4 区役所改革を推進するため、区の事業や業務について、区民アンケートや外部評価委員会による評価を実施 【280万円】 区民1人当たり：18円	1	2	3	4	5	A	B	C
5 区民の評価・意見を区政に反映するため、区民の生活環境や区政の現状を明らかにした「区役所白書」を発行 【540万円】 区民1人当たり：34円	1	2	3	4	5	A	B	C
6 「広報よこはま磯子区版」の発行と、今後の情報提供のあり方検討のための調査を実施 【4,530万円】 区民1人当たり：278円	1	2	3	4	5	A	B	C
7 区役所配布のチラシ類を電子化してホームページに掲載し、あわせて区役所1階に資料閲覧コーナーを整備 【270万円】 区民1人当たり：17円	1	2	3	4	5	A	B	C
8 区内の公共施設やバス路線、連絡先などを記載した「区民生活マップ」を発行 【280万円】 マップ1部当たり：138円	1	2	3	4	5	A	B	C
9 福祉保健に関する子育て情報をメールマガジンで発信 【90万円】 6歳以下区民1人当たり：83円	1	2	3	4	5	A	B	C
10 高齢者と家族が必要なサービスを適確に選択できるよう、福祉保健に関するサービスをまとめた冊子を発行 【120万円】 冊子1部当たり：230円	1	2	3	4	5	A	B	C
11 福祉保健センターの事業内容や制度についてわかりやすく説明した「福祉と保健のおたすけ電話帳」を発行・配布 【440万円】 冊子1部当たり：63円	1	2	3	4	5	A	B	C
12 来庁者のプライバシー保護のため、区役所保険年金課窓口カウンターについてを設置 【20万円】 区民1人当たり：2円	1	2	3	4	5	A	B	C

重要施策3 健康・福祉・子育てを支える基盤づくり

サービス・事業の内容	重要	どじらかといえは 重要ではない	どじらかといえは 重要ではない	どじらかといえは 重要ではない	重要でない	区が中心となって 進めるべき	地域と行政との協働 により進めるべき	NPOや民間企業の 事業として進めるべき
13 地域における福祉保健の課題を解決するため、策定委員会や地区別検討会などを行い、地域福祉保健計画を策定・公表 【1,300万円】 区民1人当り：80円	1	2	3	4	5	A	B	C
14 新たな福祉課題に対応できる体制を整えるため、民生委員・児童委員への講演会・研修会を実施 【90万円】 参加者1人当り：2,928円	1	2	3	4	5	A	B	C
15 ひとり暮らし高齢者等への見守り体制強化のため地域支えあい活動団体を支援し、あわせて医療救護隊へ研修を実施 【460万円】 1地区当り：458,540円	1	2	3	4	5	A	B	C
16 認知症（痴呆症）予防教室・介護予防教室・介護者支援のための学習会等を開催 【340万円】 対象者1人当り：3,031円	1	2	3	4	5	A	B	C
17 高齢者の生きがいのある生活を支援するため、高齢者を対象とした絵画等の作品展、スポーツ大会・演芸大会、講座を開催 【290万円】 参加者1人当り：934円	1	2	3	4	5	A	B	C
18 精神障害者生活支援センター開設に向け、事業内容の検討や講演会の開催及びボランティアの育成 【310万円】 参加者1人当り：8,686円	1	2	3	4	5	A	B	C
19 老人保健法による基本健康診査の対象外である30代の女性に対し、一時託児をもうけた健診を実施 【130万円】 受診者1人当り：8,429円	1	2	3	4	5	A	B	C
20 子育て中の親子を対象に、交流・相談・情報交換ができる「子育てひろば」を開催 【190万円】 参加者1人当り：955円	1	2	3	4	5	A	B	C
21 生き生きとした子育てができ、子育てが終わった後も健康な生活が送れるよう、育児・健康についての講座を開催 【480万円】 参加者1人当り：2,548円	1	2	3	4	5	A	B	C
22 青少年の企画立案・プレゼンテーション能力を養うため、中学生を対象に起業活動疑似体験のワークショップを開催 【330万円】 参加者1人当り：11,770円	1	2	3	4	5	A	B	C
23 青少年の健全育成のため、子ども会活動への支援や、中学生職業体験を実施する学校への支援を実施 【460万円】 参加者1人当り4,520円	1	2	3	4	5	A	B	C
24 青少年の健全育成・非行防止のため、区青少年指導員協議会が区内で行う事業を支援 【750万円】 1町内会当り：44,729円	1	2	3	4	5	A	B	C
25 福祉の担い手育成のため、中学生や高校生を対象に区社会福祉協議会が行う「福祉体験講座」を支援 【150万円】 参加者1人当り：11,522円	1	2	3	4	5	A	B	C
26 区民の健康増進・体力向上、地域スポーツの普及・振興のため、区体育指導委員連絡協議会が区内で行う事業を支援 【920万円】 1町内会当り：54,729円	1	2	3	4	5	A	B	C
27 区民のスポーツへの参加機会を促進するため、磯子区体育協会の各部門へ助成 【260万円】 参加者1人当り：379円	1	2	3	4	5	A	B	C
28 区民の健康づくりのための「健康プランニングセミナー」と、健康づくりを支援するための「健康サポーター育成研修」等を実施 【290万円】 区民1人当り：18円	1	2	3	4	5	A	B	C
29 猫に関するトラブルを減らすため、「磯子区猫の飼育ガイドライン」の普及啓発を実施 【70万円】 冊子1部当り：171円	1	2	3	4	5	A	B	C
30 区民が経済・金融に関する知識を身につけ、自らの財産を守るようにするため、講座を開催 【150万円】 参加者1人当り：6,895円	1	2	3	4	5	A	B	C

重要施策4 区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり

サービス・事業の内容	重要	どちらかといえば重要	どちらかといえば重要でない	重要でない	区が中心となって進めるべき	地域と行政との協働により進めるべき	NPOや民間企業の事業として進めるべき	
31 区民同士が教えあう「パソコン・インターネットふれあい亭」を開設し、地域でのIT化を推進し、区民の交流を促進 【530万円】 区民1人当り：33円	1	2	3	4	5	A	B	C
32 地域での様々な区民活動を活性化させるため、必要な経費を助成 【470万円】 助成1団体当り：130,373円	1	2	3	4	5	A	B	C
33 「磯子まつり」と「地区まつり健民祭」（連合町内会単位で行うスポーツイベント）の開催 【1,110万円】 参加者1人当り：244円	1	2	3	4	5	A	B	C
34 地域の芸術文化の普及・振興のため磯子区文化協会へ助成し、あわせて区民ギャラリー展示会・区民コンサートを実施 【320万円】 参加者1人当り：1,066円	1	2	3	4	5	A	B	C
35 社会の変化に伴う様々な課題や地域における身近な課題を区民が学ぶことのできる講座等を開催 【1,170万円】 参加者1人当り：1,904円	1	2	3	4	5	A	B	C
36 区民と在住外国人との交流・理解を深めるため、国際理解教室、フェスティバルや日本語講師養成講座を開催 【450万円】 参加者1人当り：5,614円	1	2	3	4	5	A	B	C

重要施策5 人に優しいまちづくりと魅力アップ

サービス・事業の内容	重要	どちらかといえば重要	どちらかといえば重要でない	重要でない	区が中心となって進めるべき	地域と行政との協働により進めるべき	NPOや民間企業の事業として進めるべき	
37 杉田五丁目の臨海部に水と緑の拠点となる緑地（公園）を整備するため、設計を実施 【890万円】 区民1人当り：55円	1	2	3	4	5	A	B	C
38 堀割川の魅力づくりのための構想検討と、堀割川に関心をもってもらうためのイベントを実施 【320万円】 区民1人当り：20円	1	2	3	4	5	A	B	C
39 19年度公開予定の「磯子・海の見える公園（仮称）」の周辺歩道を整備するため、設計を実施 【360万円】 区民1人当り：22円	1	2	3	4	5	A	B	C
40 高齢者・障害者等の外出支援のためベンチ・手すりの設置を検討し、新杉田駅周辺に歩行者誘導サインを整備 【400万円】 区民1人当り：24円	1	2	3	4	5	A	B	C
41 区の木「梅」の苗木作りや商店街と連携した「杉田梅」ブランド品作りなど、魅力あるふるさとづくりを推進 【140万円】 区民1人当り：9円	1	2	3	4	5	A	B	C
42 区内主要駅前や公共施設の花壇での花の育成や、地域ボランティアの協力による花壇づくり 【330万円】 区民1人当り：21円	1	2	3	4	5	A	B	C
43 自治会・町内会や地域の協力により、区内一斉清掃や路上違反広告物追放キャンペーンを実施 【190万円】 区民1人当り：12円	1	2	3	4	5	A	B	C
44 G30推進団体の活動（リサイクル実践教室等）支援や分別の啓発を通じ、ごみの削減・資源化を推進 【770万円】 区民1人当り：48円	1	2	3	4	5	A	B	C

重要施策6 犯罪と災害に強く安全な地域づくり

サービス・事業の内容	重要	どちらかといえば重要	どちらかといえば重要でない	重要でない	区が中心となって進めるべき	地域と行政との協働が進めるべき	NPOや民間企業の事業として進めるべき	
45 活動助成金の交付や必要な物品の配布などにより、自治会・町内会など自主的に防犯活動を行う団体を支援 【980万円】 区民1人当たり：61円	1	2	3	4	5	A	B	C
46 犯罪発生を抑制するため、地域の防犯活動拠点の整備やパトロール車の塗装補助などを実施 【930万円】 区民1人当たり：57円	1	2	3	4	5	A	B	C
47 子どもたちがさまざまな暴力から自分を守る知識や技能を身につけるためのプログラムを、区内全小学校で実施 【250万円】 参加者1人当たり：1,704円	1	2	3	4	5	A	B	C
48 防災資機材の保守点検、防災訓練を実施し、あわせて震災時避難場所等を掲載した防災マップを作成・配布 【820万円】 区民1人当たり：51円	1	2	3	4	5	A	B	C
49 幼児・児童交通安全教室・高齢者交通事故防止訓練・交通事故防止キャンペーンなどを実施 【790万円】 区民1人当たり：48円	1	2	3	4	5	A	B	C
50 食中毒などの事故を未然に防ぐため、出前講習会・簡易検査・パネル展や、アシナガバチ駆除機材の貸出を実施 【160万円】 区民1人当たり：10円	1	2	3	4	5	A	B	C
51 区役所において、弁護士による無料法律相談を毎週実施 【190万円】 相談1件当たり：6,433円	1	2	3	4	5	A	B	C

土曜開庁（一部窓口オープン）についてお伺いします

磯子区では、毎月第2・第4土曜日に、試行として区役所の一部窓口をオープンし、各種証明書の交付や転出・転入などの手続きを中心とした業務を取り扱っています。

【取り扱い業務】

- ◇転入・転出届、住民票の写し、印鑑登録及び証明、外国登録、学籍など
- ◇戸籍謄抄本（本籍が磯子区にある方）、婚姻・出生・死亡届の受付など
- ◇国民健康保険・介護保険の加入・喪失など、国民健康保険・介護保険給付の申請、老人保健の加入・喪失、給付、小児・障害・ひとり親医療費助成の加入・喪失・給付など
- ◇国民年金の資格取得・転入届、免除申請、学生特例納付に関する事など
- ◇母子健康手帳交付、児童手当手続き、他都市で介護認定を受けた方の本市での認定受付

【取り扱い時間】

- ◇午前9時～正午

問3 あなたは、この土曜開庁のことをご存知でしたか。

1 知っていた（→問3-1へ）

2 知らなかった（→問3-2へ）

問3-1 土曜開庁は何でお知りになりましたか。

(〇はいくつでも)

- | | | |
|-------------------|---------------------|-------------|
| 1 町内会の回覧ちらし | 2 町内会掲示板のポスター | 3 公共施設のポスター |
| 4 区庁舎前の横断幕、のぼり旗 | 5 区役所のホームページ | 6 広報よこはま |
| 7 駅前の街頭PR | 8 ごみ収集車のアナウンス・ステッカー | |
| 9 市営バスの吊り広告 | | |
| 10 その他(具体的に_____) | | |

問3-2 土曜開庁を利用したいと思いますか。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 すでに利用した(⇨問3-3へ) | 2 利用したいと思う(⇨問3-3へ) |
| 3 利用しないと思う(⇨問3-4へ) | 4 わからない(⇨問3-4へ) |

問3-3 土曜開庁を利用する理由は何ですか。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 土曜日しか行かない | 2 平日も行かれるが、土曜日の方が行きやすい |
| 3 その他(具体的に_____) | |

問3-4 土曜開庁のための年間経費及び利用実績(5月14日~7月9日)は、次のとおりです。

- | |
|---|
| ◇ 経費総額 年間580万円、(土曜開庁1回当たり約28万円)
(システム稼働経費、光熱水費など庁舎管理経費及びPR経費です。なお、出勤した職員は振替休暇を取得するため、新たな人件費は発生しません。) |
| ◇ 利用実績：土曜開庁1回当たり取り扱い件数 平均275件 |

土曜開庁の今後の実施について、どう思われますか。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 必要な経費はかかるとしても行うべき | 2 経費がかかるなら行わなくてよい |
| 3 その他(具体的に_____) | |

問3-5 現在月2回の土曜開庁を試行していますが、月に何回ぐらいが適当と思われますか。

- | | | |
|------------------|------------|------------|
| 1 毎週土曜日 | 2 月に2回の土曜日 | 3 月に1回の土曜日 |
| 4 土曜日はオープンしなくてよい | | |
| 5 その他(具体的に_____) | | |

問3-6 土曜開庁の取り扱い業務について、どう思われますか。

- | | |
|------------------------|--|
| 1 現在の業務でよい | |
| 2 他の業務も行うべき(具体的に_____) | |
| 3 その他(具体的に_____) | |

施策の重要度についてお伺いします

- 問4 17年度磯子区区政運営方針では、6つの重要施策を設定しています。あなたにとって重要と思われる順に、1～6の順位をつけてください。（6つの重要施策については、別紙「平成17年度磯子区区政運営方針ダイジェスト版」をご覧ください。）

重要施策	順位
365日いつでもゆったりサービス	
目に見える改革と情報提供の推進	
健康・福祉・子育てを支える基盤づくり	
区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり	
人に優しいまちづくりと魅力アップ	
犯罪と災害に強く安全な地域づくり	

- 問5 上記以外に、あなたが考える「磯子区役所が目標や重点課題とすべき項目」がありますか。

- | |
|--------------------|
| 1 上記の6つの重要施策でよい |
| 2 他にある（具体的に _____） |

磯子区の取り組みへの満足度についてお伺いします

- 問6 あなたは、磯子区の取り組み全体について、どのくらい満足していますか。

- | |
|-------------------|
| 1 満足している |
| 2 どちらかといえば満足している |
| 3 どちらともいえない |
| 4 どちらかといえば満足していない |
| 5 満足していない |

区政運営についてご意見・ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。

--

最後に、あなたご自身についてお伺いします

問7-1 あなたの性別をお選びください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問7-2 あなたの年齢をお選びください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 20～29 歳 | 2 30～39 歳 | 3 40～49 歳 |
| 4 50～59 歳 | 5 60～69 歳 | 6 70 歳以上 |

問7-3 あなたのご家族(同居されている方)の構成をお選びください。

- | | | |
|----------------|--------|------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦のみ | 3 親と子(2世代) |
| 4 祖父母と親と子(3世代) | 5 その他 | |

問7-4 あなたのご職業をお選びください。

- | |
|--|
| 1 自営業・自由業(農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者) |
| 2 管理職(会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など) |
| 3 専門技術職(勤務医師、研究所研究員、技師など) |
| 4 事務職(事務職、営業職、教員など) |
| 5 生産・販売等の職業(生産工程、販売・サービス、運転手、保安職など) |
| 6 主婦・主夫 |
| 7 学生 |
| 8 無職 |

問7-5 あなたの住んでいる地区をお選びください。

- | |
|--|
| 1 根岸地区(上町、馬場町、坂下町、下町、原町、西町、東町、鳳町) |
| 2 滝頭地区(丸山一・二丁目、滝頭一～三丁目、岡村一丁目～三丁目、中浜町) |
| 3 岡村地区(岡村四、五、六、八丁目) |
| 4 磯子地区(磯子一～八丁目、磯子台、広地町、久木町、岡村七丁目) |
| 5 汐見台地区(汐見台1～3丁目) |
| 6 屏風ヶ浦地区(森一～六丁目、中原一～四丁目、新中原町、森が丘一・二丁目) |
| 7 杉田地区(杉田一～九丁目、杉田坪呑、新杉田町) |
| 8 上笹下地区(田中一・二丁目、栗木一～三丁目、上中里町、峰町、氷取沢町) |
| 9 洋光台地区(洋光台一～六丁目) |

問7-6 あなたは磯子区にどのくらいの期間お住まいですか。お選びください。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 3年以内 | 2 4～9年 | 3 10～14年 |
| 4 15～19年 | 5 20～29年 | 6 30～59年 |
| 7 60年間以上 | | |

問7-7 あなたのお住まいの形態をお選びください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 持家（一戸建て） | 2 持家（マンション・共同住宅） |
| 3 借家（一戸建て） | 4 借家（県営・市営の共同住宅） |
| 5 借家（公団・公社の共同住宅） | 6 社宅、公務員住宅 |
| 7 民間アパート、民間賃貸マンション | 8 その他 |

問7-8 あなたはどこへ通勤・通学されていますか。職業をお持ちでない方は、日常生活を主に過ごす場所をお選びください。

- | | |
|---------------|------------|
| 1 磯子区 | 2 横浜市内の他の区 |
| 3 神奈川県内の他の市町村 | 4 東京都内 |
| 5 その他 | |

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

アンケート票は同封いたしました返信用封筒に入れて、

平成17年8月10日（水）までにご投函ください（切手及び記名は不要です）。